

はじめに

高知県学力定着状況調査は、子どもたち一人一人の学習の定着状況を把握するとともに、これまでの課題の改善状況を捉え、学習指導の充実や指導方法の改善に生かし、学習内容の確実な定着を図るために実施しています。

調査問題には、自分の考えを根拠を基に説明する力、必要な情報を読み取って説明する力などを問う内容を出題し、より質の高い授業づくりへのメッセージを込めています。

今回の調査結果から、国語では「敬体や常体の違い」や「接続語の役割」についての理解が進んでいること、また、算数・数学では「作図する方法」等の正答率が高いなど、基礎的・基本的な知識や技能に関する問題については改善傾向にあることが分かります。しかしながら、文章の内容を正確に捉えることや複数の資料を関連付けて読み取ったり、根拠を明らかにして自分の考えを書いたりすることなどには引き続き課題が見られます。

本報告書には、調査結果と、その分析を基に、課題の解決を図るための具体的な事例として、「授業アイデア例」を示しています。各学校においては、本調査や全国学力・学習状況調査等を活用して、子どもたち一人一人の達成状況を把握するとともに、本報告書や「学力向上に向けたこれだけは大切にしたい授業づくりのポイント」に基づき、課題解決のための授業づくりを充実させていただきたいと思います。また、単元テストや学習シート、思考力問題集などを効果的に活用し、知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力等の育成を図る取り組みをバランスよく進めてください。さらに、本調査結果等を踏まえ、「学校経営計画」に基づく、組織的な学力向上の取り組みを充実させていただきますようお願いします。

最後に、今回の調査の実施に当たり、御尽力いただいた全ての皆様に心より御礼申し上げます。

平成27年3月 高知県教育委員会

平成 26 年度高知県学力定着状況調査の概要

I. 調査の目的

本県の学力課題である小学校中学年の二極化、中 1 ギャップによる学力の低下に対応するために、小学校第 4・5 学年及び中学校第 1・2 学年の児童生徒の学力の定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすとともに、各学校及び各教育委員会の学力向上検証改善サイクルを確立することを目的とする。

II. 調査の対象

(1) 小学校調査

市町村（学校組合）立小学校第 4・5 学年

(2) 中学校調査

市町村（学校組合）立中学校第 1・2 学年

県立中学校第 1・2 学年

◇小学校解答児童数

第 4 学年

国語 5, 374 人 算数 5, 376 人

第 5 学年

国語 5, 565 人 算数 5, 563 人 理科 5, 566 人

◇中学校解答生徒数

第 1 学年

国語 4, 875 人 社会 4, 876 人 数学 4, 871 人

理科 4, 872 人 外国語（英語） 4, 877 人

第 2 学年

国語 4, 856 人 社会 4, 850 人 数学 4, 843 人

理科 4, 841 人 外国語（英語） 4, 845 人

III. 調査事項

(1) 教科

小学校第 4 学年…国語・算数

小学校第 5 学年…国語・算数・理科

中学校第 1・2 学年…国語・社会・数学・理科・外国語（英語）

※外国語（英語）は、音声を聞いて答える問題も出題

(2) 内容

基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等をみる問題

選択式・短答式・記述式の問題形式

IV. 調査実施日

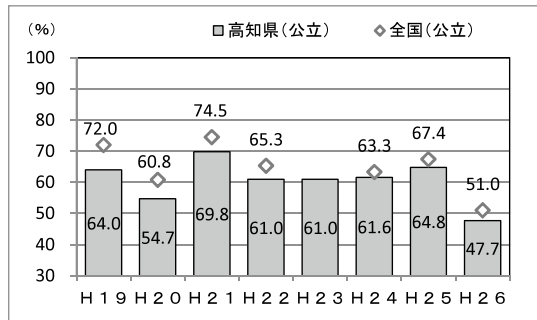
平成 27 年 1 月 9 日（金）



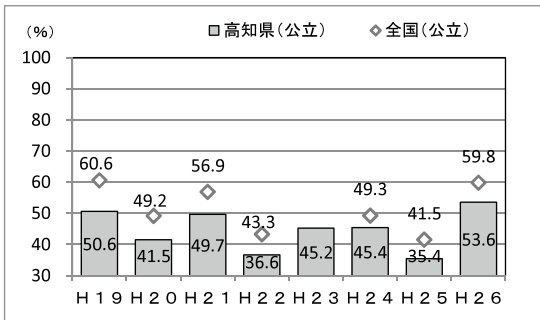
これまでの学力調査結果等から明らかになった本県の課題

1 全国学力・学習状況調査結果（平均正答率の経年変化）

中学校国語B

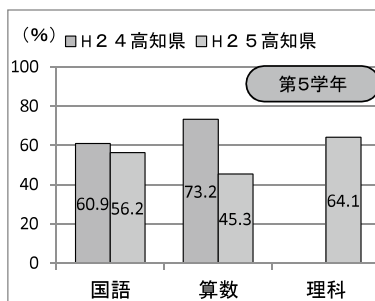
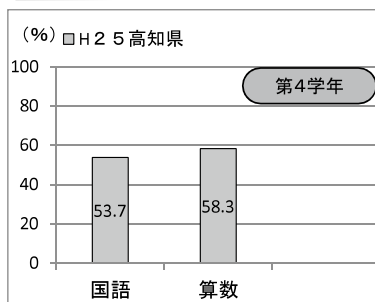


中学校数学B

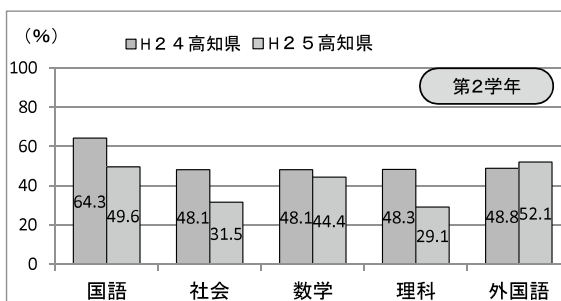
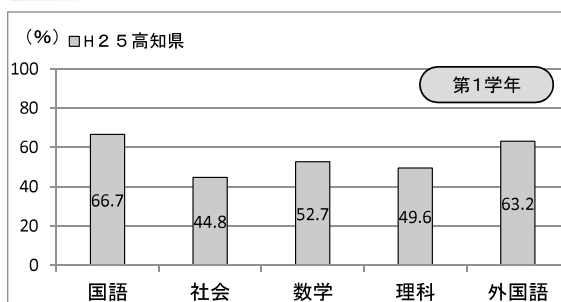


2 高知県学力定着状況調査結果（平成24年度及び平成25年度の平均正答率）

小学校調査



中学校調査



現状

- 基礎的・基本的な知識や技能に関する問題については、一定の定着が見られる。
- 複数の資料を関連付けて読み取ったり、根拠を明らかにして自分の考えを書いたりすることなどには依然として課題が見られる。

上記のような現状を踏まえ、児童生徒一人一人の学習の定着状況を把握するとともに、これまでの課題の改善状況を捉え、学習指導の充実や指導方法の改善に生かし、学習内容の確実な定着を図るために、高知県学力定着状況調査を実施しています。



2 教科に関する調査結果

小学校

<第4学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成26年度	63.5	62.0	40.9	48.7	75.3
	平成25年度	53.7	61.4	28.4	32.2	65.0

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成26年度	61.3	69.7	43.7	44.2	63.4
	平成25年度	58.3	65.6	56.3	60.5	51.2

<第5学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成26年度	51.8	39.9	31.9	34.0	63.0
	平成25年度	56.2	48.5	34.6	42.7	66.9
	平成24年度	60.9	68.8	56.7	38.6	65.9

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成26年度	48.3	56.6	52.8	34.7	42.4
	平成25年度	45.3	48.7	52.9	56.4	36.8
	平成24年度	73.2	74.8	61.0	87.4	73.3

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成26年度	63.0	65.2	48.2	68.8	66.3
	平成25年度	64.1	78.7	59.0	59.2	51.0

中学校

<第1学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成26年度	58.7	64.6	44.7	45.3	64.1
	平成25年度	66.7	74.6	55.5	46.5	76.1

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			世界の様々な地域	歴史のとらえ方	古代までの日本
社会	平成26年度	42.4	44.0	29.1	49.1
	平成25年度	44.8	46.6	36.6	43.9

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成26年度	49.3	48.8	64.0	46.1	
	平成25年度	52.7	57.1	54.0	41.6	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成26年度	45.3	47.6	42.2	46.0	
	平成25年度	49.6	38.8	41.2	57.0	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成26年度	64.9	80.8	61.8	52.4
	平成25年度	63.2	78.7	63.1	49.1

<第2学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成26年度	59.0	79.6	39.4	49.8	60.6
	平成25年度	49.6	36.8	22.6	32.5	63.1
	平成24年度	64.3	56.8	62.5	49.7	70.4

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			世界の様々な地域	日本の様々な地域	近世の日本	近代の日本と世界
社会	平成26年度	35.6	45.6	36.0	34.1	24.9
	平成25年度	31.5	33.3	35.1	26.2	35.6
	平成24年度	48.1	66.7	42.4	39.8	

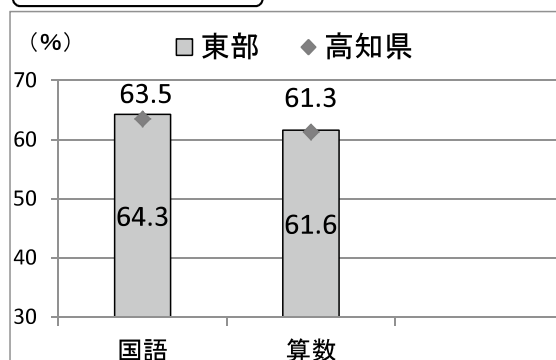
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成26年度	45.1	51.0	39.9	45.4	31.3
	平成25年度	44.4	44.7	61.6	34.7	28.2
	平成24年度	48.1	55.6	59.0	37.1	44.2

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成26年度	38.0	31.0	40.9	41.6	37.7
	平成25年度	29.1	24.7	12.9	41.2	34.2
	平成24年度	48.3	27.7	45.1	64.7	52.2

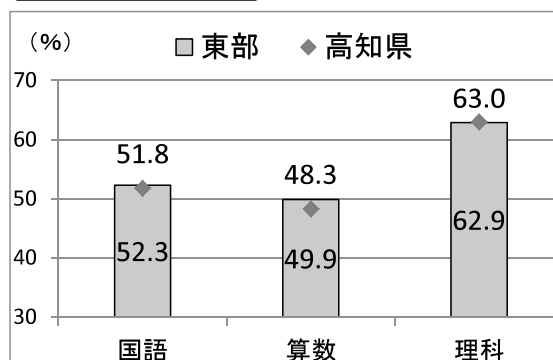
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成26年度	47.8	63.1	58.1	28.8
	平成25年度	52.1	73.5	60.4	28.4
	平成24年度	48.8	54.5	51.5	38.6

東部教育事務所

小学校第4学年

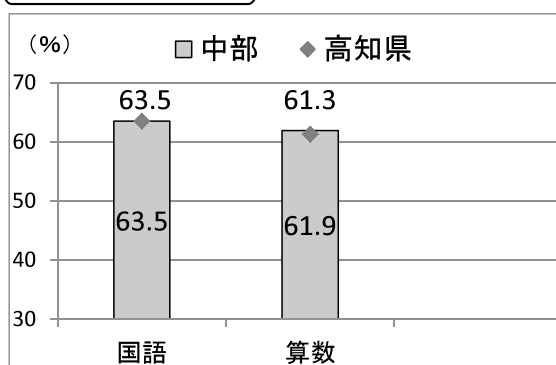


小学校第5学年

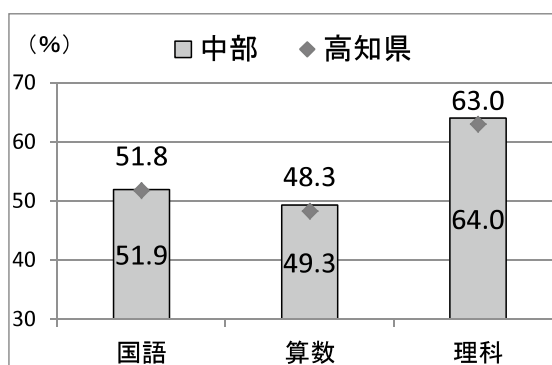


中部教育事務所

小学校第4学年

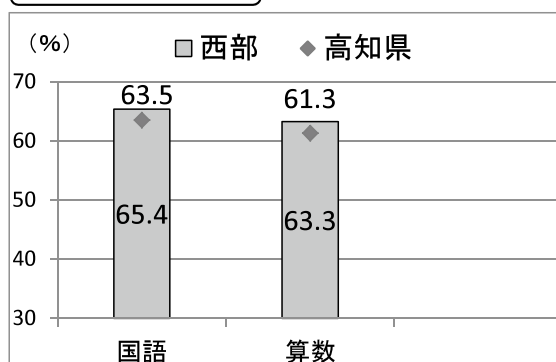


小学校第5学年

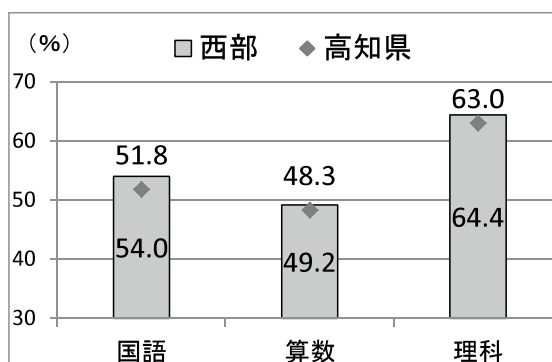


西部教育事務所

小学校第4学年

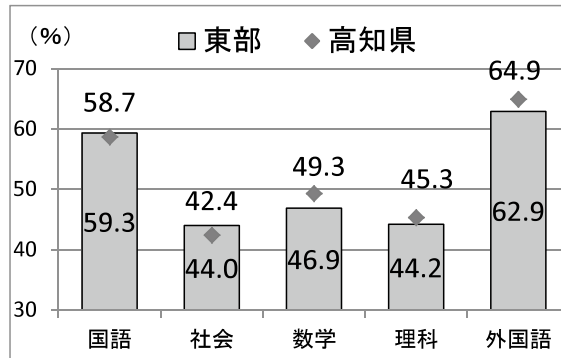


小学校第5学年

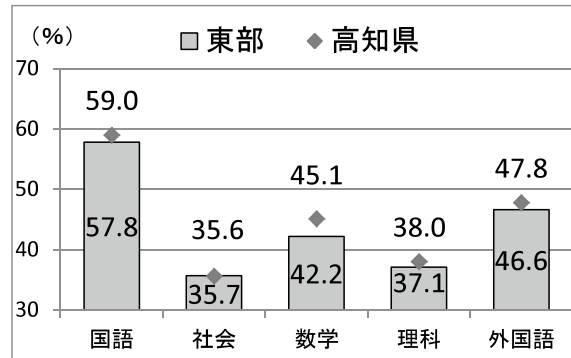


東部教育事務所

中学校第1学年

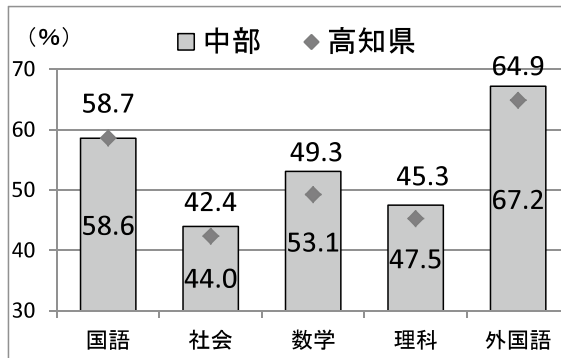


中学校第2学年

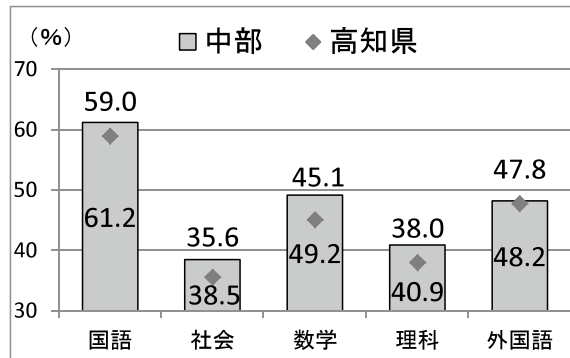


中部教育事務所

中学校第1学年

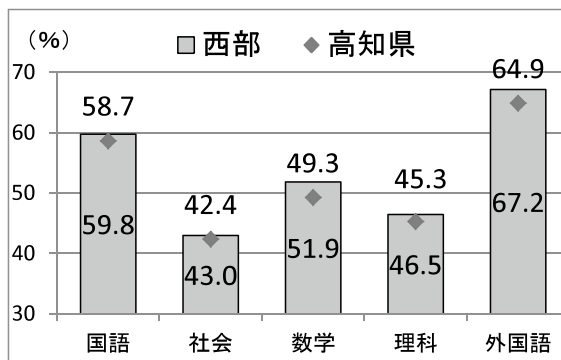


中学校第2学年

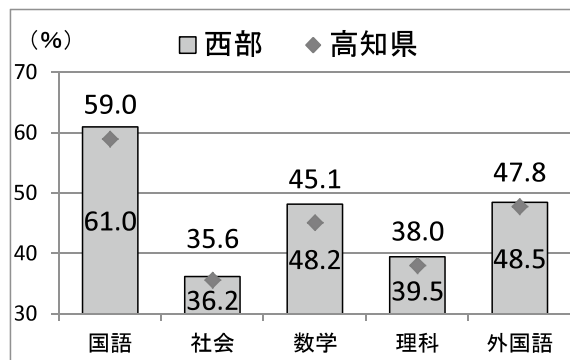


西部教育事務所

中学校第1学年



中学校第2学年



3 教科別調査結果

教科別調査結果について

今回の調査結果における高知県の状況について、各教科の【分類・区分別の状況】、【設問別正答率】、【成果と課題】を示していますので、各学校の分析の参考にしてください。

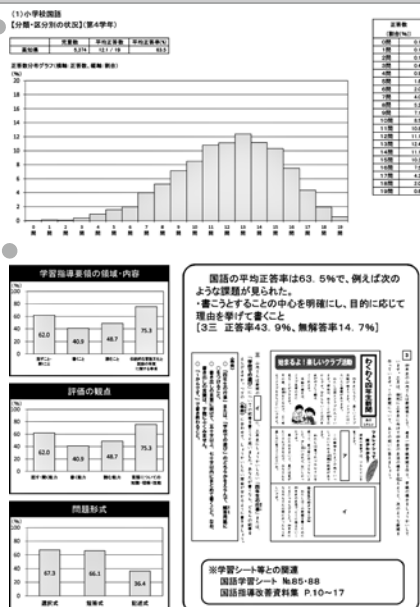
正答数分布グラフを示しています。

領域・内容、評価の観点、問題形式による平均正答率を示しています。

平均正答数やグラフの形状、他の数値の情報と合わせて分析してください。



【分類・区分別の状況】



【設問別正答率】

[illegible]

設問ごとに、高知県の正答率と無解答率、期待正答率（＊）を示しています。

* 期待正答率

本調査における各設問は、学習指導要領を踏まえ、すべての児童生徒に身に付けさせたい指導事項を問うものです。その内容、問題形式、これまでの学力調査の結果等をもとに、達成することが期待される割合を期待正答率として示しています。

【成果と課題】

[illegible]

本年度調査における注目してほしい成果と課題、経年変化による成果と課題を示しています。

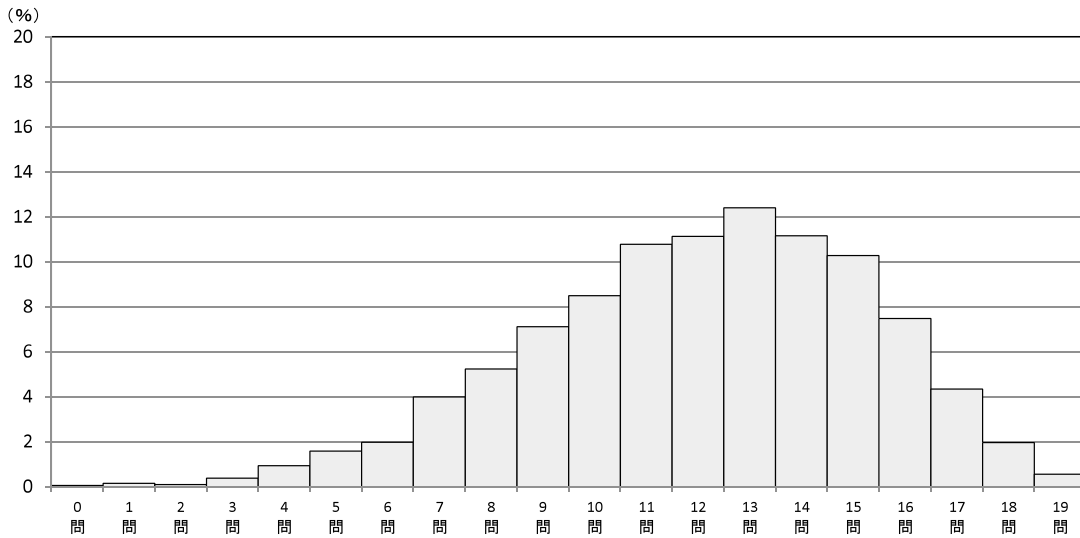
		第○学年
成果	本年度	相当数の児童生徒ができている問題
	経年	課題の改善状況が見られる問題
課題	本年度	課題が見られる問題
	経年	依然として課題が見られる問題

(1) 小学校国語

【分類・区分別の状況】(第4学年)

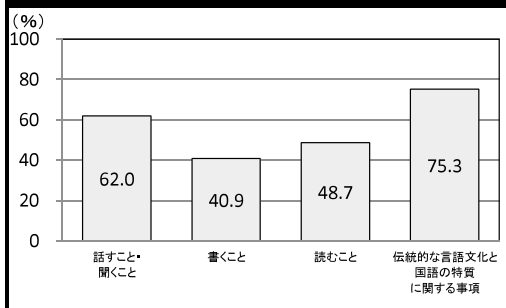
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,374	12.1 / 19	63.5

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)

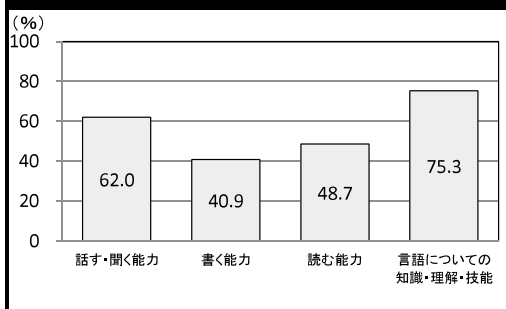


正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.1
2問	0.1
3問	0.4
4問	0.9
5問	1.6
6問	2.0
7問	4.0
8問	5.2
9問	7.1
10問	8.5
11問	10.8
12問	11.1
13問	12.4
14問	11.1
15問	10.3
16問	7.5
17問	4.3
18問	2.0
19問	0.6

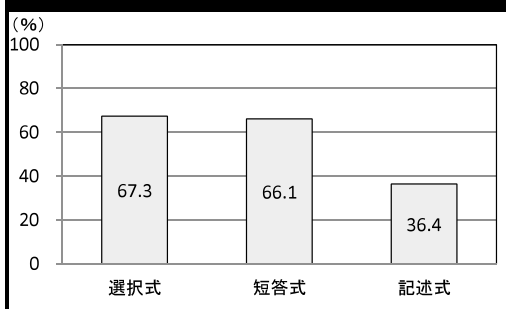
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



国語の平均正答率は63.5%で、例えば次のような課題が見られた。

・書こうとすることの中心を明確にし、目的に応じて理由を挙げて書くこと
[3三 正答率43.9%、無解答率14.7%]

三 山内さんは新聞の「学校での遊び」についての記事を書こうと思いましたが、あなたが書くなら、どちらの記事を書きますか。つぎの(条件)に合わせて、よりよい理由が分かるように書きましょう。

(条件)

- 「四年生の行事」または、「学校での遊び」のどちらかをえらんで、解答用紙に○をつけること。
- 書き出しの言葉は、五十文字以上、七十文字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にふくみません。
- 「よからず」で書き終わること。

始まるよ! 楽しいクラブ活動

四年生になると、楽しいクラブ活動が始まります。クラブにはいろいろな種類があります。わたしは図工クラブに入っています。理由は、作るものが好きだからです。分らないことは先生がやさしく教えてくれます。

活動の様子、クラブ見学の日に、見ることが出来ます。その後、希望をとるので、よく考えてクラブをえらぶといしますよ。

わくわく四年生新聞

発行 3月5日

四年生になると、毎月一回学級新聞を作り、学級の様子をしようかしています。三月は、特別に三年生に向けて四年生の生活の様子を伝えよう、次のような新聞を作っています。この新聞について、あとの問いに答えましょう。

ツルレイシって何かわかる?

理科の学習では、ツルレイシを育てます。

ア

この植物をたまごや肉といったしよいためる汁の料理があります。

わたしは育てたツルレイシを使って、家で母に作ってもらいました。少し辛いけれど、おいしかったです。

春にたねをまいて、夏には実がたくなできるので、みなさんも楽しんで育ててくださいね。

イ

③(四年生へのメッセージ)

わたしはこの新聞を書くために四年生の生活でよく知ったことを三つえらびました。四年生になるみなさんの役に立ちたいと思います。

※学習シート等との関連

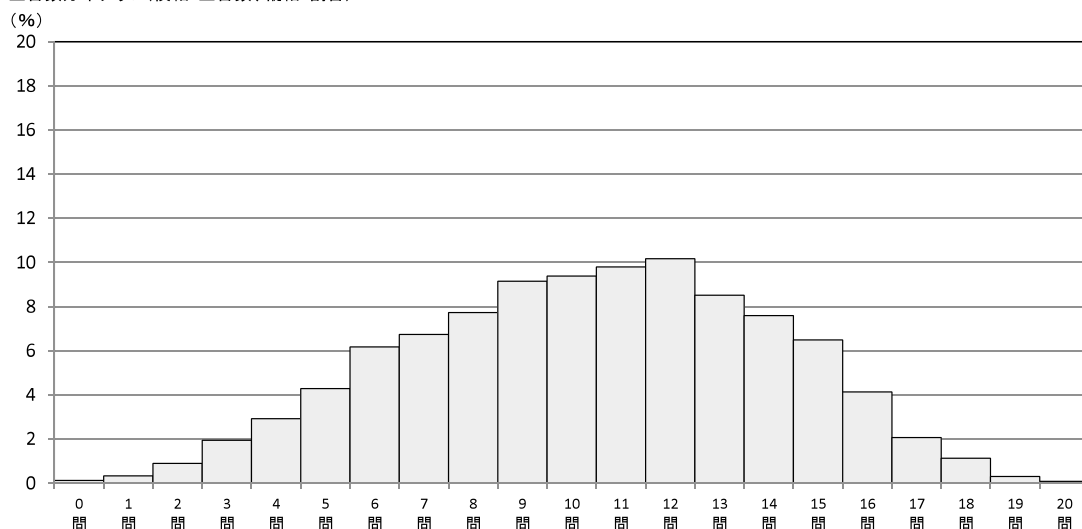
国語学習シート No.85・88

国語指導改善資料集 P.10～17

【分類・区分別の状況】(第5学年)

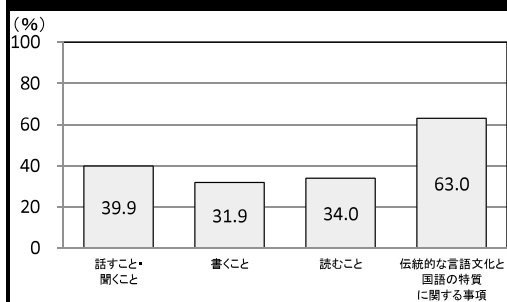
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,565	10.4 / 20	51.8

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)

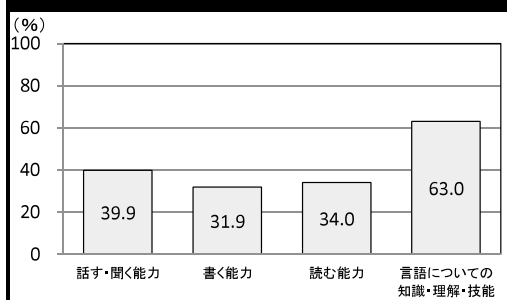


正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.3
2問	0.9
3問	1.9
4問	2.9
5問	4.3
6問	6.2
7問	6.7
8問	7.7
9問	9.1
10問	9.4
11問	9.8
12問	10.2
13問	8.5
14問	7.6
15問	6.5
16問	4.1
17問	2.1
18問	1.1
19問	0.3
20問	0.1

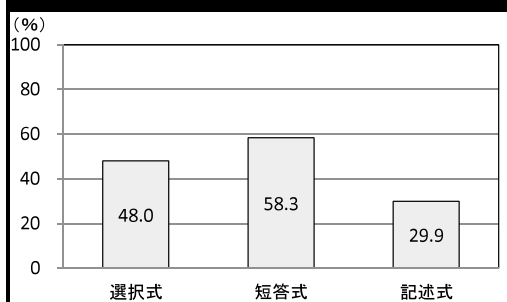
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



国語の平均正答率は51.8%で、例えば次のような課題が見られた。

・目的に応じて複数の文章を比べて読み、適切に引用して書くこと

[2三 正答率13.3%、無解答率14.0%]

【自主学習ノートの一部】

《質問》 「外国でも花を食べるのかな」

《分かったこと》

	外国	日本
花を食べる習慣	ある。 (特に、ヨーロッパで多く食べられている。)	ある。
食べられる花の種類	パンジー・バラなど、多くの種類がある。	桜・さく・たんぽぽ・すみれ・つばき・ばたんなど多くの種類がある。
食べ方	野菜や果物と同じ感覚で、食べられている。	食べやすいようにくふうして食べられている。
食べる以外の使い方	料理のかざりやかおりづけなどに使われている。	

《まとめ》

日本と外国を比べると、どちらも花を食べる習慣があり、多くの種類の花が食べられていることが分かりました。

また、食べる以外の使い道もよく似ていると思いました。

そう思った理由は、外国で「料理のかざりやかおりづけ」に使われているように、日本でも、

しかし、ちがうところもあります。それは、…(あとに続く)

三 長田さんは、説明文を読んだあと、「外国でも花を食べるのかな」と質問をもちました。そこで、本やインターネットで調べ、外国と日本を比べながら、まどめを書いていきます。【自主学習ノートの一部】の中に書かれている《まどめ》の□の中には、どのような内容が入りますか。ふさわしい内容を、あとの《条件》に合わせて書きましょう。

※学習シート等との関連

国語学習シート No.107・125

【設問別正答率】（第4学年）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			期待正答率（％）	高知県	
							話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	一	(1)	○		漢字を読む（体育館のステージの照明をつけた）	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む				(1)ウ(イ)				○	○			90	93.8	1.2
1	一	(2)	○		漢字を読む（新しいやり方を試みる）	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む				(1)ウ(イ)				○	○			90	79.3	4.7
1	二	(1)	○		漢字を書く（学校のおくじょうへのひなん階だんができた）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く				(1)ウ(イ)				○	○			80	66.9	7.6
1	二	(2)	○		漢字を書く（みじかいえん筆を大事に使う）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く				(1)ウ(イ)				○	○			80	71.1	4.0
1	三	1	○		ローマ字を読む（syasin）	撥音、半濁音の含まれたローマ字表記を正しく読む				(1)ウ(フ)				○	○			80	75.8	11.6
1	三	2	○		ローマ字で書く（おながどり）	濁音の含まれた単語をローマ字で正しく書く				(1)ウ(フ)				○	○			70	32.9	12.9
1	四		○		文の中におけるじゅつ語の主語にあたるものをえらぶ	文の中における主語と述語とを照応する				1:2(1)イ(加)				○	○			70	39.6	0.8
1	五	ア	○		つなぎ言葉の使い方として、ふさわしいものをえらぶ	接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使う				(1)イ(ウ)				○	○			80	97.9	0.2
1	五	イ	○		つなぎ言葉の使い方として、ふさわしいものをえらぶ	接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使う				(1)イ(ウ)				○	○			80	96.9	0.3
1	五	ウ	○		つなぎ言葉の使い方として、ふさわしいものをえらぶ	接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使う				(1)イ(ウ)				○	○			80	98.3	0.2
1	六	(1)	○		スピーチでの聞き手に分かりやすい話し方をえらぶ	相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話す	ウ				○				○			80	40.2	1.2
1	六	(2)	○		スピーチの内ようにそって、カードをならべかえる	スピーチの組み立ての工夫を捉える	ア				○				○			80	83.8	0.5
1	七	(1)	○		お礼の手紙の下書きを読み直し、ていねいな書き方に直す	文章の散体と常体との違いに注意しながら書く		エ			○				○			70	79.5	6.3
1	七	(2)	○		見学メモを読んで、お礼の手紙にふさわしい表げんで書く	文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする		オ			○				○			70	11.3	12.3
2	一		○		段落どうしの関係について説明したものとして、ふさわしいものをえらぶ	段落相互の関係を理解し、文章の展開を捉える			イ			○		○				70	46.8	2.9
2	二		○		説明的な文章を読み、ポスターのメッセージをじょうけんに合わせて書く	目的に応じて、文章の要点に注意しながら読み、中心を明確にして書く		ウ	エ		○	○			○			60	28.9	10.7
3	一		○		この新聞記事の書き方の工夫として、あてはまらないものをえらぶ	目的に応じて、文章の構成や表現の特徴を捉える			イ			○		○				70	57.1	4.4
3	二		○		この新聞に書かれた見出しに合った内よりの文として、ふさわしいものをえらぶ	目的に応じて、中心となる語や文を捉え、情報を関係付けて読む			イ			○		○				70	61.9	5.3
3	三		○		二つのしょうがいしたいことから、この新聞に書きたいことをえらび、えらんだ理由を書く	書こうとすることの中心を明確にし、目的に応じて理由を挙げて書く		ウ			○				○			60	43.9	14.7

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第5学年）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			期待正答率（％）	高知県	
							話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	一	(1)	○		漢字を読む（金銭の計算はむずかしい）	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む				(1)ウ(7)				○	○			90	63.8	5.8
1	一	(2)	○		漢字を読む（試合に備えて練習する）	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む				(1)ウ(7)				○	○			90	93.4	0.8
1	二	(1)	○		漢字を書く（明るく <u>けんこう</u> な生活を送る）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く				3・4(1)ウ(4)				○	○			80	71.1	3.6
1	二	(2)	○		漢字を書く（せいかくのチャンスを <u>うしなう</u> ）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く				3・4(1)ウ(4)				○	○			80	83.1	2.3
1	三	1	○		ローマ字を読む（Ryûgadô）	長音の含まれた固有名詞のローマ字表記を正しく読む				3・4(1)ウ(7)				○	○			80	55.1	21.1
1	三	2	○		ローマ字で書く（桂浜）	頭文字を大文字とする固有名詞をローマ字で正しく書く				3・4(1)ウ(7)				○	○			70	40.0	7.4
1	四		○		つなが言葉を使って、一文を三文に分けて書く	文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く				3・4(1)イ(7)				○	○			80	70.1	0.5
1	五	ア	○		ことわざの使い方としてふさわしいものを選ぶ	日常生活で使われていることわざの意味を正しく理解する				3・4(1)ア(4)				○	○			80	68.0	0.4
1	五	イ	○		ことわざの使い方としてふさわしいものを選ぶ	日常生活で使われていることわざの意味を正しく理解する				3・4(1)ア(4)				○	○			60	24.5	0.6
1	六	ア	○		俳句の季語をもとに、ふさわしい季節を選ぶ	易しい文語調の俳句について、季語を基に情景を捉える				3・4(1)ア(7)				○	○			80	59.4	0.9
1	六	イ	○		俳句のリズムを感じ取りながら読み、最初の五音にあたる言葉を書く	俳句の七音五音を中心としたリズムを感じ取りながら音読する				3・4(1)ア(7)				○	○			70	65.1	6.2
1	七	(1)	○		学級会での話し合いの様子から、発言のねらいとしてふさわしいものを選ぶ	目的に応じて、理由や事例を挙げながら、筋道を立てて話す	3・4イ				○				○			70	60.8	0.8
1	七	(2)	○		学級会での話し合いの様子から、司会者の発言の理由としてふさわしいものを選ぶ	互いの考えの共通点や相違点を考え、司会の役割を果たしながら、進行に沿って話し合う	3・4オ				○				○			70	19.0	0.9
1	八	(1)	○		「ゆずのひみつ」のほうこく書の下書きに、ふさわしい見出しを書く	自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考える		イ			○				○			70	59.6	5.9
1	八	(2)	○		資料を読み、「ゆずのひみつ」のほうこく書の下書きに「調べて分かったこと」を、「温だんな気候」の書き方にそろえて書く	目的に応じて文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえ、簡単にまとめて書く		ウ	ウ		○	○			○			60	9.3	7.1
1	八	(3)	○		資料を読み、「ゆずのひみつ」のほうこく書の下書きに「まとめ」を書く	目的に応じて複数の本や文章等を比べて読み、適切に引用して書く		エ	カ		○	○			○			70	30.7	8.6
2	一		○		説明文を読み、書かれている内容についてふさわしいものを選ぶ	目的に応じて文章の内容を的確に押さえて要旨を捉える			ウ			○			○			60	50.5	1.1
2	二		○		説明文を読み、ノートにまとめる内容としてふさわしい言葉を選ぶ	目的に応じて文章の内容を的確に押さえて要旨を捉える			ウ			○			○			70	53.6	1.1
2	三		○		説明文と自主学習ノートの内容を読み比べ、条件に合わせてふさわしい内容を書く	目的に応じて複数の文章を比べて読み、適切に引用して書く		エ	カ		○	○				○		60	13.3	14.0
3			○		食べ物のみりよくを伝える二つの記事のうち、どちらか一つを選び、条件に合わせて選んだ理由を書く	事実と意見を区別し、目的や意図に応じて簡単に書いたりくわしく書いたりする		ウ	3・4エ		○	○			○			60	46.6	13.8

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【小学校国語における成果と課題】

		第 4 学年			第 5 学年		
		領域・ 内容	問題番号	出題のねらい	領域・ 内容	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	伝	1五アウ	接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うこと・797.9%、196.6%、198.3%	伝	1ー(2)	当該学年までに配当されている漢字を正しく読むこと（備える）・93.4%
	経年	書	1七(1)	文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと・79.5% H24B1二：県 54.7%、全国 55.2%	伝	1二(2)	前学年までに配当されている漢字を正しく書くこと（ <u>うしなう</u> ）・83.1% H251三：69.0%
課題	本年度	書	1七(2)	文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること・11.3%	話	1七(2)	互いの考えの共通点や相違点を考え、司会の役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと・19.0% H23B1二(2)：県 63.3%
		書	3三	書こうとすることの中心を明確にし、目的に応じて理由を挙げて書くこと・43.9%			
	経年	書 読	2二	目的に応じて、文章の要点に注意しながら読み、中心を明確にして書くこと・28.9% H257一：県 39.3%	書 読	2三	目的に応じて複数の文章を比べて読み、適切に引用して書くこと・13.3% H25B2二：県 30.2%、全国 26.2% 三：県 18.5%、全国 17.8% →『平成25年度全国学力・学習状況調査結果の概要』P.21 参照 →P.47「小学校国語指導改善のポイント」へ
		伝	1三2	濁音の含まれた単語をローマ字で正しく書くこと・32.9% H2521：28.7%	伝	1五イ	日常生活で使われていることわざの意味を正しく理解すること・24.5% H254：30.5%

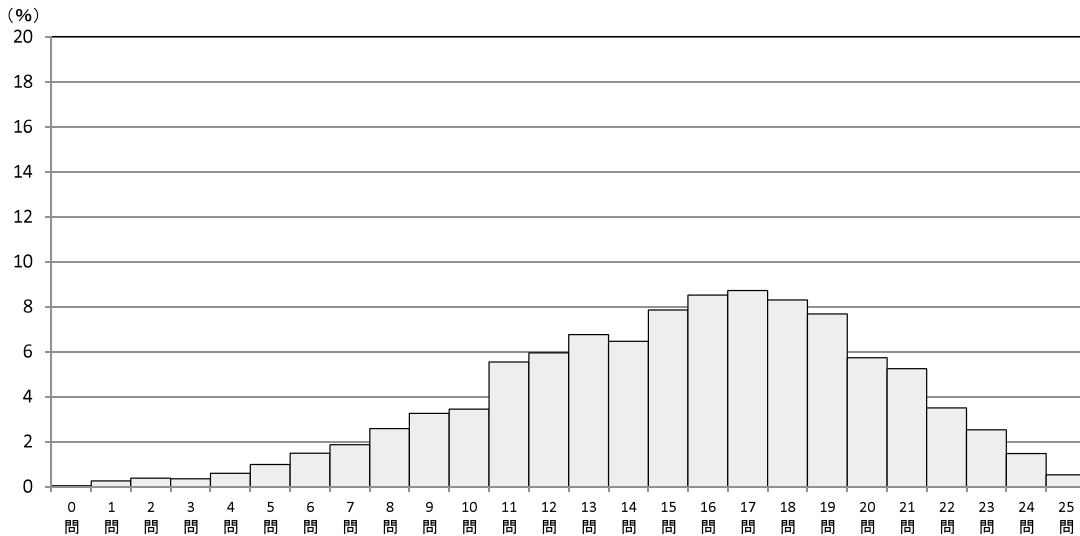
【領域・内容】話：話すこと・聞くこと、書：書くこと、読：読むこと、伝：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(2) 小学校算数

【分類・区分別の状況】(第4学年)

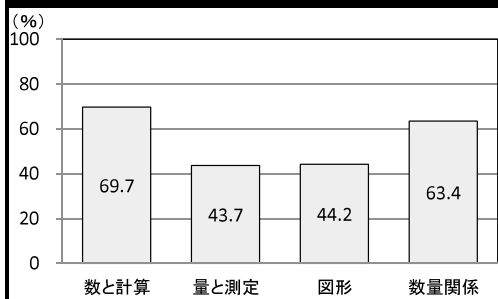
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,376	15.3 / 25	61.3

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)

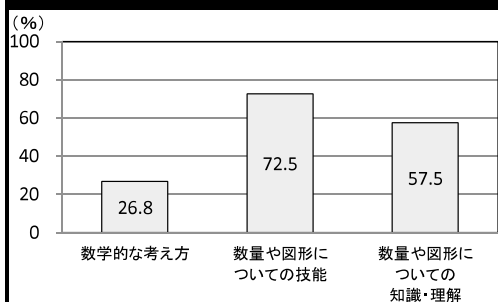


正答数 (割合(%))	
0問	0.0
1問	0.3
2問	0.4
3問	0.4
4問	0.6
5問	1.0
6問	1.5
7問	2.6
8問	3.3
9問	3.4
10問	5.5
11問	6.0
12問	6.8
13問	6.5
14問	7.8
15問	8.3
16問	8.5
17問	8.7
18問	8.3
19問	7.7
20問	5.7
21問	5.2
22問	3.5
23問	2.5
24問	1.5
25問	0.5

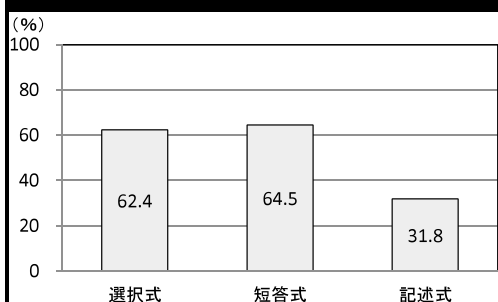
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



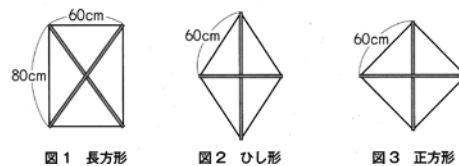
問題形式



算数の平均正答率は61.3%で、例えば次のような課題が見られた。

・示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述できること
[11(2) 正答率12.3%、無解答率11.3%]

- 11 冬休みにしゅんたさんたちは、土佐和紙を使ってたこを作りました。下の図1から図3は、しゅんたさんたちが作ったこの形と竹ひごをはった位置をしめています。



- (2) しゅんたさんたちは、たこをやぶれにくくするために、図1から図3のたこのすべての辺に紙テープをはることにしました。しゅんたさんは、たこのそれぞれの辺のはしからはしまで紙テープをはるために、たこの辺の長さに合わせて、8mの紙テープを切り分けようとしています。

3まいのたこのすべての辺の長さに8mの紙テープを切り分けることができますか。

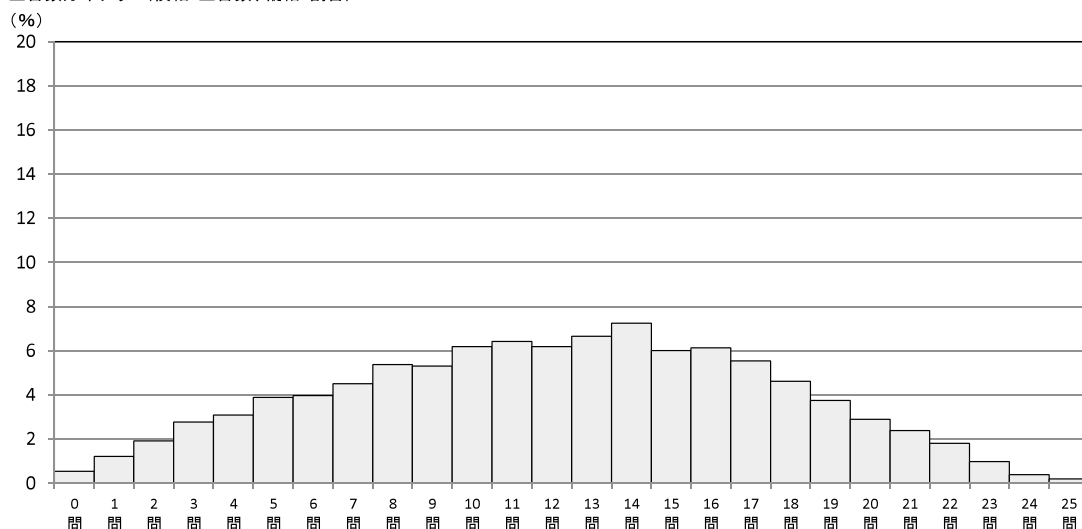
下の1から3までの中から1つえらびましょう。また、その番号をえらんだわけを言葉と数を使って書きましょう。

- 紙テープは足りなくなって、すべての辺の長さに切り分けることができない。
- 紙テープはあまることなく、すべての辺の長さに切り分けることができる。
- 紙テープはすべての辺の長さに切り分けることができ、あまる。

【分類・区分別の状況】(第5学年)

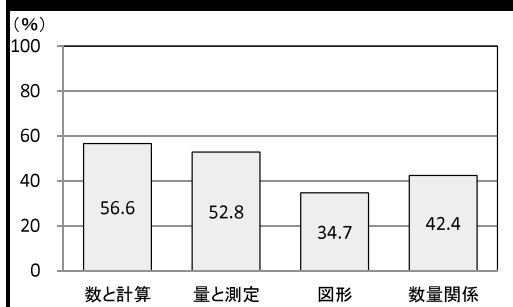
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,563	12.1 / 25	48.3

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)

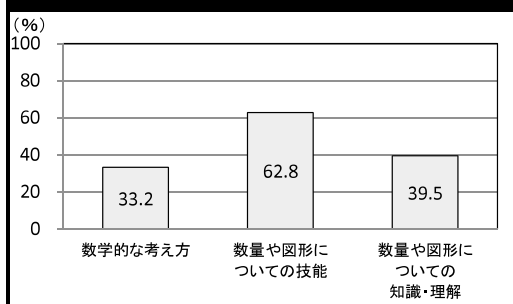


正答数 (割合(%))	
0問	0.5
1問	1.2
2問	1.9
3問	2.8
4問	3.1
5問	3.9
6問	4.0
7問	4.5
8問	5.4
9問	5.3
10問	6.2
11問	6.4
12問	6.2
13問	6.7
14問	7.2
15問	6.0
16問	6.1
17問	5.5
18問	4.6
19問	3.8
20問	2.9
21問	2.4
22問	1.8
23問	1.0
24問	0.4
25問	0.2

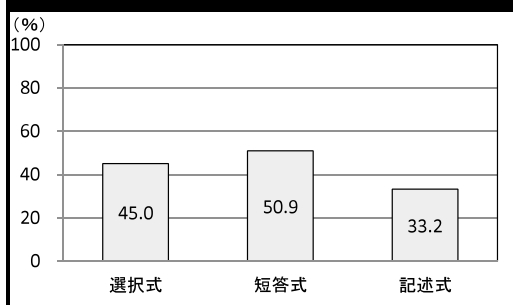
学習指導要領の領域・内容



評価の観点

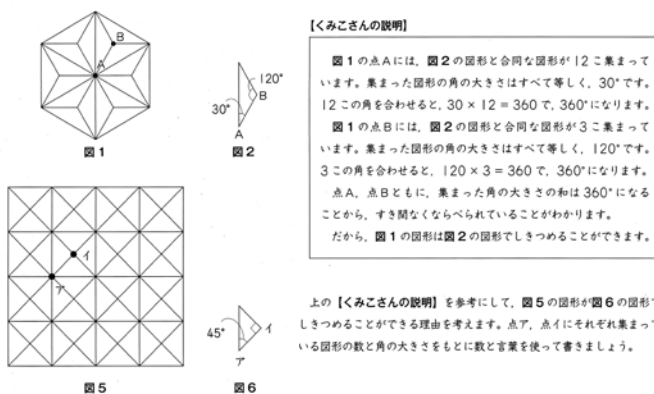


問題形式



算数の平均正答率は48.3%で、例えば次のような課題が見られた。
 ・数学的に表現された説明を基に、敷き詰めることができる理由を記述できること
 [13(3) 正答率18.6%、無解答率40.1%]

(3) 下の図1、図5の図形は、それぞれ図2、図6の図形と合同な図形でしきつめることができます。



くみこさんは、ある点に集まっている図形の数と角の大きさについて調べ、図形をしきつめることができる理由を考えようとしています。

図1を見ると、点Aには、図2の図形と合同な図形が12こ集まり、点Bには、図2の図形と合同な図形が3こ集まっています。このことから、くみこさんは、図1の図形が図2の図形でしきつめることができることについて、右のように説明しました。

※学習シート等との関連
 5年算数シート No.20

【設問別正答率】（第4学年）

問題番号			主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式		期待正答率（％）	高知県	
大問	小問	数と計算					量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（％）		無解答率（％）	
1	(1)	○			728＋1615を計算する	繰り上がりのある加法の計算をすることができる	3(2)ア					○		○		90	83.4	0.1	
1	(2)	○			803－796を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる	3(2)ア					○		○		90	91.9	0.1	
1	(3)	○			650×3400を計算する	乗法の計算をすることができる	(4)					○		○		80	58.2	1.2	
1	(4)	○			468÷26を計算する	除法の計算をすることができる	(3)ア					○		○		90	78.9	2.4	
1	(5)	○			44－9×3を計算する	減法と乗法の混合した整数の計算をすることができる				(2)ア		○		○		80	89.4	0.7	
1	(6)	○			59.3－4.28を計算する	小数の減法の計算をすることができる	(5)イ					○		○		80	66.9	1.2	
1	(7)	○			$3\frac{2}{9}-2\frac{7}{9}$ を計算する	同分母の帯分数の減法の計算をすることができる	(6)イ					○		○		80	67.0	2.5	
2	(1)	○			五十三億八百六十万を数字で書く	漢数字で表された数を、算用数字で表すことができる	(1)ア					○		○		80	78.5	0.7	
2	(2)	○			3000億を10倍した数を書く	1億以上の数の構成を理解している	(1)ア						○	○		80	76.3	0.7	
3	(1)	○			わる数、商、あまりの関係から、わり算の筆算の答えのたしかめ方として正しいものをえらぶ	被除数、除数、商及び余りの関係を用いて、計算などの確かめをすることができる	(3)ウ						○	○		80	72.8	1.2	
3	(2)	○			あまりがわる数より大きいことから、商のたて方がまちがっているわけを書く	被除数、除数、商及び余りの関係を用いて、計算などの確かめをすることができる	(3)ウ				○		○		○	70	51.4	10.0	
4		○			87×7＋13×7を計算のしかたをくふうするとき、計算の続きとしてあてはまるものをえらぶ	四則計算に関係して成り立つ性質について理解している				(3)ア			○	○		70	57.3	1.2	
5	(1)	○			ようろの重さとようろに粉を入れた重さをもとに、粉だけの重さを書く	はかりの目盛りの読み方を理解している		3(1)イ				○		○		70	38.4	2.2	
5	(2)	○			ホットケーキを作り始めたときからかたづけが終わるまでの時こくや時間をもとに、ホットケーキを焼いていた時間が何分間になるかを書く	生活の中で必要となる時刻や時間を求めることができる		3(3)イ				○		○		60	55.2	4.8	
6		○			1辺が1.0mの正方形の面積を a （アール）を使って表したときの面積をえらぶ	面積の単位の相互関係を理解している		(1)ア					○	○		70	56.6	1.0	
7	(1)	○			折れ線グラフの見え方を変えるためにくふうしたことをえらぶ	目的に応じて折れ線グラフの適切な目盛りの大きさを決めたり、変化の特徴を読み取ったりすることができる				(1)ア (4)イ			○	○		70	42.1	2.0	
7	(2)	○			折れ線グラフのかたむきから、温度の変化の最も大きい区間を書く	目的に応じて折れ線グラフの適切な目盛りの大きさを決めたり、変化の特徴を読み取ったりすることができる				(1)ア (4)イ		○			○	80	80.1	2.5	
8	(1)	○			コンパスを使った二等辺三角形のかき方について、用いられている二等辺三角形の特ちょうをえらぶ	目的や場合に応じて、定規やコンパスを用いて作図する方法を理解している			3(1)ア				○	○		70	77.5	1.5	
8	(2)	○			コンパスを使ったひし形のかき方について、用いられている円の特ちょうを書く	目的や場合に応じて、定規やコンパスを用いて作図する方法を理解している			3(1)ウ 4(1)イ				○	○		70	28.1	16.9	
9	ア	○			赤いテープの長さ45cm、白いテープの長さは赤いテープの長さの3倍のとき、赤いテープと白いテープの関係を正しく表している図をえらぶ	場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解している	3(3)イ			3(2)ア			○	○		70	71.5	3.1	
9	イ	○			白いテープの長さ45cm、赤いテープの長さは赤いテープの長さの3倍のとき、赤いテープと赤いテープの関係を正しく表している図をえらび、赤いテープの長さを求める式を書く	場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解し、1に当たる大きさを求めるために除法が用いられることを理解している	(3)イ			3(2)ア			○		○	60	40.2	3.7	
10		○			90度より大きい角の大きさをはかる場面で、分度器のめもりを読む	90度より大きい角の大きさを測定する場面で、分度器の目盛りを読むことができる		(2)アイ				○		○		80	82.6	3.1	
11	(1)	○			長方形のたこにはられた竹ひごの長さや交わり方の説明として正しいものをえらぶ	四角形の対角線の性質を理解している			(1)アイ				○	○		70	58.7	5.3	
11	(2)	○			3まいのたこのすべての辺の長さに8mの紙テープを切り分けることができるかどうかをえらび、そのわけを書く	示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述できる		2(1)ア	(1)イ			○			○	50	12.3	11.3	
11	(3)	○			1辺が60cmの正方形のたこと面積が等しく、横の長さが50cmの長方形のたこを作るとき、長方形のたての長さを書く	示された図形の情報から、条件に合う長方形の縦の長さを求めることができる		(1)イ				○			○	60	16.8	21.2	

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第5学年）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点		問題形式			期待正答率（％）	高知県	
							数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)		○		16.8－5.24を計算する	小数の減法の計算をすることができる	4(5)イ				○		○			90	78.1	1.0
1	(2)		○		3.3＋0.7×3を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる	4(5)イウ 5(3)ウ			4(2)ア	○		○			80	67.6	0.5
1	(3)		○		6－1.6÷4を計算する	減法と除法の混合した整数と小数の計算をすることができる	4(5)イウ 5(3)ウ			4(2)ア	○		○			80	59.2	1.3
1	(4)		○		0.8×0.5を計算する	小数の乗法の計算をすることができる	(3)イ				○		○			90	68.5	0.4
1	(5)		○		108÷0.9を計算する	整数と小数の除法の計算をすることができる	(3)イ				○		○			80	69.8	1.7
1	(6)		○		10÷2.3（商は一の位まで求めて、あまりを出す）を計算する	小数の除法での余りのある計算をすることができる	(3)イ				○		○			70	42.2	3.9
1	(7)		○		$1\frac{1}{6}-\frac{5}{9}$ を計算する	異分母の帯分数と真分数の減法の計算をすることができる	(4)オ				○		○			80	75.6	3.0
2			○		バス1台の料金と人数をそれぞれ四捨五入して、上から1けたのがい数にして、1人分のおよその料金を求める式を書く	目的に応じて計算の結果の見積りをすることができる	4(2)イ 4(3)イ				○		○			70	32.1	4.6
3			○		4と14の公倍数のうち、100以下の数をすべて書く	倍数、公倍数を求めることができる	(1)イ				○		○			80	59.2	7.5
4			○		$\frac{2}{5}$ を小数で表す	整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる	(4)ア				○		○			90	76.1	2.7
5			○		小数のかけ算やわり算の式で、計算の答えがかけられる数、わられる数より小さくなるものを選ぶ	小数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について理解している	(3)アイ					○	○			60	36.7	2.0
6			○		はやとさんの家とめくみさんの家から、町の図書館までの道のりの関係を表す図を選び、それをもとにめくみさんの家から町の図書館までの道のりを求める式を書く	場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解し、1に当てる大きさを求めるために除法が用いられることを理解している	(3)ア					○	○			70	14.4	2.2
7			○		約150cm ² の面積のものを選ぶ	面積についての感覚を身に付けている	4(1)ア					○	○			70	25.4	0.9
8	(1)		○		台形の面積を平行四辺形と三角形に分けて、求めるときの式を選ぶ	台形の面積の求め方を既習の求積可能な面積の求め方を基に考えることができる	(1)アイ					○	○			70	68.2	1.7
8	(2)		○		台形の面積を、2つの合同な台形を組み合わせて平行四辺形にして求めるときの考え方を書く	台形の面積の求め方を既習の求積可能な面積の求め方を基に考えることができる	(1)アイ				○			○		60	47.8	9.0
9	(1)		○		しめされた式の値が何を表しているのかを書く	示された平均を求める式から、その計算の結果が何を求めているのかについて理解している	(3)ア			4(2)ア		○	○			70	38.3	6.7
9	(2)		○		正しくははなれなかった結果をのぞいて平均を求めるときの式を書く	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を表すことができる	(3)ア			4(2)ア		○	○			80	69.4	7.1
10			○		正方形の中に同じ大きさの4つの円がぴったりと入っているとき、4つの円の中心を結んでできた四角形の周りの長さを書く	円の中心、半径、直径や正方形について理解している			3(1)ウ			○	○			70	30.4	6.8
11	(1)		○		AとBの花だんのかみくあいを公倍数の考え方で調べるとき、Bの花だんの球根の数を求めるための図にあてはまる数を書く	異種の二つの量の割合としてとらえられる数量について、その比べ方を理解している	(4)ア					○	○			70	70.8	7.4
11	(2)		○		CとDの2つの花だんの花のかみくあいを比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解している	(4)ア					○	○			80	49.8	6.0
12	(1)		○		六角形が10個のときに使うマッチぼうの数を求める式に使われている5の意味を書く	式に示された数の意味を理解している				3(2)ア 5(2)		○	○			50	8.9	14.1
12	(2)		○		六角形の数を口個、そのときに使うマッチぼうの数を○本として、口と○の関係を表す式を書く	伴って変わる二つの数量の関係における式の意味を理解し、口や○を用いて、式に表すことができる				(4)		○	○			50	10.9	17.6
13	(1)		○		3つの合同な二等辺三角形でしきつめてできる図形が正三角形であることを説明した文にあてはまる二等辺三角形の辺を書く	敷き詰めてできる図形の性質を理解している			3(1)ア			○	○			70	44.5	18.1
13	(2)		○		6つの合同な二等辺三角形をしきつめてできるひし形の持ちょうとして正しくないものを選ぶ	敷き詰めてできる図形の性質を理解している			3(1)ア 4(1)イ			○	○			70	45.2	11.9
13	(3)		○		六角形が合同な二等辺三角形でしきつめることができることについての説明を参考に、正方形が合同な直角二等辺三角形でしきつめることができる理由を書く	数学的に表現された説明を基に、敷き詰めることができる理由を記述できる			4(1)エ 5(1)イウ		○			○		50	18.6	40.1

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【小学校算数における成果と課題】

		第 4 学年			第 5 学年		
		領域・ 内容	問題番号	出題のねらい	領域・ 内容	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	量	10	90 度より大きい角の大きさを測定する 場面で、分度器の目盛りを読むこと・ 82.6%			
		数	1(5)	減法と乗法の混合した整数の計算をする こと・89.4%			
	経年				計	1(7)	異分母の帯分数と真分数の減法の計算 をすること・75.6% H25 1(6) : 68.3%
	本年度	量	5(1)	はかりの目盛りの読み方を理解するこ と・38.4%	計	1(6)	小数の除法での余りのある計算をする こと・42.2%
			11(3)	示された図形の情報から、条件に合う長 方形の縦の長さを求めること・16.8%		2	目的に応じて計算の結果の見積りをす ることができること・32.1% →『平成 2 5 年度高知県学力定着状況調査結 果の概要』P. 49 参照
		図	8(2)	目的や場合に応じて、定規やコンパスを 用いて作図する方法を理解すること・ 28.1%	図	10	円の中心、半径、直径や正方形について 理解すること・30.4%
		量 図	11(2)	示された情報を基に必要な量と残りの量 の大小を判断し、その理由を記述するこ と・12.3% →P. 49「小学校算数指導改善のポイント」へ		13(3)	数学的に表現された説明を基に、敷き詰 めることができる理由を記述するこ と・18.6%、無解答率 40.1%
課題	経年	計	1(3)	乗法の計算をすること・58.2% H25 1(3) : 52.7%	計	5	小数の計算における乗数と積の大きさ、 除数と商の大きさの関係について理解 すること・36.7% H24 3(2) : 41.3%
		計 数	9イ	場面と図とを関連付けて、二つの数量の 関係を理解し、1 に当たる大きさを求め るために除法が用いられることを理解す ること・40.2% H25 9イ : 県 49.1%		6	場面と図とを関連付けて、二つの数量の 関係を理解し、1 に当たる大きさを求め るために除法が用いられることを理解 すること・14.4% H25 6 : 県 26.7%
		数	4	四則計算に関して成り立つ性質につい て理解すること・57.3% H25 2(2) : 県 54.7%	量	7	面積についての感覚を身に付けるこ と・25.4% H20 A 6(2) : 県 17.2%、全国 17.7%
					数	12(1)	式に示された数の意味を理解すること・ 8.9% H25 7(1) 2 について : 県 3.1%
						(2)	伴って変わる二つの数量の関係におけ る式の意味を理解し、□や○を用いて、 式に表すこと・10.9% H25 7(2) : 県 8.7%

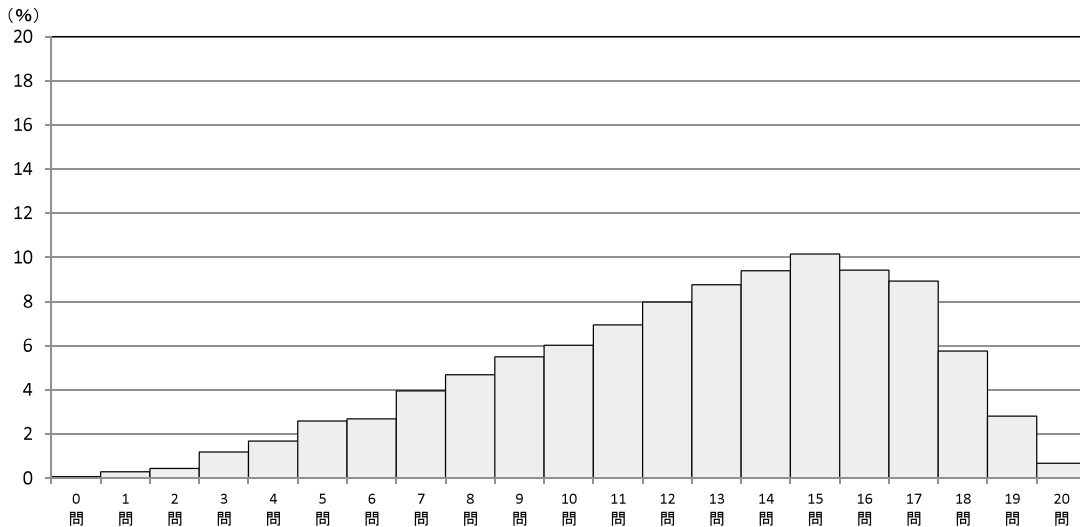
【領域・内容】計：数と計算、量：量と測定、図：図形、数：数量関係

(3) 小学校理科

【分類・区別の状況】(第5学年)

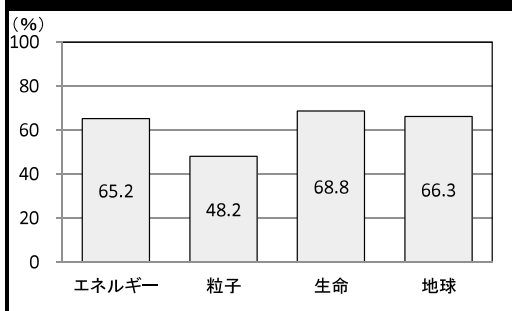
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,566	12.6 / 20	63.0

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)

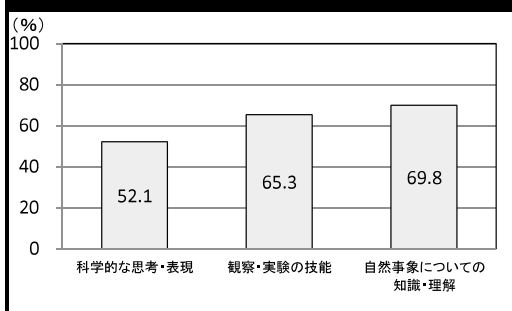


正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.3
2問	0.4
3問	1.2
4問	1.7
5問	2.6
6問	2.7
7問	4.0
8問	4.7
9問	5.5
10問	6.0
11問	7.0
12問	8.0
13問	8.8
14問	9.4
15問	10.2
16問	9.4
17問	8.9
18問	5.8
19問	2.8
20問	0.7

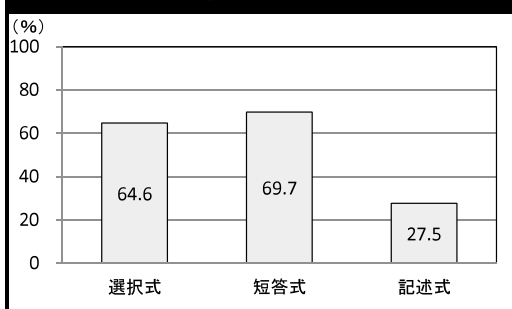
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



理科の平均正答率は63.0%で、例えば次のような課題が見られた。

・流れる水の働きについて調べる実験を、条件を制御しながら考えること

[3(3) 正答率45.0%、無解答率8.3%]

けんさんたちは、話し合ったことをもとに、次のような実験をしました。

実験2 が変わると、流れる水のはたらきがどのように変わるか調べる。

【実験方法】

- 小石や砂を混ぜた土で、かたむきが同じ山を2つ作り、曲がっているところのあるみぞをつくる。

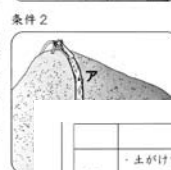
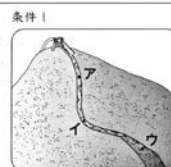
- 調べる場所を決める。
ア：坂のかたむきが急な場所
イ：みぞが曲がっている場所
ウ：坂のかたむきがゆるやかな場所

- それぞれの山の上から、みぞに水を流し、ア・イ・ウの3つの場所で、水が流れたところ(地面)のようすや水によって運ばれるものを調べる。

- おがくずを流して、水の速さを調べる。

【実験結果】

- 流れる水の速さは、条件2の方が条件1より速かった。
- 水が流れた後のようすは次のページ



	条件1	条件2
ア	・土がけずられていた。 ・小石は残っていた。	・土は、条件1より深くけずられていた。 ・小石が運ばれた。
イ	・曲がっているところの外側は、土がけずられていた。 ・曲がっているところの内側は、土が積もっていた。	・曲がっているところの外側は、条件1より深くけずられていた。 ・曲がっているところの内側は、土が条件1より多く積もっていて、運ばれた小石もあった。
ウ	・運ばれてきた土が積もっていた。	・条件1より、下の方に多くの土が積もっていた。

(3) めぐみさんの意見を変える条件の と実験2の には、同じ言葉が入ります。 に当てはまる言葉を書きましょう。

※学習シート等との関連

高知県理科思考力問題集 小5-06

【設問別正答率】（第5学年）

問題番号	大問	小問		主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式		期待正答率（％）	高知県	
								エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)			○		かいぼうけんび鏡を使うとき、真横から見ながら、レンズを観察するものに近づく理由を書く	観察器具（顕微鏡）の適切な操作方法を身に付けている			(1)エ		○		○		70	58.5	5.3		
1	(2)			○		オクラとアサガオの花に共通する花のつくりを選ぶ	花のつくりを理解している			(1)エ			○	○		90	83.8	0.4		
1	(3)			○		アサガオやオクラの花のつくりとキュウリの花のつくりのちがいを書く	植物の種類によって、花のつくりが異なることを理解している			(1)エ			○	○		80	69.3	2.7		
1	(4)			○		「おしべの花粉がめしべの先につくこと」を表す言葉を書く	植物の受粉と結実の関係について、科学的な言葉や概念を理解している			(1)エ			○	○		90	87.2	4.3		
1	(5)			○		キュウリの受粉と結実の関係を正しく調べる実験について適切な実験方法を選び、選んだ理由を書く	植物の受粉と結実の関係を調べる実験について、結果を基に方法を改善して、その改善した理由を記述できる			(1)エ		○			○	40	45.1	1.7		
2	(1)			○		かんいけん流計を直列につなぐ回路をかく	簡易検流計のつなぎ方を身に付けている	4 (3)ア					○		○		80	84.3	1.5	
2	(2)	①		○		かん電池の極を逆につないだときのかんいけん流計のはりのふれを選ぶ	乾電池の極を変えると、検流計の針が逆に振れることを理解している	4 (3)ア						○	○		80	75.6	0.4	
2	(2)	②		○		かん電池の極を逆につないだときの方位磁針のはりのふれを選ぶ	電流の向きが変わると、電磁石の極が変わることを理解している	(3)ア						○	○		80	79.2	0.4	
2	(3)	①		○		コイルのまき数とかん電池の数を変えたそう置の図から、電磁石の力の強さとコイルのまき数の関係を調べるための実験そう置の組み合わせを選ぶ	電磁石の強さを変える要因について確かめる実験を、条件を制御しながら考えることができる	(3)イ				○			○		80	62.7	0.4	
2	(3)	②		○		コイルのまき数とかん電池の数を変えたそう置の図から、電磁石の力の強さと電流の強さの関係を調べるための実験そう置の組み合わせを選ぶ	電磁石の強さを変える要因について確かめる実験を、条件を制御しながら考えることができる	(3)イ				○			○		80	55.8	0.6	
2	(4)			○		コイルのまき数を100回にして実験するとき、あまった導線を切らずに厚紙にまいている理由を選ぶ	電磁石の強さを変える要因について確かめる実験において、変える条件と変えない条件を制御する理由を理解している	(3)イ						○	○		70	33.7	1.0	
3	(1)	①		○		実験結果と実さいの川の下流のようすから、川の下流を表している実験の場所を選ぶ	実験結果と実際の川の様子を対応させ、流れる水の動きにより、下流の川原ができていく様子を考えることができる				(3)アイ	○			○		80	70.8	1.7	
3	(1)	②		○		実験結果と実さいの川の下流のようすから、川の下流の小石や砂がどこから運ばれてきたのかを書く	実験結果と実際の川の様子を対応させ、流れる水の動きにより、下流の川原ができていく様子を考えることができる				(3)アイ	○			○		70	75.5	6.1	
3	(2)			○		下流の川原の石が小さくて丸い理由を書く	川の上流と下流について、川原の石の大きさや形の違いとその要因を理解している				(3)イ			○		○	70	75.1	2.4	
3	(3)			○		大雨で水かさが増えた川の様子から、流れる水のはたらきの変化について調べる実験において、変える条件を書く	流れる水の動きについて調べる実験を、条件を制御しながら考えることができる				(3)ウ	○			○		70	45.0	8.3	
3	(4)			○		実験2の実験結果をもとに、流れる水の量のちがいによる流れる水のはたらきを、正しくまとめているものを選ぶ	流れる水の速さや量が増した場合、土地を侵食したり、石や土などを運搬したりする動きが大きくなることを理解している				(3)ウ			○	○		70	64.9	1.6	
4	(1)			○		水のあたためり方の説明として、当てはまる言葉を書く	水は熱した部分が、上方に移動して全体が温まっていくことを理解している	4 (2)イ						○		○		80	63.0	7.8
4	(2)			○		水を熱したときの温度の変化を表すグラフをもとに、水がふっとする温度を選ぶ	水が沸騰する温度を、水を熱したときの温度の変化を表すグラフから読み取ることができる	4 (2)ウ					○		○		80	53.2	1.8	
4	(3)			○		風車の羽根のあたりが白く見えたことと、とう明ななべのふたの内側が白くもることに共通する変化を、「水じょう気」という言葉を使って説明する	見えない水蒸気の変化を温度の変化と関係付けて説明することができる	4 (2)ウ				○				○	60	10.0	12.6	
4	(4)			○		熱せられた水が変化した水じょう気の力で風車の羽根が回ることから、水が何によってすがたを変えるのか適切なものを選ぶ	水は温度によって状態が変化する性質を理解している	4 (2)ウ						○	○		70	66.5	2.0	

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【小学校理科における成果と課題】

		第5学年		
		領域・内容	問題番号	出題のねらい
成果	本年度			
	経年	エ	2 (1)	簡易検流計のつなぎ方を身に付けること・84.3% H25 2 (2) : 県 69.0%
			2 (2) ①	乾電池の極を変えると、検流計の針が逆に振れることを理解すること・75.6% H25 2 (3) ① : 県 66.3%
		生	1 (2)	花のつくりを理解すること・83.8% H25 1 (2) : 県 82.6%
			1 (4)	植物の受粉と結実の関係について、科学的な言葉や概念を理解すること・87.2% H24 全国 2 (4) : 県 83.6%、全国 77.4% H25 1 (3) : 県 88.1%
課題	本年度	エ	2 (4)	電磁石の強さを変える要因について確かめる実験において、変える条件と変えない条件を制御する理由を理解すること・33.7%
	経年	粒	4 (3)	見えない水蒸気の変化を温度の変化と関係付けて説明すること・10.0%、無解答率 12.6%
		地	3 (3)	流れる水の働きについて調べる実験を、条件を制御しながら考えること・45.0% →P. 51「小学校理科指導改善のポイント」へ
		エ	2 (3) ②	電磁石の強さを変える要因について確かめる実験を、条件を制御しながら考えること・55.8% H25 2 (4) ② : 県 77.9%
		生	1 (5)	植物の受粉と結実の関係を調べる実験について、結果を基に方法を改善して、その改善した理由を記述すること・45.1% H24 全国 2 (5) : 県 33.4%、全国 32.3% H25 1 (5) : 県 25.1%

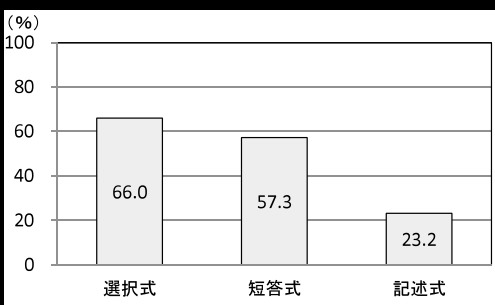
【領域・内容】エ：エネルギー、粒：粒子、生：生命、地：地球

学習指導に当たって
4 (3) 解答状況から 解答類型 9 が 72.7%あり、「水蒸気が白く見える」等、湯気と混同したり、水蒸気を液体や空気と捉えたりしていると考えられる。水は温度によって状態が変化する性質であることを理解することについて、課題が見られる。 学習指導のポイント ○見えない水蒸気の変化を温度の変化と関係付けて捉えさせる。 例：水を沸騰させ、出てくる泡を集めて冷やすと水になることから、泡は空気ではなく、水が変化したものであることに気付くようにする。 ○水が温度によって状態が変化する事を、科学的な言葉や概念を使用して説明させたり、考察させたりする。 ○身に付けた知識や技能を、実際の自然や日常生活の中で適用させたり、分析させたりする。
1 (5) 解答状況から 誤答では解答類型 4 が 24.2%で最も多く、「つぼみのときに受粉するから」等の記述から、受粉の仕組みを理解することに課題が見られる。また、受粉の意味について曖昧な記述も多く見られた。 学習指導のポイント ○実験結果が予想や仮説と一致しなかった場合原因について考察させる。 ○話し合いを効果的に取り入れる。自分の考えと他者の考えの違いを捉え、別の視点から自分の考えを見直したり、再検討したりすることで、自分の考えを改善できるようにする。 ○自分の考えを、根拠を明確にして説明させる。 ※つぼみの時期に受粉すると捉えていることについては、雌花がつぼみのときには、めしべの先には花粉がついていないことを、観察を通して確かめるようにするとよい。

【分類・区分別の状況】(第1学年)

正答数 (割合%)	
0問	0.2
1問	0.1
2問	0.6
3問	1.2
4問	2.0
5問	3.0
6問	3.8
7問	4.9
8問	6.9
9問	7.1
10問	8.0
11問	8.0
12問	9.3
13問	8.4
14問	8.7
15問	8.3
16問	7.4
17問	5.8
18問	3.6
19問	2.2
20問	0.6

(%)



[2三 正答率21.5%、無解答率21.9%]

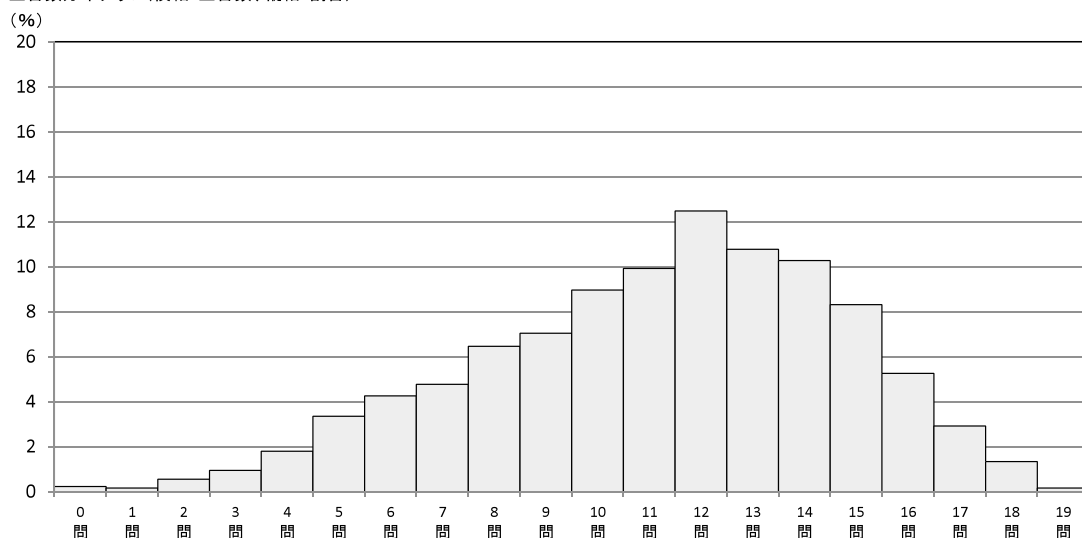
[illegible]

国語学習シート活用事例集 P.13～16

【分類・区分別の状況】(第2学年)

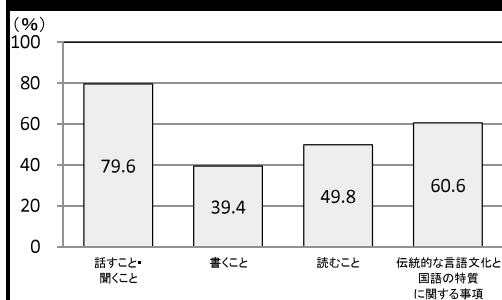
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,856	11.2 / 19	59.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)

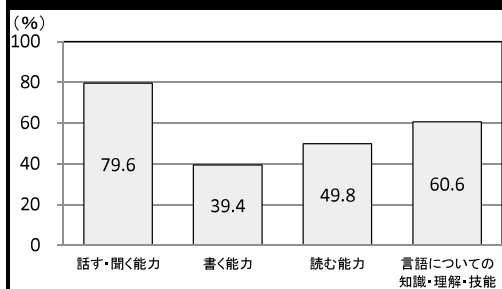


正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.2
2問	0.6
3問	0.9
4問	1.8
5問	3.4
6問	4.3
7問	4.8
8問	6.5
9問	7.0
10問	9.0
11問	9.9
12問	12.5
13問	10.8
14問	10.3
15問	8.3
16問	5.3
17問	2.9
18問	1.3
19問	0.2

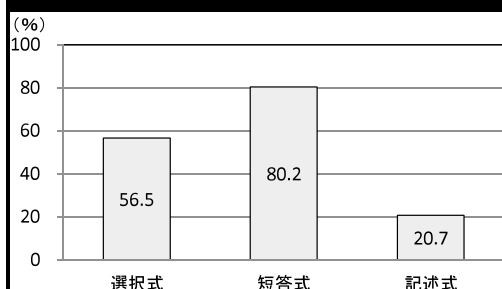
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



国語の平均正答率は59.0%で、例えば次のような課題が見られた。

・今までの自分の体験と結び付けて、文章に書かれている内容を説明すること

[2二 正答率15.8%、無解答率34.6%]

二 ― 編部「上達の道筋」とありますが、本文中で筆者は上達するためにはどのようなことが必要かを今までに体験したことをもとに、その内容を次の条件１から条件３にして説明しています。

条件１ あなたが今までに体験したことを具体的に書くこと。

条件２ 本文中で筆者が述べていることが分かるように書くこと。

条件３ 八十字以上、百字以内で書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

※学習シート等との関連

国語学習シート No.23・43・45・66・67

国語学習シート活用事例集 P.13～16

【設問別正答率】（第1学年）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			期待正答率（％）	高知県	
							話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	一	(1)	○		漢字を書く（期待が外れて、おもしろみがハンゲンした）	文脈に即して漢字を正しく書く				(1)ウ(イ)				○	○			80	58.4	16.1
1	一	(2)	○		漢字を書く（委員会を主ウける）	文脈に即して漢字を正しく書く				(1)ウ(イ)				○	○			80	51.9	27.8
1	二	(1)	○		漢字を読む（よい兆候が見られる）	文脈に即して漢字を正しく読む				(1)ウ(フ)				○	○			80	85.3	4.5
1	二	(2)	○		漢字を読む（人を散う気持ちを大切に）	文脈に即して漢字を正しく読む				(1)ウ(フ)				○	○			80	85.2	2.9
1	三	ア	○		適切な語句を選ぶ（物質が変化していく過程を調査する）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				(1)イ(イ)				○	○			80	77.6	0.3
1	三	イ	○		適切な語句を選ぶ（優勝した選手に、現在のシン盛を聞く）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				(1)イ(イ)				○	○			80	74.6	0.2
1	三	ウ	○		適切な語句を選ぶ（「赤ちゃんがにっこり笑った」の「にっこり」と「笑った」の文節どうしの関係は、修飾・被修飾の関係である）	文の成分を理解する				(1)イ(エ)				○	○			80	45.6	0.7
1	四		○		友達のアドバイスを生かして書き直したものを選ぶ	行書の基本的な書き方を理解し、配列・配置に気を付けて書く				(2)イ				○	○			80	68.3	0.2
1	五	(1)	○		歴史的仮名づかいを現代仮名づかいに直す	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む				(1)ア(フ)				○	○			80	49.0	5.3
1	五	(2)	○		古文と現代語訳とを対応させて、動作の主体となる人物を選ぶ	文章の展開に即して内容を読み取る			ウ				○		○			70	84.8	0.5
1	六	(1)	○		連らくから必要な情報を聞き取り、メモをとる	必要な情報を的確に聞き取る	エ				○				○			80	57.5	1.7
1	六	(2)	○		足りない情報を得るための質問として、適切なものを選ぶ	必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出す	エ				○				○			80	71.6	0.5
1	七	(1)	○		比較の対象が明確になるように、適切なものを選ぶ	書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にする		エ				○			○			70	63.4	0.7
1	七	(2)	○		内容に応じてレポートの文章を二つに分ける	段落の役割を考えて文章を構成する		イ				○			○			70	69.0	2.7
2	一		○		文章をもとに、薩摩切り子と江戸切り子のちがいに ついてまとめた表に当てはまる言葉の組み合わせを選ぶ	目的に応じて必要な情報を読み取る			イ				○		○			70	60.8	0.7
2	二		○		本文中で筆者が述べていることを具体的に説明する	文章の内容を正確に捉える			イ				○			○		50	13.5	18.2
2	三		○		新聞記事にある久保田さんの考えについて、感じたことや考えたことを具体的に書く	文章の内容について根拠を明確にして自分の考えを書く		ウ	カ				○	○			○	40	21.5	21.9
3	一		○		詩の内容について適切なものを選ぶ	表現の仕方に注意して読み、内容について理解する			ウ					○	○			70	66.2	1.0
3	二		○		詩に使用されている表現の技法として適切なものを選ぶ	表現の技法について理解する				(1)イ(カ)					○	○		80	44.6	1.6
3	三		○		二つの詩のうち紹介する詩の一つを選び、その詩を選んだ理由を書く	ノートを参考に、構成や表現の仕方などについて自分の考えを書く		ウ	エ					○	○		○	40	24.9	11.5

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第2学年）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			期待正答率（％）	高知県	
							話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	一	(1)	○		漢字を書く（世界イザンを見学する）	文脈に即して漢字を正しく書く				(1)ウ(イ)				○	○			80	79.0	6.4
1	一	(2)	○		漢字を書く（医師をココロザす）	文脈に即して漢字を正しく書く				(1)ウ(イ)				○	○			80	81.2	8.2
1	二	(1)	○		漢字を読む（熟練を要する仕事）	文脈に即して漢字を正しく読む				(1)ウ(フ)				○	○			80	92.4	2.2
1	二	(2)	○		漢字を読む（早起きに努める）	文脈に即して漢字を正しく読む				(1)ウ(フ)				○	○			80	90.3	3.5
1	三	ア	○		適切な語句を選ぶ（旅行に備えて厳密な計画を立てる）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				(1)イ(イ)				○	○			80	24.8	0.4
1	三	イ	○		適切な語句を選ぶ（たなびく雲の間から、春の光がもれている）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				1(1)イ(イ)				○	○			80	46.3	0.3
1	三	ウ	○		適切な語句を選ぶ（「この春に姉は卒業する。」の「この」は、連体詞である）	単語の類別について理解する				1(1)イ(ロ)				○	○			80	40.4	0.4
1	四		○		行書の特徴の説明として適切なものを選ぶ	漢字の楷書と行書との違いを理解して書く				(2)イ				○	○			60	33.1	0.6
1	五	(1)	○		歴史的仮名づかいを現代仮名づかいに直す	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む				1(1)ア(フ)				○	○			80	58.3	9.2
1	五	(2)	○		古文中で作者がつかむものとして適切なものを選ぶ	文章の展開に即して内容を読み取る			1ウ				○	○				60	68.9	0.6
1	六	(1)	○		話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選ぶ	話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす	1オ				○				○			80	79.4	0.6
1	六	(2)	○		三人の発言を聞いて、意見の相違点を整理する	目的に沿って話し合い、互いの発言を検討する	オ				○				○			80	79.8	0.6
1	七	(1)	○		文章を書くために使わなかった付箋を選ぶ	多様な方法で材料を集めながら考えをまとめる		ア				○			○			80	84.0	0.7
1	七	(2)	○		文章の構成を変える理由として適切なものを選ぶ	書いた文章について意見を交流し、文章を書き直す		オ				○			○			80	32.4	0.9
2	一		○		段落相互の関係について説明したものとして適切なものを選ぶ	段落相互の関係を理解し、文章の展開を捉える			1エ				○		○			60	64.9	1.3
2	二		○		自分が今までに体験したことと関連付けて、上達の道筋について筆者が述べていることを書く	今までの自分の体験と結び付けて、文章に書かれている内容を説明する		ウ	エ			○	○			○		40	15.8	34.6
3	一		○		新聞記事の書き方の特徴を説明したものとして適切なものを選ぶ	文章の構成や表現の特徴を捉える			1エ				○		○			70	55.6	1.2
3	二		○		資料がどのような疑問を解決するための参考になるのかを説明したものとして適切なものを選ぶ	情報を関連させて読む			1カ				○		○			70	68.2	1.3
3	三		○		敬語の使い方について自分の考えを、根拠を明確にして書く	読み取った情報を根拠として示しながら、自分の立場を明確にして意見を書く		ウ	オ				○	○		○		40	25.5	11.0

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校国語における成果と課題】

		第 1 学年			第 2 学年		
		領域・ 内容	問題番号	出題のねらい	領域・ 内容	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	読	1五(2)	古文と現代語訳とを対応させて内容を捉えること・84.8%	話	1六(2)	目的に沿って話し合い、互いの発言を検討すること・79.8%
	経年	伝	1二	文脈に即して漢字を正しく読むこと・ (1)兆候 85.3%、(2)歟う 85.2% H24 小 5 1(2) : 県 89.1%※当該生徒小学 6 年 時との比較	話	1六(1)	話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たすこと・79.4% H25 中 1 8一 : 県 79.2%※当該生徒 1 年時との比較
課題	本年度				書	1七(1)	多様な方法で材料を集めながら考えをまとめること・84.0% H26A 7一 : 県 82.1%、全国 84.6%
	経年	読	2二 最も低い 正答率	文章の内容を正確に捉えること・13.5% H24 中 2 9一 : 0.6% H26 公立高等学校入学者選抜における学力検査 2(二) : 3.8%、3 : 0.9%	話	1一 (1)(2)	文脈に即して漢字を正しく書くこと・ (1)イサン 79.0%、(2)ココロザす 81.2% H25 中 1 1 : (1)78.0%、(2)80.8%※当該生徒 1 年時との比較
課題	本年度	書読	2三	文章の内容について根拠を明確にして自分の考えを書くこと・21.5% H25B 2三 : 県 62.3%、全国 65.7% →『平成25年度全国学力・学習状況調査結果の概要』P.22 参照	書読	2二 最も低い 正答率 最も高い 無解答率	今までの自分の体験と結び付けて、文章に書かれている内容を説明すること・15.8%、無解答率 34.6% H25 9三 : 2.9%、無解答率 44.4% →P. 53 「中学校国語指導改善のポイント」へ
	経年	書読	3三	詩の構成や表現の仕方などについて自分の考えをもつこと・24.9% H26B 1三 : 県 45.3. %、全国 48.2%	書読	3三	読み取った情報を根拠として示しながら、自分の立場を明確にして意見を書くこと・25.5% H20B 3三 : 県 45.8%、全国 53.7%
課題	本年度				伝	1三ア	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと・綿密 24.8% H23A 9三イ : 県 39.9%
	経年				伝	1三ウ	単語の類別について理解すること・連体詞 40.4% H26 公立高等学校入学者選抜における学力検査 5(五)3 : 動詞 19.9%
課題	本年度				伝	1四	漢字の楷書と行書との違いを理解して書くこと・33.1% H22A 10七 : 県 39.5%、全国 46.7%
	経年						

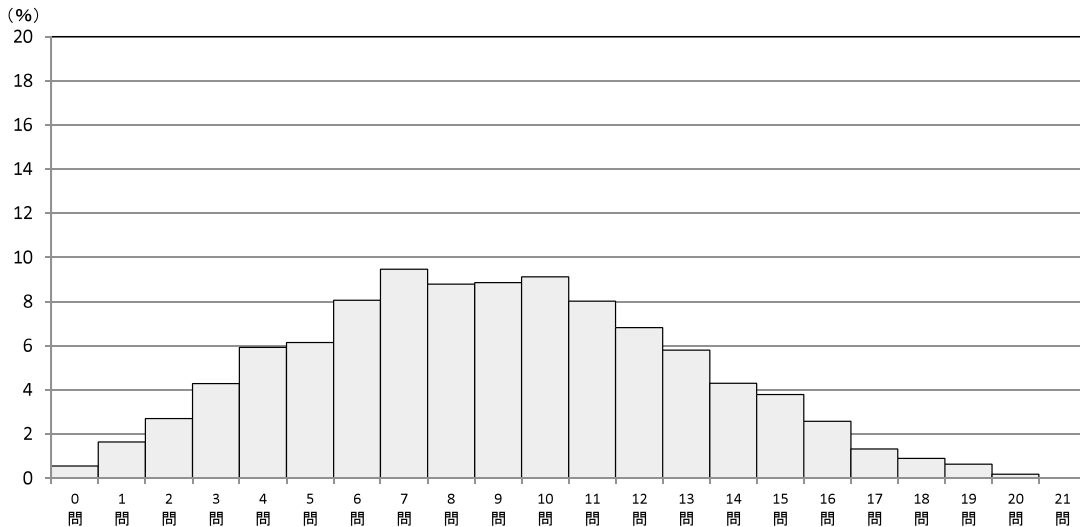
【領域・内容】 話：話すこと・聞くこと、書：書くこと、読：読むこと、伝：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(5) 中学校社会

【分類・区別の状況】(第1学年)

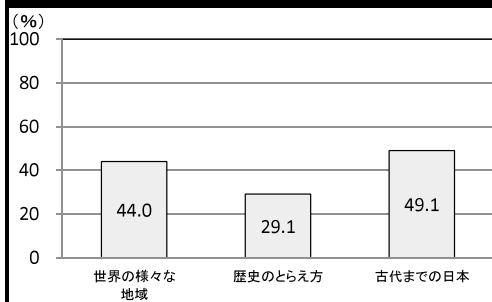
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,876	8.9 / 21	42.4

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)

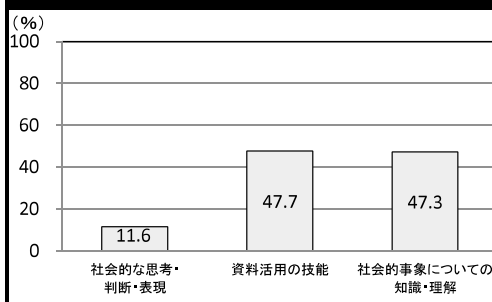


正答数 (割合(%))	
0問	0.6
1問	1.6
2問	2.7
3問	4.3
4問	5.9
5問	6.2
6問	8.1
7問	9.5
8問	8.8
9問	8.9
10問	9.1
11問	8.0
12問	6.8
13問	5.8
14問	4.3
15問	3.8
16問	2.6
17問	1.3
18問	0.9
19問	0.6
20問	0.2
21問	0.0

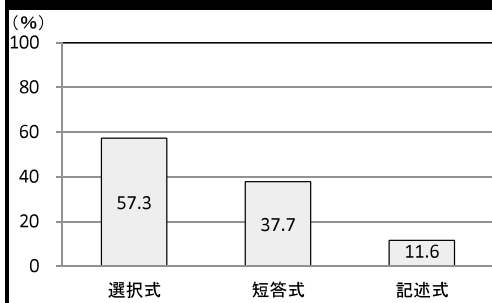
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式

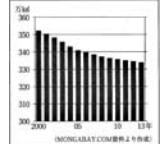


社会の平均正答率は42.4%で、例えば次のような課題が見られた。

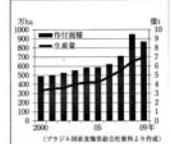
- ・バイオ燃料車の普及を環境保護の取り組みとして捉え、説明すること
- 【2(3)② 正答率4.3%、無解答率27.4%】

【2】 大沢さんは、【資料1】から【資料3】を見て、「なぜ、アマゾンの森林が減少し、サトウキビ栽培が増えているのか」と疑問をもち、ブラジルの環境問題について、ノートにまとめている。次の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

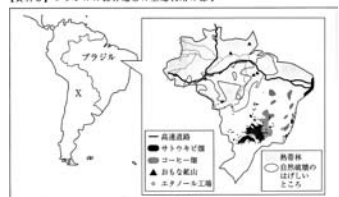
【資料1】アマゾン地域の森林面積の減少



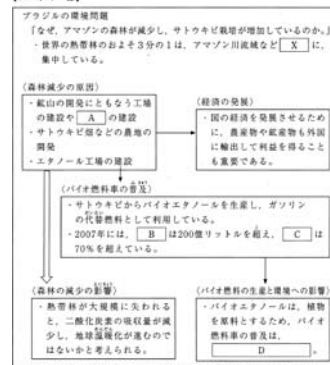
【資料2】サトウキビの生産量とサトウキビ畑の面積の増加



【資料3】ブラジルの森林地帯の土地利用の様子



【ノートの一部】



(3) 近年ブラジルにおいて、5ページの【資料2】のようにサトウキビの生産量は、増加しています。大沢さんは、次の【図】のようにサトウキビがバイオエタノールとして利用されていることを知り、そのことについて調べようとしています。次の①、②の各問に答えなさい。

【図】



【バイオエタノールの説明】

○バイオエタノールとは、バイオ燃料の一種で、サトウキビなどの植物原料からつくられるアルコール燃料のこと

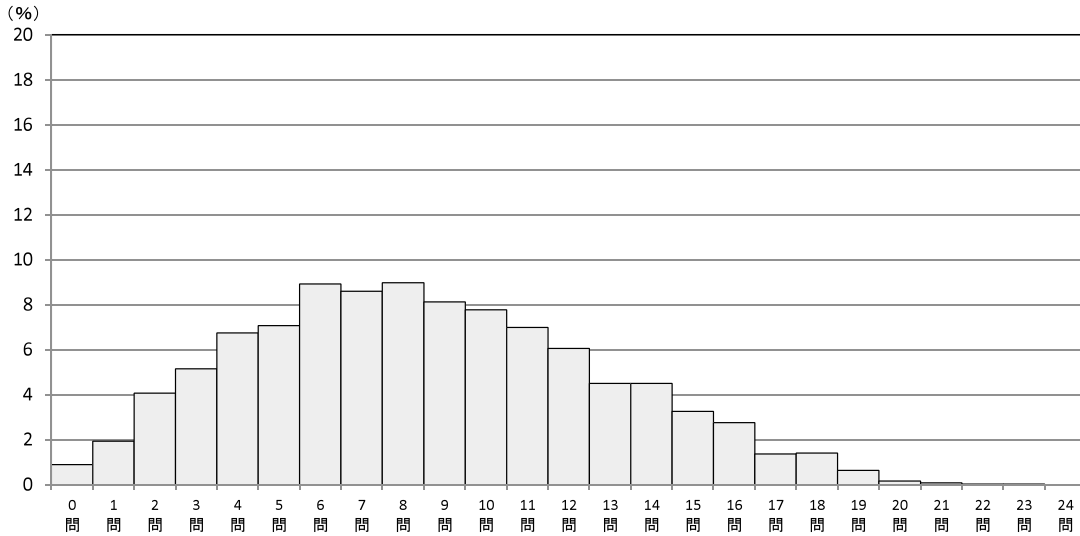
② バイオ燃料車の普及は、環境保護の取り組みの一つとして、注目されています。大沢さんは、上の【図】と6ページの【ノートの一部】の中の「森林の減少の影響」をもとに「バイオ燃料の生産と環境への影響」について考えています。書き出しに続けて、Dに当てはまる内容を書きなさい。

【分類・区分別の状況】(第2学年)

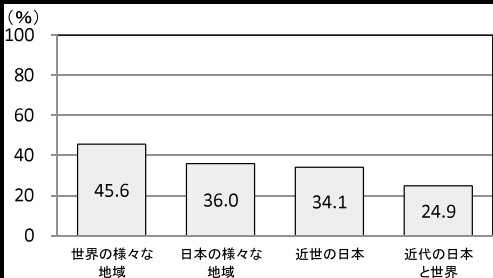
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,850	8.5 / 24	35.6

正答数 (割合(%))	
0問	0.9
1問	1.9
2問	4.1
3問	5.2
4問	6.7
5問	7.1
6問	8.9
7問	8.6
8問	9.0
9問	8.1
10問	7.8
11問	7.0
12問	6.1
13問	4.5
14問	4.5
15問	3.3
16問	2.8
17問	1.4
18問	1.4
19問	0.6
20問	0.2
21問	0.1
22問	0.0
23問	0.0
24問	0.0

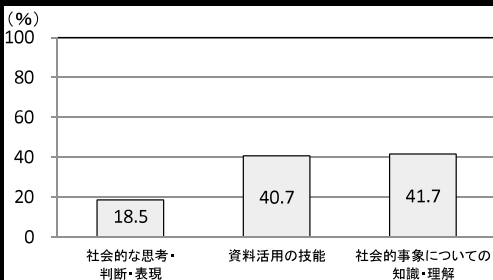
正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



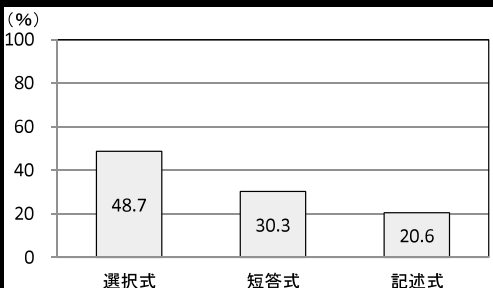
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



社会の平均正答率は35.6%で、例えば次のような課題が見られた。

・明治政府が目指した国づくりについて、江戸時代との違いに着目して、説明すること

〔6(4)Y 正答率10.2%、無解答率38.1%
Z 正答率18.7%、無解答率36.3%〕

6 中野さんは、新聞記事で富岡製糸場が世界遺産に登録されたことに注目し、年表中の明治初期の日本や世界のおもな出来事をもとに、「明治政府は、明治維新の諸改革によって、どのような政治を進めたかったのか」を調べています。次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

【資料1】富岡製糸場



(写真提供：国立国会図書館)

【年表】

西暦	日本の出来事	世界の出来事
1765		ワットの蒸気機関改良 X がおこる
1840		アヘン戦争がおこる
1841	天保の改革が始まる	
1853	ペリーの浦賀来航	
1854	日米和親条約	
1857		インドの大反乱がおこる
1858	日米修好通商条約	
1861		アメリカ南北戦争がおこる
1868	五箇条の御誓文	
1871	薩摩藩政、岩倉使節団の派遣	
1872	①学制公布、富岡製糸場が設立される	
1873	②徴兵令、③地租改正案	

(4) 明治政府は、江戸幕府が欧米諸国との間に結んだ不平等条約を改正するために、21ページの【資料4】のような諸改革などを行いました。中野さんは、明治政府が目指した国づくりについて、下のようにならまとめました。【まとめ】の中のY、Zに当てはまる言葉を書きなさい。なお、Zには、欧米諸国とどのような関係を作ったかが入ります。

【まとめ】

明治政府は、富岡製糸場の設立と学制、徴兵令、地租改正などの改革を進め、江戸時代における欧米諸国からの遅れを取り戻すために、Yを進めた。
明治政府がこのような諸改革を行ったのは、江戸時代に、日本と欧米諸国との間に結ばれた不平等条約を改正し、欧米諸国とZを築くことが一つの目的であった。

【設問別正答率】（第1学年）

問題番号		主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点		問題形式			期待正答率（％）	高知県	
大問	小問					世界の様々な地域	歴史のとらえ方	古代までの日本	社会的な思考・判断・表現	資料活用・技能	社会的現象についての知識・理解	選択式	短答式		記述式	正答率（％）
1	(1)		○	地図を見て、日本とほぼ同じ緯度にある国を選ぶ	世界の地域構成について、緯度と経度を理解している	(1)ア					○	○		80	47.8	0.3
1	(2)		○	地図を見て、三大洋の名称の組み合わせとして正しいものを選ぶ	三大洋の位置関係を理解している	(1)ア					○	○		80	81.4	0.2
1	(3)		○	正距方位図法の地図を見て、東京から見たときのブラジリアの方位として適切なものを選ぶ	正距方位図法による地図の特色を理解している	(1)ア					○	○		80	62.7	0.5
1	(4)		○	地図に示された4つの国の都市の気候と住居の資料をもとに、気温と降水量のグラフの組み合わせとして正しいものを選ぶ	人々の生活の工夫と自然的条件を関連付けて捉えることができる	(1)イ				○		○		70	70.3	0.7
2	(1)		○	地図を見て、大陸の名称（南アメリカ大陸）を書く	大陸の名称を理解している	(1)ア					○		○	80	53.7	10.0
2	(2)		○	アマゾン地域の森林面積が減少し続けている原因として当てはまる語句（高速道路）を、資料から読み取って書く	資料からブラジルにおける森林減少の理由を読み取ることができる	(1)ウ (d)				○			○	70	49.8	14.8
2	(3)	①B	○	ブラジルのバイオ燃料車の普及について当てはまる語句（エタノールの生産量）を、資料から読み取って書く	ブラジルにおけるサトウキビの生産量の増加とバイオ燃料車の普及を関連付けて捉えることができる	(1)ウ (d)				○			○	70	31.3	10.9
2	(3)	①C	○	ブラジルのバイオ燃料車の普及について当てはまる語句（バイオ燃料車の比率）を、資料から読み取って書く	ブラジルにおけるサトウキビの生産量の増加とバイオ燃料車の普及を関連付けて捉えることができる	(1)ウ (d)				○			○	70	25.7	11.8
2	(3)	②	○	サトウキビの利用について示された図と森林の減少の影響をもとに、バイオ燃料の生産と環境への影響について説明する	バイオ燃料車の普及と環境保護の取り組みとして捉え、説明することができる	(1)ウ (d)			○				○	60	4.3	27.4
3	(1)	A	○	アメリカ合衆国の農業地域と自然環境を示した資料を関連づけ、放牧が行われている地域の年降水量（500mm未満）を資料から読み取って書く	複数の地図を関連付けて、アメリカ合衆国の農業の特色を読み取ることができる	(1)ウ (i)				○			○	70	44.9	12.5
3	(1)	I	○	アメリカ合衆国の農業地域と自然環境を示した資料を関連づけ、自然環境に当てはまる地域でも栽培されている農作物（とうもろこし）を資料から読み取って書く	複数の地図を関連付けて、アメリカ合衆国の農業の特色を読み取ることができる	(1)ウ (i)				○			○	70	46.8	9.2
3	(2)		○	アメリカ合衆国が農産物を大量に輸出できる理由を説明する	アメリカ合衆国の農業の特色を自然条件と生産方法の2つの視点で捉え、説明することができる	(1)ウ (i)			○				○	50	9.0	27.1
4	(1)		○	社会のしくみの特徴によって分けられた時代区分に当てはまる名称（中世）を書く	時代区分について理解している	(1)ア					○		○	80	13.0	24.8
4	(2)		○	年代の表し方をもとに、当てはまる数の組み合わせとして正しいものを選ぶ	年代の表し方について理解している	(1)ア					○	○		80	29.1	1.1
4	(3)		○	年代の表し方の説明に当てはまる語句（元号）を書く	年代の表し方について理解している	(1)ア					○		○	80	24.2	24.0
4	(4)		○	資料に記載した土器の特徴をもとに、時代の名称（弥生時代）を書く	弥生時代における土器の特徴を理解している	(1)イ					○		○	80	50.2	7.6
5	(1)		○	資料を参考に、聖徳太子が目指した政治について述べた文として正しいものを選ぶ	聖徳太子の政治の特色について、資料から読み取ることができる			(2)イ		○		○		70	76.9	0.9
5	(2)	①	○	飛鳥文化の特色を読み、飛鳥文化に当てはまる代表的な文化財を選ぶ	飛鳥文化の特色と文化財等を関連付けて捉えることができる			(2)ウ		○		○		60	46.6	1.3
5	(2)	②	○	天平文化の文化財や建造物を参考に、天平文化の特色に当てはまる説明として適切なものを選ぶ	天平文化の特色と文化財等を関連付けて捉えることができる			(2)ウ		○		○		60	36.7	1.4
5	(3)		○	飛鳥時代に皇族や豪族が、寺院を建立した理由として適切なものを選ぶ	古代の日本における寺院建立の意図について理解している			(2)イ		○		○		60	63.7	1.8
5	(4)		○	資料を参考に、大化の改新では、土地や人民の支配のしくみをどのように改革しようとしたか、それ以前の支配のしくみとあわせて説明する	資料を基に、大化の改新前後の社会のしくみについて考察し、説明することができる			(2)イ	○				○	50	21.5	31.2

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第2学年）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点	問題形式			期待正答率（％）	高知県	
							世界の様々な地域	日本の様々な地域	近世の日本	近代の日本と世界		選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)		○		地図を見て、大洋の名称（大西洋）を漢字で正しく書く	大洋の名称を理解している	(1)ア					○	○		80	60.0	5.4
1	(2)	①②	○		地図に示された都市アビシジャンの位置を緯度、経度を用いて書く	緯度・経度を使った位置の表し方を理解している	(1)ア					○	○		70	36.7	16.4
1	(3)		○		気候の特色を参考に、コートジボワールの伝統的な住居が石を積み上げ、床を高くしている理由を書く	熱帯の地域の住居の特色を気候の特色と関連付けて捉え、説明することができる	(1)イ				○			○	70	13.2	15.3
1	(4)		○		資料を参考に、アフリカ州の貿易の特色を輸出品とその価格に着目して説明する	第一次産品にたよるアフリカ州の産業の特色について考察し、説明することができる	(1)ウ (イ)				○			○	50	14.2	24.7
2	(1)	①②	○		グラフを見て、日本からの輸出の変化について注目すべき輸出品目を書く	資料を基に、オセアニア州の2カ国と日本の貿易の変化を読み取ることができる	(1)ウ (カ)					○		○	90	76.2	7.5
2	(2)		○		オーストラリアに関する3つの資料から共通して読み取ることができる内容として適切なものを選ぶ	複数の資料を基に、オーストラリアと世界の地域とのつながりについて読み取ることができる	(1)ウ (カ)					○	○		80	73.4	1.3
2	(3)		○		資料を参考に、日本やニュージーランドが、領土の面積の割に領海を含む排他的経済水域が広い理由を説明する	領海や排他的経済水域を基に、日本など海洋国家としての特色を捉え、説明することができる	(2)ア				○			○	60	45.4	21.2
3	(1)	①②	○		世界地図を参考に、リヤドが1月5日の午前0時のときの日本の日時を書く	地図を活用し、時差を読み取ることができる	(2)ア					○		○	70	16.4	13.0
3	(2)		○		資料を参考に、サウジアラビアから日本への輸出品と輸送手段について当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを選ぶ	日本と世界との資源におけるかかわりについて読み取ることができる	(2)イ (イ)					○	○		80	56.0	1.5
3	(3)	C	○		資料をもとに、日本などが開発している新しいエネルギー源の名称（太陽光）を書く	日本の資源・エネルギーの現状について理解している	(2)イ (イ)					○		○	80	62.9	9.5
3	(3)	D	○		日本のエネルギー発電を支えている火力発電の燃料（石油・石炭・天然ガス）を資料から読み取って書く	資料を基に、日本の資源・エネルギー資源の現状を捉えることができる	(2)イ (イ)					○		○	80	4.2	12.2
4	(1)		○		資料を参考に、中部地方の3つの地域に当てはまる気温と降水量のグラフの組み合わせとして正しいものを選ぶ	中部地方の3地域の気候の特色を捉えることができる	(2)ウ (イ)					○	○		70	57.4	2.3
4	(2)		○		グラフからレタスの出荷量の変化を読み取り、中央高地の自然環境と農業との関連について説明する	中部地方の3地域の自然環境と農業の関連を捉え、説明することができる	(2)ウ (イ)				○			○	60	9.5	26.4
5	(1)		○		豊臣秀吉の政策によって進められた身分を区別することを表す語句（兵農分離）を漢字4字で書く	検地・刀狩などの政策を通して、近世社会の基礎がつけられていったことを理解している	(4)ア					○	○		80	25.7	30.1
5	(2)	①	○		資料を参考に、元禄文化に関係する人物と作品の種類の組み合わせとして正しいものを選ぶ	元禄文化の特色について理解している	(4)ウ					○	○		70	62.9	1.0
5	(2)	②	○		資料を参考に、化政文化に当てはまらない作品を選ぶ	化政文化の特色について理解している	(4)ウ					○	○		70	15.3	1.0
5	(3)	①	○		江戸時代の朝鮮について述べた文として適切なものを選ぶ	鎖国下の対外関係について理解している	(4)イ					○	○		80	58.7	1.4
5	(3)	②	○		松平定信が行った寛政の改革の説明として正しいものを選ぶ	江戸幕府の政治改革について理解している	(4)エ					○	○		70	40.9	1.8
5	(4)	B C	○		資料を参考に、江戸時代に、町人などが文化の担い手となった理由として当てはまる語句を書く	資料を基に、町人文化の形成を支えた背景を捉えることができる	(4)ウ				○		○		60	1.3	24.1
6	(1)		○		説明文を参考に、イギリスでおこった出来事（産業革命）を書く	欧米諸国における産業革命について理解している	(5)ア					○	○		70	21.4	33.7
6	(2)		○		資料を参考に、19世紀半ばのイギリスの動きとして正しいものを選ぶ	産業革命により、欧米諸国が近代社会を成立させ、アジアへの進出を進めた目的を理解している	(5)ア					○	○		60	35.2	1.9
6	(3)		○		明治維新による地租改正の影響について正しく述べたものを選ぶ	明治政府による改革の影響について理解している	(5)イ					○	○		60	38.9	2.2
6	(4)	Y	○		明治政府がどのように国づくりを進めたのかを説明する	明治政府が目指した国づくりについて、江戸時代との違いに着目して、説明することができる	(5)イ	○					○		40	10.2	38.1
6	(4)	Z	○		明治政府が諸改革を行った目的について、欧米諸国との関係に着目して説明する	明治政府が目指した国づくりについて、江戸時代との違いに着目して、説明することができる	(5)イ	○					○		40	18.7	36.3

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校社会における成果と課題】

		第 1 学年			第 2 学年		
		領域・ 内容	問題番号	出題のねらい	領域・ 内容	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	世界	1(2)	三大洋の位置関係を理解すること・81.4%	世界	2(2)	複数の資料を基に、オーストラリアと世界の地域とのつながりについて読み取ること・73.4%
	経年	古代	5(1)	聖徳太子の政治の特色について、資料から読み取ること・76.9%			
課題	本年度	世界	2(3)① c	ブラジルにおけるサトウキビの生産量の増加とバイオ燃料車の普及を関連付けて捉えること・25.7%	世界	1(3)	熱帯の地域の住居の特色を気候の特色と関連付けて捉え、説明すること・13.2%
			2(3)②	バイオ燃料車の普及を環境保護の取り組みとして捉え、説明すること・4.3%		1(4)	第一次産品にたよるアフリカ州の産業の特色について考察し、説明すること・14.2%
			3(2)	アメリカ合衆国の農業の特色を自然条件と生産方法の2つの視点で捉え、説明すること・9.0%	日本	3(3) D	資料を基に、日本の資源・エネルギー資源の現状を捉えること・4.2%
		歴史	4(1)	時代区分について理解すること・13.0%		4(2)	中部地方の3地域の自然環境と農業の関連を捉え、説明すること・9.5%
			4(3)	年代の表し方について理解すること・24.2%	近世	5(1)	検地・刀狩などの政策を通して、近世社会の基礎がつけられていったことを理解すること・25.7%
		古代	5(4)	資料を基に、大化の改新前後の社会のしくみについて考察し、説明すること・21.5%、無解答率 31.2%		5(2)②	化政文化の特色について理解すること・15.3%
						5(4)	資料を基に、町人文化の形成を支えた背景を捉えること・1.3%
					近代	6(1)	欧米諸国における産業革命について理解すること・21.4%
						6(4) Y・Z	明治政府が目指した国づくりについて、江戸時代との違いに着目して、説明すること・ Y：10.2%、無解答率 38.1% Z：18.7%、無解答率 36.3% →P. 55「中学校社会指導改善のポイント」へ
	経年	歴史	4(2)	年代の表し方について理解すること・29.1% H25 6(2)：県 39.3%	日本	3(1)	地図を活用し、時差を読み取ること・16.4% H25 1(4)④：県 9.2%

【領域・内容】世界：世界の様々な地域、日本：日本の様々な地域

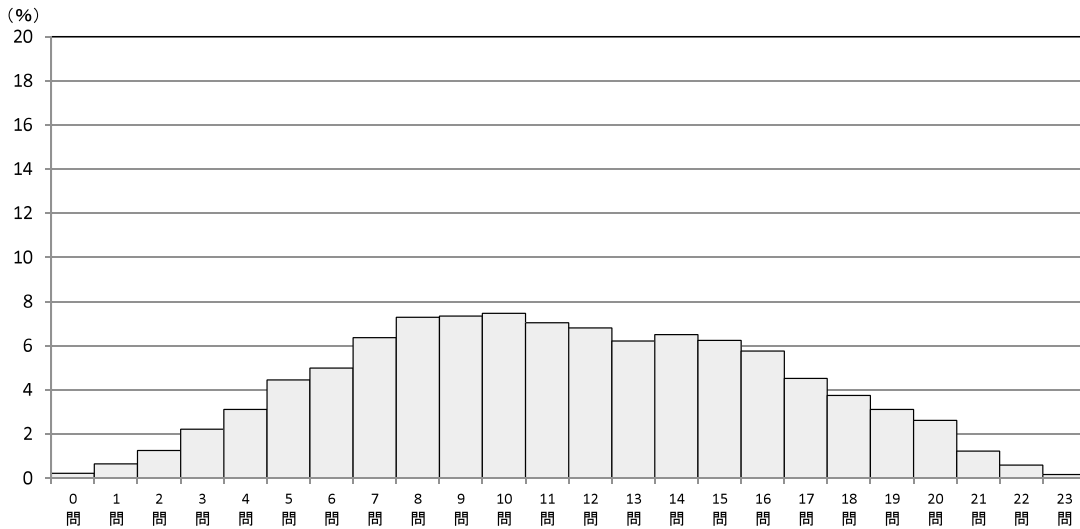
歴史：歴史のとらえ方、古代：古代までの日本、近世：近世の日本、近代：近代の日本と世界

(6) 中学校数学

【分類・区分別の状況】(第1学年)

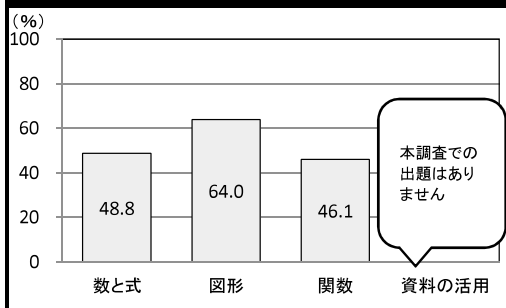
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,871	11.3 / 23	49.3

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)

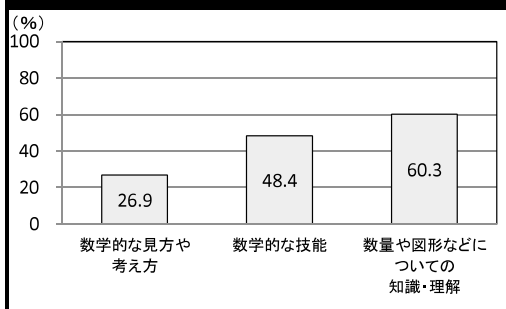


正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.7
2問	1.3
3問	2.2
4問	3.1
5問	4.5
6問	5.0
7問	6.4
8問	7.3
9問	7.3
10問	7.5
11問	7.0
12問	6.8
13問	6.2
14問	6.5
15問	6.2
16問	5.8
17問	4.5
18問	3.8
19問	3.1
20問	2.6
21問	1.2
22問	0.6
23問	0.2

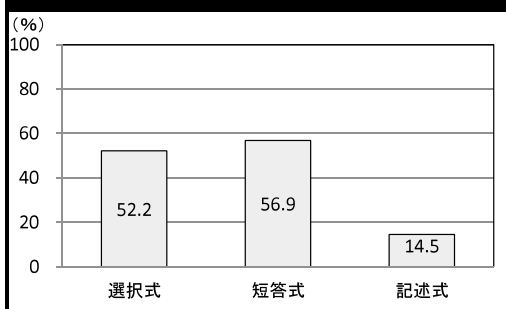
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



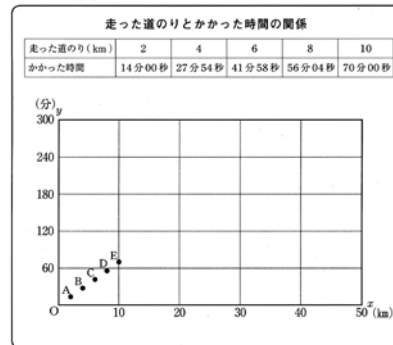
数学の平均正答率は49.3%で、例えば次のような課題が見られた。

・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること

[7(2) 正答率14.0%、無解答率18.0%]

7 まさしさんは、第3回高知龍馬マラソンで42.195 kmを完走するために、毎日、1周1 kmのコースを10周走り、その時間を記録しています。下の表とグラフは、ある日の記録を、 x km 走ったときの時間を y 分としてまとめたものです。
まさしさんは、この結果をもとにゴールするまでにかかる時間を予想することになりました。

ある日の記録



(2) まさしさんがゴールするまでにかかる時間は、下のア、イのどちらを用いても求めることができます。下のア、イのどちらか1つを選び、それを用いてゴールするまでにかかる時間を求める方法を説明しなさい。ただし、実際にその時間を求める必要はありません。

- ア 走った道のりとかかった時間の関係を表すすべての点を、原点を通る直線とみなしたグラフ
イ 走った道のりとかかった時間の関係を表した式 $y = 7x$

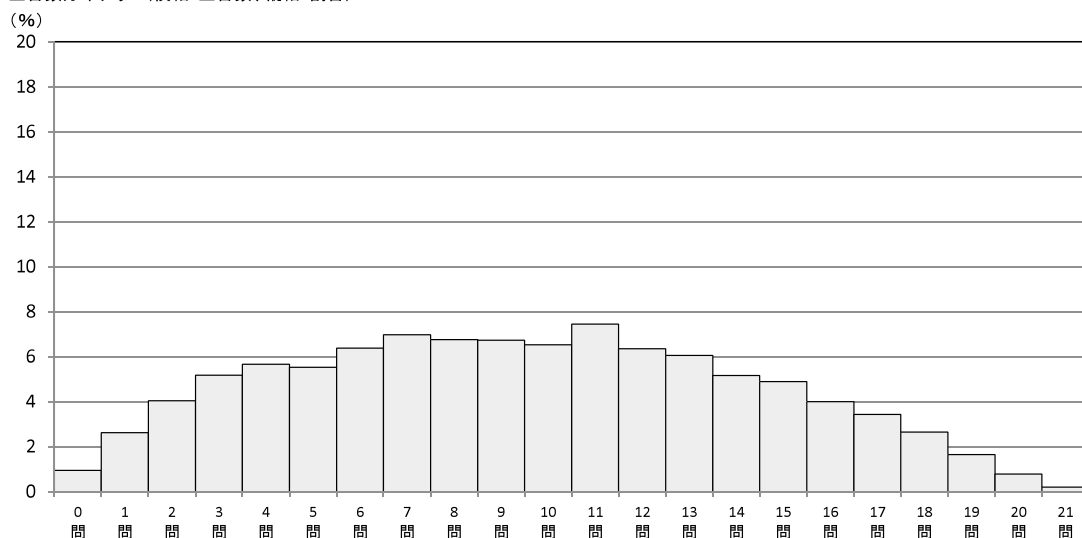
※学習シート等との関連

全国学力・学習状況調査B問題集
第1学年C数量関係(20年度)3

【分類・区分別の状況】(第2学年)

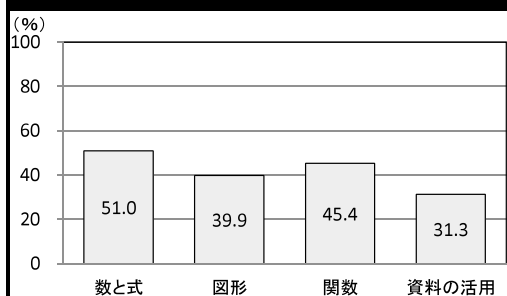
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,843	9.5 / 21	45.1

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)

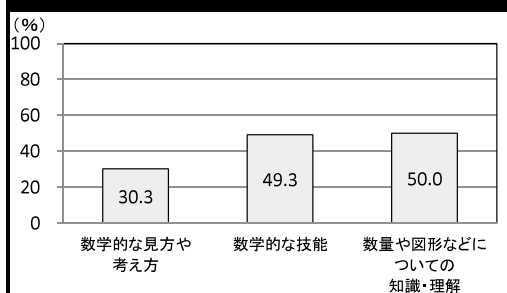


正答数 (割合(%))	
0問	0.9
1問	2.6
2問	4.0
3問	5.2
4問	5.7
5問	5.5
6問	6.4
7問	7.0
8問	6.8
9問	6.7
10問	6.5
11問	7.5
12問	6.4
13問	6.0
14問	5.2
15問	4.9
16問	4.0
17問	3.4
18問	2.6
19問	1.7
20問	0.8
21問	0.2

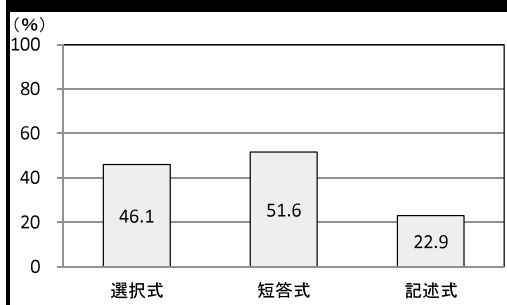
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



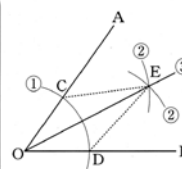
数学の平均正答率は45.1%で、例えば次のような課題が見られた。

・作図が正しいことを、三角形の合同条件を基にして証明すること

[5(5) 正答率14.2%、無解答率45.3%]

(5) 次のようにして、 $\angle AOB$ の二等分線の作図をしました。

- ① 点Oを中心として適当な半径の円をかき、辺OA、OBとの交点をそれぞれC、Dとする。
- ② 2点C、Dをそれぞれ中心として、等しい半径の円をかき、その交点をEとする。
- ③ 直線OEをひく。



このとき、直線OEによって、 $\angle AOB$ が二等分されていることを証明しなさい。

※学習シート等との関連

2年数学シート No.21

高知県数学思考力問題集

◆図形の性質を調べよう(2-4-B)

「高知県数学思考力問題集」指導事例集

(図形の性質を調べよう) 3月末配付予定

【設問別正答率】（第1学年）

問題番号			主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点		問題形式			期待正答率（％）	高知県			
大問	小問	数と式					図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）		
1	(1)		○		－4－6÷2 を計算する	正の数と負の数の加減乗除の計算ができる	(1)ウ					○		○		80	59.9	3.2		
1	(2)		○		－7の絶対値を書く	絶対値の意味を理解している	(1)ア						○		○		80	79.3	4.9	
1	(3)		○		20を基準として、16を負の数で表す	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	(1)アエ						○		○		90	80.1	7.5	
2	(1)		○		a÷b×2 を、文字を用いた式の表し方にしがたって書く	文字を用いた式の表し方にしがたって、式を表すことができる	(2)イ						○		○		60	24.0	10.6	
2	(2)		○		7(x＋1)－2(2x－3) を計算する	一次式の加法・減法の計算ができる	(2)ウ						○		○		70	45.1	10.4	
2	(3)		○		x＝4のとき、－x ² の値を求める	指数を含む文字式で文字に数を代入して、式の値を求めることができる	(2)エ						○		○		70	46.2	11.9	
2	(4)		○		「1本80円のボールペンをx本買ったときの代金は700円よりも安い。」という数量の関係を表した式として正しいものを選ぶ	数量の大小関係を不等式に表すことができる	(2)エ						○		○		70	56.2	0.3	
2	(5)		○		ある商品の8%の消費税込価格がa円のとき、この商品の税抜価格を表している式を選ぶ	数量を文字式で表すことができる	(2)エ						○		○		50	18.8	1.2	
3	(1)		○		一次方程式 2x＝－x＋6 の解について正しいものを選ぶ	一元一次方程式の解の意味を理解している	(3)ア							○	○		70	44.1	2.0	
3	(2)		○		一次方程式 $\frac{1}{2}x = \frac{1}{3}x + 1$ を解く	係数に分数を含む一元一次方程式を解くことができる	(3)ウ							○		○		60	35.4	18.7
3	(3)		○		一次方程式を解くとき、等式の性質を選ぶ	等式の性質と移項の関係を理解している	(3)イ								○	○		80	60.7	1.6
3	(4)		○		びわの実を1人に4個ずつ配ると7個余り、5個ずつ配ると8個たりないとき、参加者の人数をx人として、方程式をつくる	2通りに表される数量に着目し、一元一次方程式をつくることができる	(3)ウ							○		○		70	47.4	23.4
4	(1)		○		yがxの関数であるものを選ぶ	関数関係の意味を理解している				(1)ア				○	○			50	57.4	0.8
4	(2)		○		yがxに比例し、比例定数が4のとき、x、yの値について正しいものを選ぶ	比例定数の意味を理解している				(1)イ				○	○			60	46.7	1.6
4	(3)		○		座標平面上の点の座標を求める	座標平面上にある点の位置を、2つの数の組で表すことができる				(1)ウ				○		○		80	66.0	5.3
4	(4)		○		反比例のグラフを選ぶ	反比例の関係を表すグラフの特徴を理解している				(1)エ					○	○		80	70.0	0.7
5	(1)		○		三角形を平行移動した図形をかく	平行移動した図形をかくことができる			(1)イ					○		○		80	85.6	2.9
5	(2)		○		△ABOを、点Oを回転の中心として時計回りに回転移動させたとき、回転させた角の大きさを正しく表しているものを選ぶ	回転移動の意味を理解している			(1)イ						○	○		70	42.4	0.9
6	(1)		○		1辺にn個ずつ碁石を並べて正五角形をつくるとき、碁石の個数が5(n－1)で表される囲み方を選ぶ	数学的に表現された結果を事象に即して解釈することができる	(2)ア							○		○		60	64.1	1.8
6	(2)		○		1辺にn個ずつ碁石を並べて正五角形をつくるとき、碁石の個数を5(n－2)＋5という式で求めることができる理由を説明する	事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる	(2)ア							○			○	40	22.4	27.8
7	(1)		○		ある日の記録のグラフを、式 y＝7x で表したとき、比例定数7が表している数量を選ぶ	必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる				(1)オ				○		○		60	61.7	2.5
7	(2)		○		まさしさんがゴールするまでにかかる時間を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる				(1)オ				○			○	50	14.0	18.0
7	(3)		○		ゴールするまでにかかる時間と速さの関係について予想した事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる				(1)アエ				○			○	50	6.9	41.8

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントを超える県無解答率

【設問別正答率】（第2学年）

問題番号			主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点		問題形式			期待正答率（％）	高知県	
大問	小問						数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式		記述式	正答率（％）
1	(1)		○		$2(x+4y)-5(3x-2y)$ を計算する	整式の加法・減法の計算ができる	(1)ア					○		○	80	73.2	5.4	
1	(2)		○		$x=3, y=-4$ のとき、式 $2x+3y$ の値を求める	文字に数を代入して、式の値を求めることができる	(1)イ					○		○	90	77.2	7.5	
1	(3)		○		白色のテープの長さbmは、赤色のテープの長さamの何倍であるかを、a、bを用いた式で表す	数量の関係や法則などを文字式で表現することができる	(1)イ					○		○	60	31.0	17.6	
1	(4)		○		等式 $S=\frac{1}{2}ah$ を、aについて解く	等式を目的に応じて変形することができる	(1)ウ					○		○	50	38.7	25.3	
2	(1)		○		連立方程式 $\begin{cases} 3x+y=-3 \\ x-2y=-8 \end{cases}$ の解について正しいものを選ぶ	連立二元一次方程式の解の意味を理解している	(2)ア					○	○		80	57.4	1.9	
2	(2)		○		連立方程式 $\begin{cases} x+2y=2 \\ 3x+4y=5 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	(2)ウ					○		○	80	54.8	12.3	
2	(3)		○		100円のバッジと390円のバッジを合わせて31個買ったときの代金が6000円であることから、100円のバッジをx個、390円のバッジをy個買ったとして、連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくることができる	(2)ウ					○	○		80	59.5	6.3	
3	(1)		○		「線香の燃えた部分の長さは、線香に火をつけてからの時間に比例する」と考えたとき、線香の長ささと時間の関係を表したグラフを選ぶ	事象における2つの数量の変化や対応の様子を捉え、その様子を表すグラフを指摘できる			(1)ア			○	○		70	63.4	0.7	
3	(2)		○		一次関数 $y=-2x+5$ の変化の割合を求める	$y=ax+b$ について、変化の割合がaの値に等しいことを理解している			(1)イ			○	○		70	54.6	23.7	
3	(3)		○		二元一次方程式 $2x+y=2$ の解を座標とする点について正しいものを選ぶ	二元一次方程式の解とグラフの関係を理解している			(1)ウ			○	○		50	38.2	1.7	
4	(1)		○		LED電球の使用時間と総費用の関係を表すグラフ上にある点のy座標が表すものとして正しいものを選ぶ	グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる			(1)エ		○		○		70	54.6	1.2	
4	(2)		○		白熱電球とLED電球の総費用について、2つの総費用が等しくなるおおよその時間を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			(1)イ イ		○			○	40	15.9	52.6	
5	(1)		○		同位角の位置にあるものを選ぶ	同位角の意味を理解している		(1)ア				○	○		60	45.4	0.6	
5	(2)		○		n角形の内角の和を求める式で、 $(n-2)$ が表すものを選ぶ	n角形の内角の和を求める公式の意味を理解している		(1)イ				○	○		60	56.9	0.8	
5	(3)		○		証明の方針を立てる際に着目すべき図形を指摘する	証明のための構想や方針の必要性和意味を理解している		(2)イ ウ				○	○		80	54.4	12.7	
5	(4)		○		四角形の外角の和が 360° であることの証明について正しいものを選ぶ	証明の意義について理解している		(2)イ				○	○		50	28.4	1.4	
5	(5)		○		角の二等分線の作図が正しいことを証明する	作図が正しいことを、三角形の合同条件を基にして証明することができる		(2)ウ			○			○	50	14.2	45.3	
6	(1)		○		2年生70人の勉強時間の分布を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める	度数分布表から相対度数を求めることができる					¹ (1)ア	○		○	50	20.6	30.0	
6	(2)		○		地球から月までの距離 384400km を、有効数字を4けたで表したのとして適切なものを選ぶ	数を $a \times 10^n$ の形に表すことを理解している					¹ (1)ア		○	○	60	42.1	2.2	
7	(1)		○		連続する2つの奇数の和について予想した事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる	(1)イ ウ				○			○	50	38.7	39.6	
7	(2)		○		偶数と奇数の積が6の倍数になるかどうかを選び、その説明の方法として正しいものを選ぶ	事柄が成り立つかどうかによって、その理由を説明する方法を判断することができる	(1)イ				○		○		60	28.1	3.9	

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校数学における成果と課題】

		第 1 学年			第 2 学年		
		領域・ 内容	問題番号	出題のねらい	領域・ 内容	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	数	1(2)	絶対値の意味を理解すること・79.3%			
			1(3)	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解すること・80.1%			
		図	5(1)	平行移動した図形をかくこと・85.6%			
	経年	数	6(1)	数学的に表現された結果を事象に即して解釈すること・64.1% H25 2(6) : 県 53.2	数	1(1)	整式の加法・減法の計算をすること・73.2% H25 中 1 2(3) : 県 43.5% ※当該生徒第 1 学年時との比較
課題	本年度	数	2(1)	文字を用いた式の表し方にしたがって、式を表すこと・24.0%	数	7(2)	事柄が成り立つかどうかによって、その理由を説明する方法を判断すること・28.1%
			2(5)	数量を文字式で表すこと・18.8%	資	6(2)	数を $a \times 10^n$ の形に表すことを理解すること・42.1%
		関	7(3)	発展的に考え、予想した事柄を説明すること・6.9%、無解答率 41.6%			
	経年	数	3(2)	係数に分数を含む一元一次方程式を解くこと・35.4% H21A 3(2) : 県 41.3%、全国 52.3%	数	1(4)	等式を目的に応じて変形すること・38.7% H25 1(4) : 県 36.4%
			6(2)	事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明すること・22.4% H25B 6(3) : 県 14.5%、全国 24.1%		1(3)	数量の関係や法則などを文字式で表現すること・31.0% H23A 2(3) : 県 44.4%
		図	5(2)	回転移動の意味を理解すること・42.4% H25A 4(3) : 県 51.7%、全国 56.0%	図	5(5)	作図が正しいことを、三角形の合同条件を基にして証明すること・14.2%、無解答率 45.3% H26B 4(1) : 県 29.2%、全国 39.4% →P. 57「中学校数学指導改善のポイント」へ →『「数学思考力問題集」指導事例集』P. 74～80 参照
		関	7(2)	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること・14.0% H25 6(3) : 県 32.4%	関	4(2)	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること・15.9% H21B 3(3) : 県 11.3%、全国 19.1%
					資	6(1)	度数分布表から相対度数を求めること・20.6% H26A 13(1) : 県 38.5%、全国 42.7%

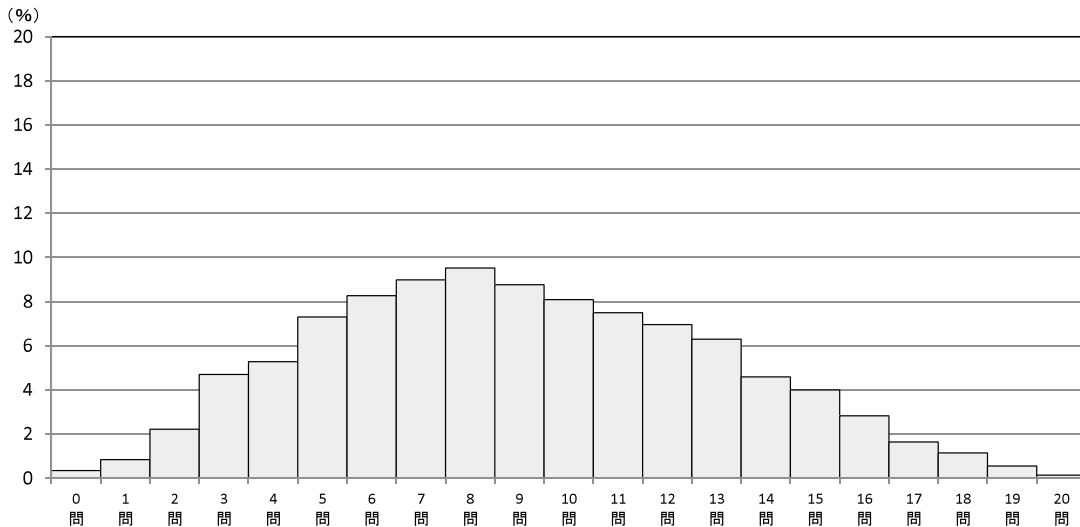
【領域・内容】数：数と式、図：図形、関：関数、資：資料の活用

(7) 中学校理科

【分類・区別の状況】(第1学年)

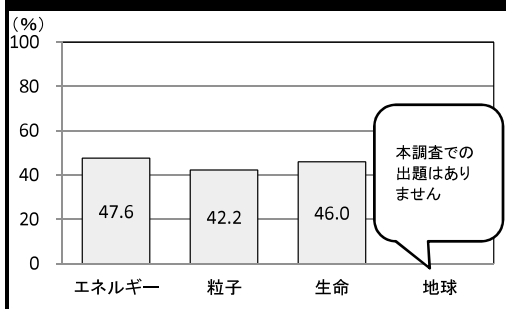
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,872	9.1 / 20	45.3

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)

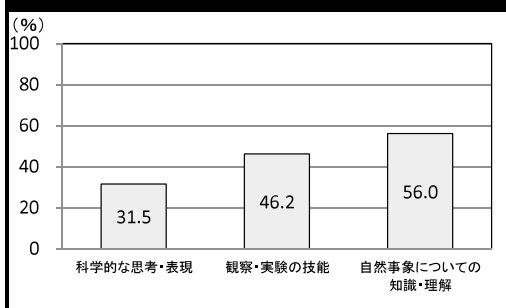


正答数 (割合(%))	
0問	0.3
1問	0.8
2問	2.2
3問	4.7
4問	5.3
5問	7.3
6問	8.3
7問	9.0
8問	9.5
9問	8.8
10問	8.1
11問	7.5
12問	7.0
13問	6.3
14問	4.6
15問	4.0
16問	2.8
17問	1.6
18問	1.1
19問	0.6
20問	0.1

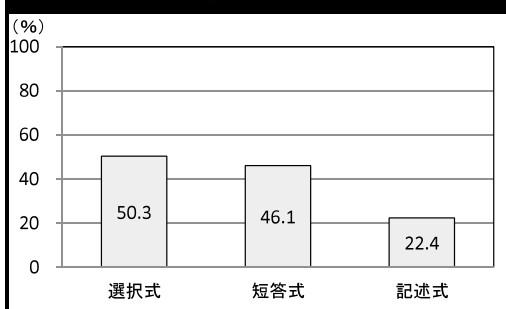
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



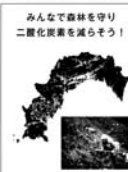
理科の平均正答率は45.3%で、例えば次のような課題が見られた。

- ・植物の呼吸を確かめる実験の条件を見いだすこと
- 【3(5) 正答率42.5%、無解答率1.8%】

③ 美紀さんたちは、植物のはたらきについて学習をしています。授業で先生が示した右のポスターを見た美紀さんは、小学校で学習した植物のはたらきについて、次のことを思い出しました。

【小学校で学習した植物のはたらき】

- ① 植物は、葉に日光が当たると光合成をし、デンプンをつくる。
- ② 植物は、光合成をすると、二酸化炭素を取り入れて酸素を出す。
- ③ 植物は呼吸をし、酸素を取り入れて二酸化炭素を出す。



次の(1)から(5)までの各問いに答えなさい。

美紀さんたちは、小学校でも学習した光合成について、次のように【実験1】を行いました。

【実験1】

I 本を鉢植えで、水中に浸けている空気を追い出した後、密閉して室温まで冷ます。

II 大型の試験管Aと試験管BにIの水を入れ、青色のBTB溶液を加え、息を吹き込みうすい緑色にする。

III 図1のように、試験管Aにはオオカナダモを入れ、試験管Aと試験管Bにゴムせんをする。

IV 試験管Aと試験管Bを日光が当たる場所に3時間置き、BTB溶液の色を観る。

図1

【結果】

試験管	A	B
BTB溶液の色	うすい青色	うすい緑色

(5) 【実験1】または【実験2】のどちらの条件を日光が当たらない場所にするかで、植物が呼吸をしていることがわかります。条件を変える実験とその結果の組み合わせとして最も適切なものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

条件を変える実験		結 果
ア	【実験1】	試験管Aと試験管Bの中のBTB溶液の色がともに変化しない。
イ	【実験1】	試験管Aの中のBTB溶液の色がうすい黄色になり、試験管BのBTB溶液の色がうすい緑色のままで変化しない。
ウ	【実験2】	試験管Cと試験管D両方のオオカナダモの葉の色がヨウ素液により変化しない。
エ	【実験2】	試験管Cのオオカナダモの葉の色はヨウ素液により変化しないが、試験管Dのオオカナダモの葉の色は、ヨウ素液により青紫色に変化する。

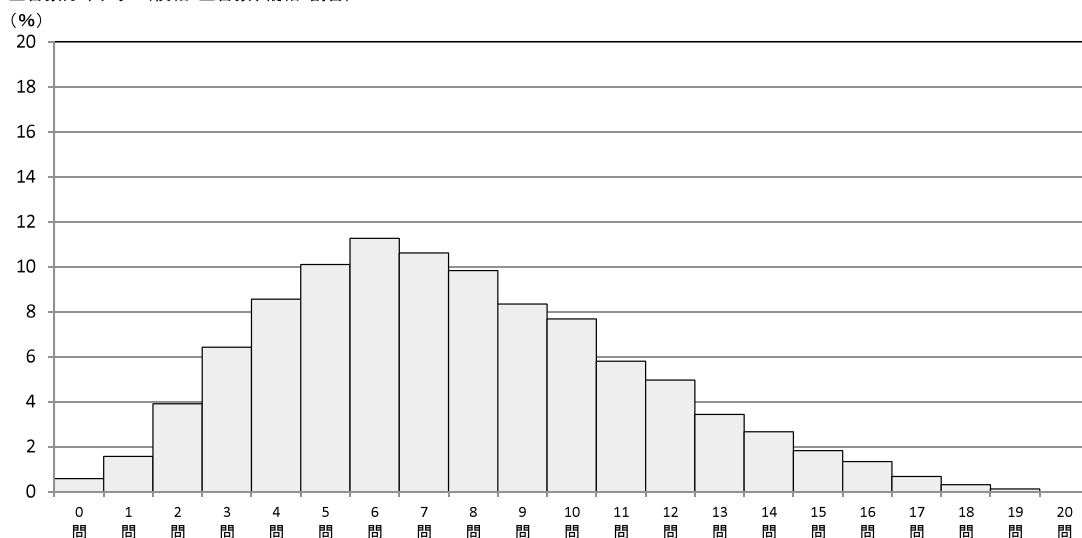
※学習シート等との関連

高知県理科思考力問題集 中1-07

【分類・区分別の状況】(第2学年)

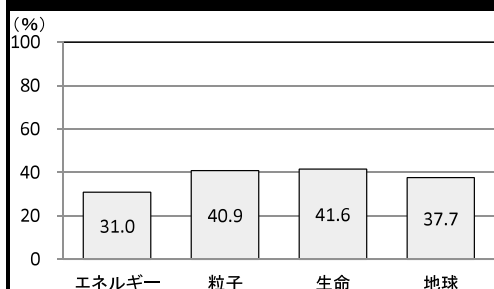
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,841	7.6 / 20	38.0

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)

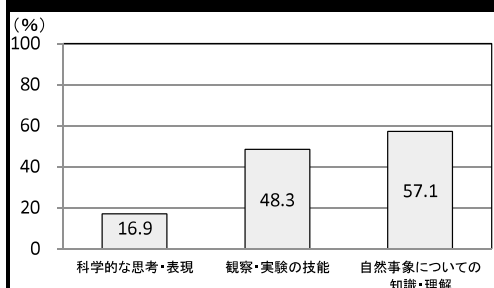


正答数 (割合(%))	
0問	0.6
1問	1.6
2問	3.9
3問	6.4
4問	8.6
5問	10.1
6問	11.3
7問	10.6
8問	9.8
9問	8.3
10問	7.7
11問	5.8
12問	5.0
13問	3.4
14問	2.7
15問	1.8
16問	1.3
17問	0.7
18問	0.3
19問	0.1
20問	0.0

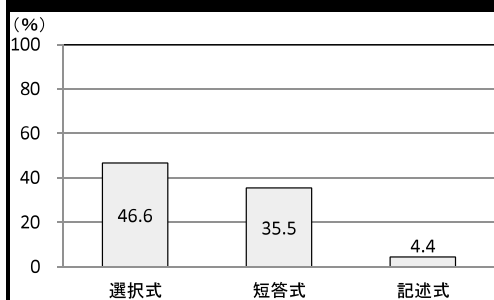
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



理科の平均正答率は38.0%で、例えば次のような課題が見られた。

・火山や地層、堆積岩の知識を活用し、過去の火山活動が活発だった時期の回数について考察し、根拠を示して説明すること

[1(5) 正答率2.9%、無解答率5.1%]

観察

I 露頭 a を観察し、スケッチする (図2)。
II 露頭 a から e について、地層の重なり方を表す (図3)。

【結果】

○露頭 a の砂岩層にはアサリの化石が含まれていた。
○露頭 a の石灰岩層にはサンゴの化石が含まれていた。
○露頭 a から e の重なり方について、共通する部分があった。

【考察】

○砂岩層にアサリの化石が含まれていたことから、アサリは「C」と考えられるので、この地層が堆積した当時、この場所は「D」だったといえる。
○露頭 a と露頭 b、露頭 c と露頭 d などの地層を比べると、重なり方が同じ地層が見られることから「一定の方向に傾いている」ことがわかる。
○これらの地層が堆積した期間に、火山活動が活発だった時期が少なくとも「E」回あったと考えられる。

(5) 露頭 a から e の地層が堆積した期間に、火山活動が活発だった時期の回数は、少なくとも何回と考えられますか。最も適切なものを下の A から E までの中から1つ選びなさい。また、回数をそのように考えた理由を書きなさい。

A 1回 I 2回 U 6回 E 7回

※学習シート等との関連

高知県理科思考力問題集 中1-10

【設問別正答率】（第1学年）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			期待正答率（％）	高知県	
							エネルギー	粒子	生命	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)			○	顕微鏡で観察するときの操作を選ぶ	観察器具（顕微鏡）の適切な操作方法を身に付けている			(1) ア(7)		○		○			80	55.6	0.3
1	(2)			○	顕微鏡の倍率と視野の明るさの関係について、適切なものを選ぶ	観察器具（顕微鏡）の倍率と視野の明るさの関係を理解している			(1) ア(7)			○	○			80	49.5	0.4
1	(3)			○	細胞と細胞の間にある口のような小さなあな（気孔）を答える	葉のつくりについて理解している			(1) イ(4)			○		○		70	64.2	12.2
1	(4)			○	葉の断面図の模式図を見て、葉の表側が濃い緑色をしている理由を、葉のつくりをもとに説明する	葉の構造を観察した結果に基づいて、葉のつくりの基本的な特徴を見いだすことができる			(1) イ(4)	○				○		50	37.6	22.5
1	(5)			○	イヌワラビが葉の裏につくる粒の名称（胞子）を答える	種子をつくらない植物について理解している			(1) ウ(4)			○		○		70	36.3	7.9
2	(1)			○	オシロスコープに表示された音の波形と音の大きさの関係について、正しいものを選ぶ	音の大小は、発音体の振動の振幅に関係することを理解している	(1) ア(7)					○	○			80	73.6	1.6
2	(2)			○	オシロスコープに表示された音の波形と音の高さの関係について、正しいものを選ぶ	音の高低は、発音体の振動数に関係することを理解している	(1) ア(7)					○	○			80	55.9	1.8
2	(3)			○	オシロスコープに表示された音の波形を比べ、音の長さの関係について、正しいものを選ぶ	発音体の長さや振動数の関係を基に、発音体の長さを見いだすことができる	(1) ア(7)			○			○			70	43.7	2.6
2	(4)			○	コンピュータに表示された2つの音の波形を比べ、振動数と振幅のちがいで、適切なものを選ぶ	コンピュータに表示された身近な楽器から出る音の波形を比較し、振動数と振幅について違いを読みとることができる	(1) ア(7)				○		○			80	53.1	2.1
2	(5)			○	コンピュータに表示された2つの音の波形を比べ、ギターの弦を指で押さえる位置とはしく強さをどのように変えたか理由とともに説明する	コンピュータに表示された身近な楽器から出る音の波形を比較し、発音体を振動させる条件を考え説明することができる	(1) ア(7)			○				○		50	11.6	29.4
3	(1)			○	光合成の実験の結果からわかる（光合成で二酸化炭素の量が変化すること）を選ぶ	光合成の実験に関する技能を身に付けている			(1) イ(4)		○		○			80	27.6	0.6
3	(2)			○	光合成の実験の結果からわかる（光合成には二酸化炭素が必要であり、デンプンがつくられる）ことを選ぶ	光合成の実験に関する技能を身に付けている			(1) イ(4)		○		○			80	45.1	0.7
3	(3)			○	エタノールをあたためるとき、直接ガスバーナーなどで加熱しない理由をエタノールの性質をもとに説明する	安全に実験を行うための技能を身に付けている	(2) ア(7)				○			○		60	26.5	23.6
3	(4)			○	オオカナダモの細胞の中で、ヨウ素液で青紫色に変化する部分について、正しいものを選ぶ	光合成が細胞中にある葉緑体で行われていることを理解している			(1) イ(4)			○	○			80	55.4	0.7
3	(5)			○	光合成の実験の条件を1つ変えることで、植物が呼吸をしていることを確かめることになる実験とその結果について、正しいものを選ぶ	植物の呼吸を確かめる実験の条件を見いだすことができる			(1) イ(4)	○			○			70	42.5	1.8
4	(1)			○	沸騰石の役割について、適切なものを選ぶ	安全に実験を行うための技能を身に付けている	(2) ウ(7)				○		○			80	74.0	0.8
4	(2)			○	蒸留の実験で、ガスバーナーの火を消す前に確認することを選ぶ	蒸留の実験に関する技能を身に付けている	(2) ウ(4)				○		○			80	41.9	1.1
4	(3)			○	温度によって物質が気体になったり、液体になったりする変化の名称（状態変化）を答える	物質の状態変化について理解している	(2) ウ(7)					○		○		80	57.3	15.9
4	(4)			○	エタノールと水の混合物の蒸留で試験管に液体を集めたとき、最初の試験管にエタノールが多く含まれる理由を、エタノールと水の沸点をもとに説明する	沸点の違いを利用すると混合物から物質を分離できることを説明することができる	(2) ウ(4)			○				○		50	18.0	33.7
4	(5)			○	石油の精製において、蒸留塔から取り出すことができる物質名と理由の組み合わせとして、適切なものを選ぶ	沸点の違いを利用して、石油から取り出すことができる物質を推定することができる	(2) ウ(4)			○			○			70	35.8	1.5

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第2学年）

問題番号		主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点		問題形式		期待正答率（％）	高知県		
大問	小問					エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象についての知識・理解	選択式		短答式	記述式	正答率（％）
1	(1)		○	地層観察で、「地層のつながりや広がり方」と「地層の成因」を調べるため着目する事象について、適切なものを選ぶ	地層観察において、「地層のつながりや広がり方」と「地層の成因」を調べるための技能を身に付けている				(2) イ(7)	○				90	73.7	0.3	
1	(2)		○	石灰岩にうすい塩酸をかけたときに発生する気体の名称（二酸化炭素）を答える	石灰岩の見分け方に関する技能を身に付けている		(2) ア(1)			○		○		80	72.4	10.5	
1	(3)		○	アサリの化石が含まれる地層が堆積した当時の生活環境について、正しいものを選ぶ	示相化石について理解している				(2) イ(7)		○	○		80	43.2	0.5	
1	(4)		○	地層の重なり方を表す図から、地層の広がりりと重なりを考察したものとして適切なものを選ぶ	観察地における地層の広がり方について、観察地の柱状図と地図を分析して解釈し、地層の傾きを考慮して、地下に広がる地層の重なりを推測することができる				(2) イ(7)	○		○		60	30.9	1.0	
1	(5)		○	地層の重なり方を表す図から、過去の火山活動が活発だった時期の回数について考察し、適切な回数を選び、その根拠を説明する	火山や地層、堆積岩の知識を活用し、過去の火山活動が活発だった時期の回数について考察し、根拠を示して説明することができる				(2) イ(7)	○			○	40	2.9	5.1	
2	(1)		○	鉄と硫黄が化合してできた物質の名称（硫化鉄）を答える	発熱を伴う化合の実験で、生成する物質を理解している		(4) イ(7)				○		○	80	64.6	13.6	
2	(2)		○	鉄と硫黄の混合物と化合物に、うすい塩酸を加えたときに発生する気体の性質の組み合わせを選ぶ	2種類の物質の混合物と化合物のそれぞれの性質の違いを理解し、混合物と化合物の見分け方に関する技能を身に付けている		(4) イ(7)			○		○		70	29.2	1.0	
2	(3)		○	鉄と硫黄の化合の実験結果を使い、残る物質とその質量を答える	化合する鉄と硫黄の質量の関係を表したグラフを基に、実験に必要な物質の質量を考察することができる		(4) ウ(1)			○			○	40	11.9	9.0	
2	(4)		○	鉄原子と硫黄原子の質量の比を書く	化合する鉄と硫黄の質量の関係を表したグラフと化学反応式を基に、化合する鉄と硫黄のそれぞれの原子の質量比を求めることができる		(4) ウ(1)			○			○	60	14.9	16.4	
2	(5)		○	鉄と硫黄の混合物を加熱するときの操作を選ぶ	発熱を伴う化合の実験に関する技能を身に付けている		(4) イ(7)				○		○	80	52.5	1.1	
3	(1)		○	音の刺激を受けとる部分の名称（鼓膜）を選ぶ	感覚器官のつくりを理解している				(3) イ(1)			○	○	90	76.1	0.6	
3	(2)		○	外界の刺激を受けとる器官の名称（感覚器官）を答える	感覚器官の働きを理解している				(3) イ(1)			○		○	70	54.7	17.0
3	(3)	①	○	音の刺激を受けとり、手の筋肉まで信号が伝わる時間と、神経を刺激が伝わる時間との差を求める	実験結果と神経系の働きを関連付けて考察することができる				(3) イ(1)		○			○	60	19.5	23.1
3	(3)	②	○	実験結果と神経を刺激が伝わる時間に差ができる理由を、脳の働きに関連づけて答える	実験結果と神経系の働きを関連付けて考察し、中枢の働きについて説明することができる				(3) イ(1)		○			○	60	11.0	46.3
3	(4)		○	反射の反応で、刺激を受けとってから反応するまでの信号の伝わり方を選ぶ	反射の反応で、感覚器官が刺激を受け入れてから反応するまでの仕組みを理解している				(3) イ(1)			○	○	90	46.8	0.8	
4	(1)		○	示された回路の回路図を選ぶ	回路図作成に関する技能を身に付けている	(3) ア(7)					○		○	90	47.2	1.0	
4	(2)		○	電圧が4.0Vのときの電流計の図から、電流の大きさを読みとり答える	電流計の読み方に関する技能を身に付けている	(3) ア(7)					○		○	70	35.1	8.6	
4	(3)		○	直列回路の抵抗器Pと抵抗器Qを1つの抵抗器Rに変えたとき、同じ結果を得ることができる抵抗器Rの抵抗の大きさについて、適切なものを選ぶ	2つの抵抗器を直列につないだときの電圧と電流の関係を調べた実験結果を基に、合成抵抗を求めることができる	(3) ア(1)				○			○	70	38.5	3.3	
4	(4)		○	抵抗器を並列につないだときに、回路全体に流れる電流の値が抵抗器を1つだけ利用したときの値よりも大きくなる説明を、「電圧」という語句を使って書く	抵抗の直列・並列つなぎに関する知識を活用して、抵抗の並列回路に流れる電流の大きさについて抵抗器にかかる電圧の関係を基に説明することができる	(3) ア(1)				○				○	70	5.9	39.4
4	(5)		○	抵抗器Pと抵抗器Qの抵抗の大きさの関係を比で表したものを選ぶ	2つの抵抗器を使って電圧と電流の値を調べた実験結果を基に、抵抗の大きさの関係を求めることができる	(3) ア(1)					○		○	70	28.3	2.7	

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校理科における成果と課題】

		第 1 学年			第 2 学年		
		領域・ 内容	問題番号	出題のねらい	領域・ 内容	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	工	2(1)	音の大小は、発音体の振動の振幅に関係することを理解すること・73.6%			
		粒	4(1)	安全に実験を行うための技能（沸騰石の役割）を身に付けること・74.0%			
	経年				粒	1(2)	石灰岩の見分け方に関する技能を身に付けること・72.4% H24 全国 3(6)：県 67.1%、全国 73.4% →『平成 24 年度全国学力・学習状況調査の概要』P. 28 参照
課題	本年度	工	2(5)	コンピュータに表示された身近な楽器から出る音の波形を比較し、発音体を振動させる条件を考え説明すること・11.6%	工	4(4)	抵抗の直列・並列つなぎに関する知識を活用して、抵抗の並列回路に流れる電流の大きさについて抵抗器にかかる電圧の関係を基に説明すること・5.9%
						4(5)	2つの抵抗器を使って電圧と電流の値を調べた実験結果を基に、抵抗の大きさの関係を求めること・28.3%
		粒	3(3)	安全に実験を行うための技能（エタノールを直接ガスバーナーで加熱しない理由）について説明すること・26.5%	粒	2(3)	化合する鉄と硫黄の質量の関係を表したグラフを基に、実験に必要な物質の質量を考察すること・11.9%
			4(4)	沸点の違いを利用すると混合物から物質を分離できることを説明すること・18.0%		2(4)	化合する鉄と硫黄の質量の関係を表したグラフと化学反応式を基に、化合する鉄と硫黄のそれぞれの原子の質量比を求めること・14.9%
		生	3(1)	光合成の実験に関する技能を身に付けること・27.6%	生	3(3)①	実験結果と神経系の働きを関連付けて考察すること・19.5%
			3(5)	植物の呼吸を確かめる実験の条件を見いだすこと・42.5% →P. 59「中学校理科指導改善のポイント」へ		3(3)②	実験結果と神経系の働きを関連付けて考察し、中枢の働きについて説明すること・11.0%、無解答率 46.3%
	経年				地	1(4)	観察地における地層の広がり方について、観察地の柱状図と地図を分析して解釈し、地層の傾きを考慮して、地下に広がる地層の重なりを推測すること・30.9%
					地	1(5)	火山や地層、堆積岩の知識を活用し、過去の火山活動が活発だった時期の回数について考察し、根拠を示して説明すること・2.9% H24 全国 3(3)：県 7.0%、全国 10.4% →『平成 24 年度全国学力・学習状況調査の概要』P. 28 参照 H25 3(3)理由：県 2.7% →『平成 25 年度高知県学力定着状況調査結果の概要』P. 39 参照

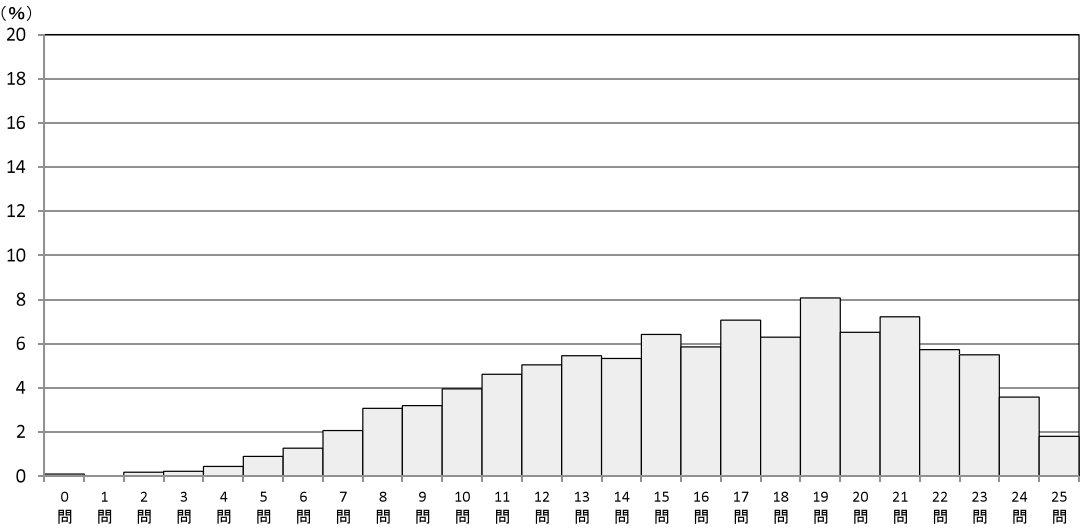
【領域・内容】工：エネルギー、粒：粒子、生：生物、地：地球

(8) 中学校外国語(英語)

【分類・区分別の状況】(第1学年)

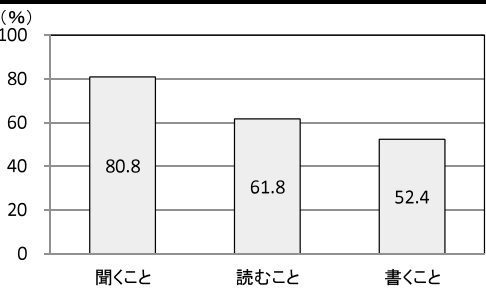
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,877	16.2 / 25	64.9

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)

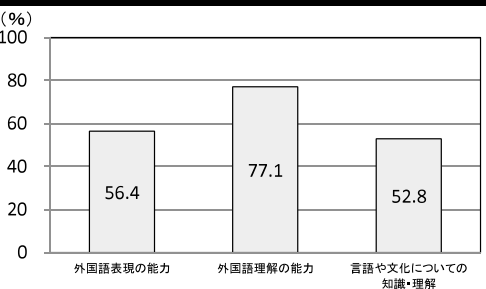


正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.0
2問	0.2
3問	0.2
4問	0.5
5問	0.9
6問	1.3
7問	2.1
8問	3.1
9問	3.2
10問	4.0
11問	4.6
12問	5.0
13問	5.5
14問	5.3
15問	6.4
16問	5.9
17問	7.1
18問	6.3
19問	8.1
20問	6.5
21問	5.7
22問	5.5
23問	3.6
24問	1.8
25問	0.0

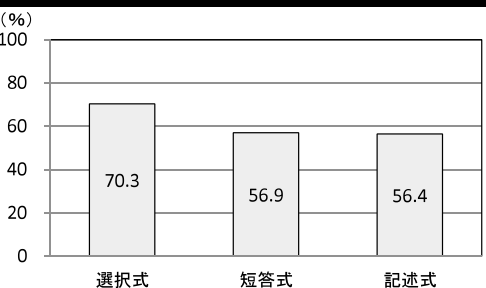
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



外国語(英語)の平均正答率は64.9%で、例えば次のような課題が見られた。

・資料に関連させて、語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと

[12③ 正答率52.0%、無解答率14.6%]

12 清水さんと西田さんは、新しく来たALTのジョン(John)先生に、英語で自己紹介をすることになりました。下は、清水さんと西田さんの【自己紹介メモ】です。あなたは、2人のうち、どちらか1人を選び、その人自身になったつもりで自己紹介をするとしたら、どのように自己紹介をしますか。解答用紙にある「選んだ人」の2人のうち、1人を選んで○で囲みなさい。また、その選んだ人について【自己紹介メモ】の①から③について、それぞれ英語で書き、【自己紹介文の原稿】を完成させなさい。

【自己紹介メモ】

清水 三郎 Shimizu Saburo	西田 仁美 Nishida Hitomi
	
・高知出身 ・音楽が好き……………① ・ピアノを弾く……………② ・①、②に関連したことを、ALTに質問する(例えば、音楽やピアノに関連して質問する英文)……………③	・高知出身 ・動物が好き……………① ・猫を3匹飼っている……………② ・①、②に関連したことを、ALTに質問する(例えば、動物や猫を飼うことに関連して質問する英文)……………③

【自己紹介文の原稿】

選んだ人	清水 三郎(Shimizu Saburo)・西田 仁美(Nishida Hitomi) (※選んだ人を○で囲みなさい。)
Hello. I'm (Shimizu Saburo または Nishida Hitomi). I'm from Kochi.	
①	_____
②	_____
③	_____

※学習シート等との関連

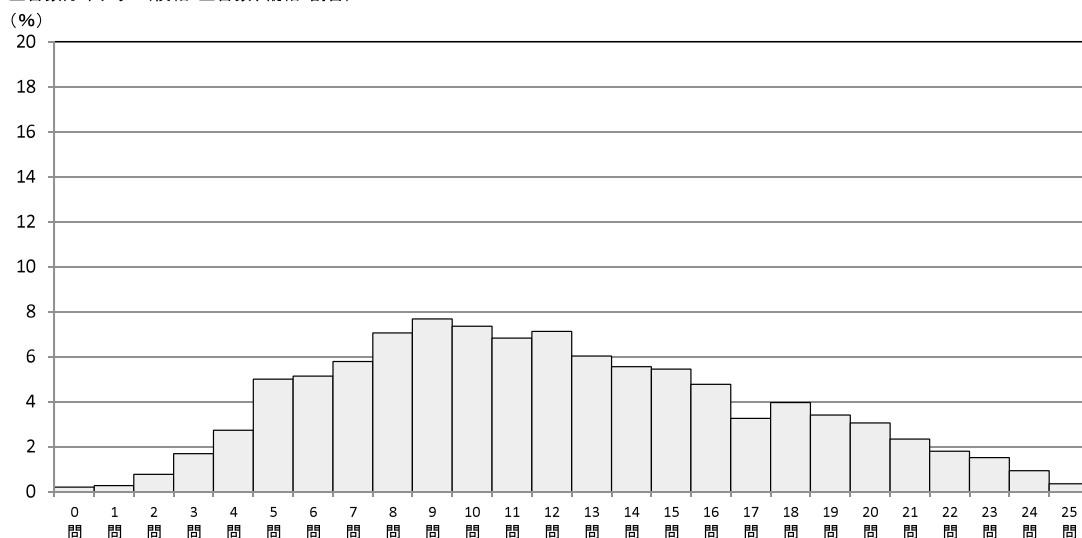
英語ライティングシート

Ⅲテーマ作文編1年生P.225～242

【分類・区分別の状況】(第2学年)

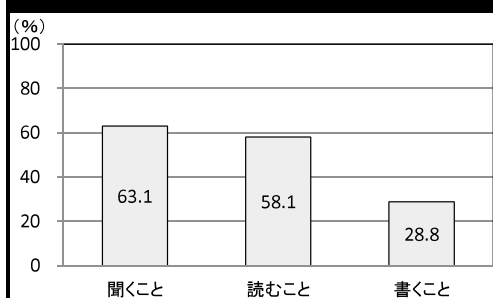
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,845	11.9 / 25	47.8

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)

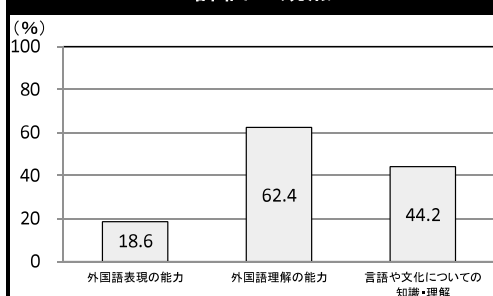


正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.3
2問	0.8
3問	1.7
4問	2.7
5問	5.0
6問	5.1
7問	5.8
8問	7.1
9問	7.7
10問	7.3
11問	6.8
12問	7.1
13問	6.0
14問	5.6
15問	5.4
16問	4.8
17問	3.3
18問	4.0
19問	3.4
20問	3.1
21問	2.3
22問	1.8
23問	1.5
24問	0.9
25問	0.4

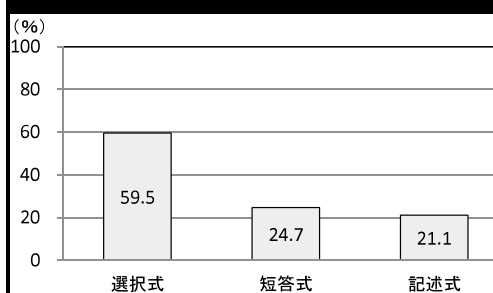
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



外国語(英語)の平均正答率は47.8%で、例えば次のような課題が見られた。

・資料を基に、語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと

- (1) (1) 正答率30.3%、無解答率23.7%
 (2) 正答率17.2%、無解答率24.8%
 (3) 正答率13.5%、無解答率33.7%

11 一樹(Kazuki)・久美(Kumi)・健太(Kenta)の3人は、英語の授業で、将来つきたい職業について発表することになりました。あなたが、3人のうちの1人としたら、どのような原稿を作成しますか。解答用紙にある「選んだ人」の3人のうち、1人を選んで○で囲みなさい。また、その人になったつもりで「つきたい職業とその理由」の(1)から(3)についてそれぞれ英語で書き、【発表原稿】を完成させなさい。

【発表原稿】

将来つきたい職業について、発表しよう！

選んだ人 一樹(Kazuki)・久美(Kumi)・健太(Kenta)
※選んだ人を○で囲みなさい。

Hello, everyone.

I'll talk about my dream.

(1) _____

Do you know why?

(2) _____

(3) In the future, _____

That is my dream.

Thank you.

【つきたい職業とその理由】

一樹(Kazuki)

- (1) 夢………ピアニスト(a pianist)になること
 (2) 理由1…ピアノを練習することが好き
 (3) 理由2…美しい音楽を演奏したい

久美(Kumi)

- (1) 夢………医者(a doctor)になること
 (2) 理由1…理科を勉強することが好き
 (3) 理由2…多くの人たちを助けたい

健太(Kenta)

- (1) 夢………料理人(a cook)になること
 (2) 理由1…日本料理を作ることが好き
 (3) 理由2…自分の店をもちたい

※学習シート等との関連
 英語ライティングシート
 Ⅲテーマ作文編2年生P.277～290

【設問別正答率】（第1学年）

問題番号	大問	小問	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点		問題形式			期待正答率（％）	高知県	
						聞くこと	読むこと	書くこと	外国語表現の能力	言語や文化についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)		○	発音される単語（mine）を聞いて、つづりを完成させる	発音と綴りの関係に気づき、正しく書く	(7)				○		○		90	93.6	1.3
1	(2)		○	発音される単語（bed）を聞いて、つづりを完成させる	発音と綴りの関係に気づき、正しく書く	(7)				○		○		90	77.8	1.2
2	(1)		○	語句（two pens and a book）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノローグ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(4)				○	○			90	94.3	0.1
2	(2)		○	語句（July sixteenth）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノローグ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(4)				○	○			80	79.1	0.3
2	(3)		○	語句（in the box）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（ダイアログ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(4)				○	○			80	96.6	0.1
3	(1)		○	対話を聞いて、適切に responding しているもの（Nice to meet you, too.）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に responding する	(9)				○	○			80	85.8	0.3
3	(2)		○	対話を聞いて、適切に responding しているもの（Yes, they do.）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に responding する	(9)				○	○			70	32.6	0.5
4	(1)		○	対話の中の＜I study it every day.＞を聞き取り、適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(4)				○	○			80	89.2	0.4
4	(2)		○	対話の中の＜on Tuesdays and Fridays＞を聞き取り、適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(4)				○	○			80	78.6	0.3
5	(1)		○	対話文に入る適切な語句（watches）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている		*			○	○			70	53.3	0.4
5	(2)		○	対話文に入る適切な語句（his）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている		*			○	○			70	42.3	0.4
5	(3)		○	対話文に入る適切な語句（How many）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている		*			○	○			70	77.6	0.5
6			○	対話文を読んで、さくらのメモの内容の組み合わせとして適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を読んで、大切な部分などを正確に読み取る	(9)				○	○			70	57.8	0.5
7			○	対話の流れを考えて、意味が通るように＜Does she live in Canada?＞を選ぶ	まとまりのある英語を、大まかな流れをつかみながら読み取る	(9)				○	○			80	75.7	0.4
8			○	対話の流れを考えて、意味が通るように＜Are you in the calligraphy club?＞を選ぶ	まとまりのある英語を、大まかな流れをつかみながら読み取る	(9)				○	○			80	63.9	0.5
9	(1)		○	必要に応じて大文字や符号を使用しながら正確に＜They're teachers.＞と筆記する	文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書く			(7)		○	○			60	34.3	6.4
9	(2)		○	必要に応じて大文字や符号を使用しながら正確に＜Do you play baseball?＞と筆記する	文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書く			(7)		○	○			70	66.8	6.2
10	(1)		○	＜Where do you have it＞を使った表現を理解して、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く			(4)		○	○			70	19.4	6.1
10	(2)		○	＜She is in her＞を使った表現を理解して、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く			(4)		○	○			80	47.7	7.4
10	(3)		○	＜I do not eat＞を使った表現を理解して、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く			(4)		○	○			80	58.7	7.2
11	(1)		○	対話の流れを考えて、意味が通るように＜What time do you go to school?＞を選ぶ	正しい語法を用いて文を構成する			(4)		○	○			70	78.7	1.1
11	(2)		○	対話の流れを考えて、意味が通るように＜Whose bike is this?＞を選ぶ	正しい語法を用いて文を構成する			(4)		○	○			70	49.4	1.2
12	①		○	自己紹介メモをもとに、選んだ人物の自己紹介をする文を書く	資料を基に、語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く			(4)	○			○		60	60.5	10.6
12	②		○	自己紹介メモをもとに、選んだ人物の自己紹介をする文を書く	資料を基に、語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く			(4)	○			○		60	56.7	11.7
12	③		○	自己紹介メモに関連して、相手に質問をする文を書く	資料に関連させて、語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く			(4)	○			○		60	52.0	14.6

*読むことに必要な表現、文法についての知識を問う内容

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第2学年）

問題番号		主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点		問題形式			期待正答率（％）	高知県	
大問	小問					聞くこと	読むこと	書くこと	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	選択式	短答式		記述式	正答率（％）
1	(1)		○	語句（ writing a letter ） を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノローグ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(f)				○		○		90	88.6	0.4
1	(2)		○	語句（ October thirtieth, tomorrow ） を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノローグ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(f)						○		70	31.7	0.5
2	(1)		○	対話を聞いて、適切に応じているもの（ It's near the station. ） を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に応じる	(g)				○		○		70	56.8	0.5
2	(2)		○	対話を聞いて、適切に応じているもの（ Yes, I did. ） を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に応じる	(g)				○		○		70	79.8	0.3
2	(3)		○	対話を聞いて、適切に応じているもの（ That's a good idea. ） を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に応じる	(g)				○		○		70	74.6	0.4
3	(1)		○	対話の中の＜ No, I don't. But my sister does. ＞ を聞き取り、あとの質問の内容に合う適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(d)				○		○		60	70.2	0.4
3	(2)		○	対話の中の＜ How about two thirty? ＞ を聞き取り、あとの質問の内容に合う適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(d)				○		○		70	39.9	0.5
4	(1)		○	対話文に入る適切な語句（ walking ） を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている		*				○	○		70	60.2	0.3
4	(2)		○	対話文に入る適切な語句（ has ） を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている		*				○	○		70	46.0	0.4
4	(3)		○	対話文に入る適切な語句（ is ） を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている		*				○	○		70	52.2	0.6
5			○	姉からのメッセージを読み、ジェインのとした行動として適切なものを選ぶ	伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じる	(I)				○		○		70	67.4	0.3
6			○	朝食と生活のかかわりについて、 2人の意見を読んで、その内容として適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を、大まかな流れをつかみながら読み取る	(g)				○		○		70	64.4	0.6
7			○	対話文を読んで、ケビンが週末に行った場所の順番として適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を読んで、大切な部分などを正確に読み取る	(g)				○		○		80	51.5	0.6
8	(1)		○	手紙文を読んで、内容につながりがあるように、 1文が入る適切なところを選ぶ	まとまりのある英語を読んで、大切な部分などを正確に読み取る	(g)				○		○		70	71.5	1.0
8	(2)		○	手紙文を読んで、その内容に当てはまる英語を選ぶ	まとまりのある英語を読んで、大切な部分などを正確に読み取る	(g)				○		○		70	52.0	1.2
8	(3)	①	○	手紙文を読み取り、 ジュディからの手紙とユミの日記をもとに相手に手紙の返事を書く	聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどする			(g)	○				○	60	8.3	41.0
8	(3)	②	○	手紙文を読み取り、 ジュディからの手紙とユミの日記をもとに相手に手紙の返事を書く	聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどする			(g)	○				○	60	23.6	41.4
9	(1)		○	＜ What＋名詞 ＞を使った表現を理解して、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く			(f)			○		○	70	11.6	7.4
9	(2)		○	＜ There is＋名詞 ＞を使った表現を理解して、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く			(f)			○		○	70	56.4	8.1
9	(3)		○	＜ to不定詞 ＞を使った表現を理解して、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く			(f)			○		○	70	22.5	8.1
10	(1)		○	対話の流れを考えて、意味が通るように ＜ Why do you study English hard? ＞を選ぶ	文と文のつながりに注意して書く			(f)			○	○		80	37.9	1.0
10	(2)		○	対話の流れを考えて、意味が通るように ＜ What do you have in it? ＞を選ぶ	文と文のつながりに注意して書く			(f)			○	○		80	66.6	1.1
11	(1)		○	つきたい職業とその理由をもとに、 選んだ人物の夢について、 want to be (become)、 職業名等を使って書く	資料を基に、 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く			(f)	○				○	60	30.3	23.7
11	(2)		○	つきたい職業とその理由をもとに、 選んだ人物がその職業につきたい理由について、 like、 不定詞等を使って書く	資料を基に、 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く			(f)	○				○	60	17.2	24.8
11	(3)		○	つきたい職業とその理由をもとに、 選んだ人物がその職業につきたい理由について、 want to～等を使って書く	資料を基に、 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く			(f)	○				○	60	13.5	33.7

* 読むことに必要な表現、文法についての知識を問う内容

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校外国語（英語）における成果と課題】

		第 1 学年			第 2 学年		
		領域・ 内容	問題番号	出題のねらい	領域・ 内容	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	聞	③(1)	挨拶に関する対話を聞いて、適切に応 じること・85.8%	聞	①(1) ②(2)	自然な口調で話されたり読まれたりす る英語(モノローグ)を聞いて、動作を表 す情報を正確に聞き取ること・88.6% 質問や依頼など対話を聞いて適切に 応じること・79.8%
	経年	聞	①(1) ②(1) ②(3) ④(1)	発音と綴りの関係に気付き、正しく書く こと・93.6% H25①(1)：県 96.1% 自然な口調で話されたり読まれたりする 英語(モノローグ)を聞いて、数やもの についての情報を正確に聞き取ること・ 94.3% H25②(1)：県 95.4% 自然な口調で話されたり読まれたりする 対話を聞いて、場所を正確に聞き取る こと・96.6% H25②(2)：県 77.6% まとまりのある英語を聞いて、概要や要 点を適切に聞き取ること・89.2% H25④(2)：県 66.8%			
課題	本年度	聞 書	③(2) ⑩(1) 最も低い 正答率	質問や依頼など対話を聞いて、適切に 応じること・32.6% 語と語のつながりなどに注意して正しい 語順(疑問詞から始まる疑問文)に並べか えること・19.4%	書	⑧(3)① 最も低い 正答率 ⑪(1) (2) (3)	手紙の内容を読み取り、適切な語句を用 いて手紙の返事を書くこと・8.3% 資料(つきたい職業とその理由)を基に、 語と語のつながりなどに注意して正し く文を書くこと (1)30.3%、(2)17.2%、(3)13.5% →P. 61「中学校外国語（英語）指導改善のポ イント」へ
	経年	書	⑨(1) ⑫③ 最も高い 無解答率	文字や符号を識別し、語と語の区切りな どに注意して正しく書くこと・34.3% H25⑧(1)：県 53.0% 資料(自己紹介メモ)に関連させて、語と 語のつながりなどに注意して相手に質問 すること・52.0%、無解答率 14.6% H25⑩③：県 25.4%、無解答率 19.3%	聞 書	①(2) ⑧(3)② 最も高い 無解答率 ⑨(1) (3) ⑩(1)	自然な口調で話されたり読まれたりす る英語(モノローグ)を聞いて、月日、時 を表す情報を正確に聞き取ること・ 31.7% H25①(3)：県 62.6% 日記から吹奏楽コンサートが楽しかっ た理由を読み取り、手紙の返事を書くこ と・23.6%、無解答率 41.4% H25⑧(2)②：県 13.7% 語と語のつながりなどに注意して正し い語順(疑問詞から始まる疑問文、to 不 定詞)に並べかえること (1)11.6%、(3)22.5% H25⑨(1)：県 18.9%、(2)：県 30.6% 文と文のつながりに注意し、対話の流れ に合った文を書くこと・37.9% H25⑩(1)：県 45.8% (2)：県 41.1%

【領域・内容】聞：聞くこと、読：読むこと、書：書くこと

各教科の指導改善のポイントと授業アイディア例について

今回の調査問題を活用し、今後の指導改善を進めるためのポイントとして、以下の①～④の流れを示しました。また、調査問題の解答類型等からつまずきの状況を把握し、その解決を図るための具体的な事例として、授業アイディア例を示していますので、ぜひ参考にしてください。

小学校国語 指導改善のポイント（第5学年）

【課題が見られる設問の例】 問題2・3

① 《出題のねらい》
疑問に思ったことと、説明文と自主学習ノートの内容を読み比べ、引用や文末表現、文字数等の条件に合わせて、調べたこととまとめとして適切な内容が書けるかどうかをみる。

② 《学習指導要領における領域・内容》
B書くこと（第5学年及び第6学年）
(1) E 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。《記述》
C読むこと（第5学年及び第6学年）
(1) カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。《目的に応じた読書》

設問	解答類型	正答率 (%)	正答	(正答の条件)
1	条件①、②、③を満たして解答しているもの	13.3	◎	次の条件を満たして解答している。 ①説明文の内容から「」を使って引用して書いている。 ②「～からです。」で書き終わるように、その思った理由を書いている。 ③書き出しの言葉に続けて、四十文字以上、五十文字以内で書いている。
2	条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	1.1		◎「～からです。」で書き終わるように、その思った理由を書いている。 ③書き出しの言葉に続けて、四十文字以上、五十文字以内で書いている。
3	条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	1.9		◎書き終わる理由が書けている一方で、説明文の内容から「」を使って引用して書くことができていない。また、解答分が52字と多く、《まとめ》に必要な情報を説明文から適切に取り出したり、【自主学習ノートの一部】の内容と関係付けたりしながらまとめて書くことができていない解答も見られた。
4	条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	17.5		
9	上記以外の解答	52.2		
0	無解答	14.0		

③ 学習指導に当たって

(1) 調べ学習などで、興味をもったことや疑問に思ったことの中から課題を設定し、解決の見通しをもつうえで、複数の資料から必要な情報を読み取り、取り出してまとめて書くという活動を意図的・継続的に行う。

(2) 取り出した情報を関係付けながらまとめる際には、共通点や相違点を比べやすいように表や図を使ったり、目的に応じて引用や要約を行ったりと、効果的な書き方を指導する。

(3) 引用については、引用する内容が目的や意図に応じて適切かどうかを判断できるように指導する。また、適切な量になるように全体とバランスを考えて書くこと、原文を正確に引用すること、引用した内容と自分の考えを書いた文章との関係を考えて書くことなどの指導を行う。

④ 【学習シート等との関連】

国語学習シート 1.07「文章を読み比べよう」
国語学習シート 1.25「著作物の引用」

【全国学力・学習状況調査との関連】
平成25年度 B[2]二、三

指導のねらい 調べたことをまとめて紹介するために、必要な情報を本や文章から引用したり、関係付けたりしながら整理して書く。

◇ 授業アイディア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、板書を基に説明させたり、書き添えたりする。

四、話し合いや書く活動を通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことへの振り返りの場を設定する。

第一次 学習の目的を把握し、学習の見通しをもつ

◇学習のねらいと言語活動の内容（教師による自作モデル）を具体的に示し、学習の見通しをもたせる。

第二次 教材文（調査問題）を使って、まとめ方の工夫や引用の仕方をつかむ

活動① 説明文「花を食べる」と【自主学習ノートの一部】を読み比べ、表にしてまとめる方法や引用の仕方などを学ぶ

表にしてまとめる共通点や相違点が比べやすいね。

資料から必要な情報を見つけて取り出すにはどうすればいいのかな。

その部分に線を引いたり、印を付けたりするといくね。大事な資料にはせんねんを使うといいよ。

ところで、どうして引用を使うのかしら。

引用することで、自分の考えや説明を読み手に分かりやすく伝えたり、説得力をもたせたりすることができるといえるね。

活動② 自分が紹介したい「〇〇のひみつ」を決める

活動③ 複数の本や文章から、自分の「〇〇のひみつブック」に必要な情報を見つけて取り出す

A本とB本から使える部分をたくさん引用して組み合わせたら、うまく書けるかな？

本や資料で調べたことを自分の文章に引用するときは、次の点に注意しよう。

①必要な部分を適切な量になるように引用する。

②自分の考えと区別して、かぎ（「」）などでくくる。

③引用した本の名前、著者などの出典も必ず書く。

活動④ 取り出した情報を整理し、分かりやすく紹介できるように図や表なども使ってまとめる。（国語学習シート107を活用）

第三次 自分のつくった「〇〇のひみつブック」を紹介し交流する

活動⑤ 互いに調べたことを紹介し合い、疑問や感想を伝え合う

・学習を振り返り、本単元で身に付けたことをまとめる

① 調査問題の出題のねらいと学習指導要領における領域・内容を記述しています。

② 解答類型別反応率と児童生徒の解答状況から分析した誤答の傾向を記述しています。

③ 課題解決を図る授業づくりの参考となるよう、学習指導におけるポイントを記述しています。このことを踏まえて、授業アイディア例を作成しています。

※1単位時間あるいは1単元の指導において、注目・留意していただきたい点を示しています。

④ 評価問題などとして活用できる学習シート等を示しています。

◇ 授業アイディア例

各教科における課題が見られる問題を活用し、「学力向上に向けてこれだけは大切にしたい授業づくりのポイント」に基づき、子どもたちに、「何を学ぶのか」が分かり、「何を学んだか」実感できるような授業展開例を示しています。

学力向上に向けてこれだけは大切にしたい
授業づくりのポイント

授業中に

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、板書を基に説明させたり、書き添えたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことへの振り返りの場を設定する。

日常的に

六、学習時間を保証し、開始時刻と終了時刻をしっかりと守る。

七、すべての子どもが過ごしやすい学校・教室環境をつくる。（すっきりした廊下周りの掲示、机・椅子の整理整頓など）

八、あいさつ、言葉づかい、聞く姿勢等、教師が子どもの模範となる。

平成24年9月 高知県教育委員会事務局小中学校課

各学校においても、調査結果を踏まえ、課題解決のための授業を構想し、それを実践することで、子どもたちに確かな学力を身に付けさせてください。

小学校国語 指導改善のポイント（第5学年）

【課題が見られる設問の例】 問題2 三

① 《出題のねらい》

疑問に思ったことをもとに、説明文と自主学習ノートの内容を読み比べ、引用や文末表現、文字数等の条件に合わせて、調べたことのまとめとして適切な内容が書けるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

B 書くこと（第5学年及び第6学年）

（1）エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。《記述》

C 読むこと（第5学年及び第6学年）

（1）カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。《目的に応じた読書》

② 解答類型		反応率 (%)	正答	（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。 ①説明文の内容から「 」を使って引用して書いている。 ②「～からです。」で書き終わるように、そう思った理由を書いている。 ③書き出しの言葉に続けて、四十字以上、五十字以内で書いている。 ○類型4が17.5%と多く、「～からです。」で書き終わるように理由が書けている一方で、説明文の内容から「 」を使って引用して書くことができていない。また、類型9が52.2%と多く、《まとめ》に必要な情報を説明文から適切に取り出したり、【自主学習ノートの一部】の内容と関係付けたりしながらまとめて書くことができていない解答も見られた。
1	条件①、②、③を満たして解答しているもの	13.3	◎	
2	条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	1.1		
3	条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	1.9		
4	条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	17.5		
9	上記以外の解答	52.2		
0	無解答	14.0		

③

学習指導に当たって

- （1）調べ学習などで、興味をもったことや疑問に思ったことの中から課題を設定し、解決の見通しをもったうえで、複数の資料から必要な情報を読み取り、取り出してまとめて書くという活動を意図的・継続的に行う。
- （2）取り出した情報を関係付けながらまとめる際には、共通点や相違点を比べやすいように表や図を使ったり、目的に応じて引用や要約を行ったりと、効果的な書き方を指導する。
- （3）引用については、引用する内容が目的や意図に応じているか否かを判断できるように指導する。また、適切な量になるように全体とのバランスを考えて書くこと、原文を正確に引用すること、引用した内容と自分の考えを書いた文章との関係を考えて書くことなどの指導を行う。

④ 【学習シート等との関連】

国語学習シート 107 「文章を読み比べよう」
 国語学習シート 125 「著作物の引用」

【全国学力・学習状況調査との関連】

平成25年度 B2二、三

指導のねらい 調べたことをまとめて紹介するために、必要な情報を本や文章から引用したり、関係付けたりしながら整理して書く。

◇ 授業アイディア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したこと振り返りの場を設定する。

【単元を貫く言語活動】

本や文章から引用し、「〇〇のひみつブック」をつくって紹介しよう

第一次 学習の目的を把握し、学習の見通しをもつ

◇学習のねらいと言語活動の内容（教師による自作モデル）を具体的に示し、学習の見通しをもたせる。

第二次 教材文（調査問題）を使って、まとめ方の工夫や引用の仕方をつかむ

活動① 説明文「花を食べる」と【自主学习ノートの一部】を読み比べ、表にしてまとめる方法や引用の仕方などを学ぶ

【自主学习ノートの一部】

《質問》 「外国でも花を食べるのかな」		
《分かったこと》		
	外 国	日 本
花を食べる習慣	ある。 《特に、ヨーロッパで多く食べられている》	ある。
食べられる花の種類	パンジー、ヒヤナなど、多くの種類がある。	桜、さくら、たんぽぽ、すみれ、つばき、ばたんなど多くの種類がある。
食べ方	野菜や果物と同じ感覚で、食べられている。	食べやすいように工夫して食べられている。
食べる以外の使い	料理のかざりや香りづけなどに使われている。	

表にしてまとめると共通点や相違点が比べやすいね。

資料から必要な情報を見つけて取り出すにはどうすればいいのかな。

その部分に線を引いたり、印を付けたりするといいね。大事な資料には付せん紙を使うといいよ。

ところで、どうして引用を使うといいのかしら。

引用することで、自分の考えや説明を読み手に分かりやすく伝えたり、説得力をもたせたりすることができるという良さがあるんだよ。

活動② 自分が紹介したい「〇〇のひみつ」を決める

活動③ 複数の本や文章から、自分の「〇〇のひみつブック」に必要な情報を見つけて取り出す

A本とB本から使えそうな部分をたくさん引用して組み合わせたら、うまく書けるのかな？

本や資料で調べたことを自分の文章に引用するときは、次の点に注意しましょう。

- ①必要な部分を適切な量になるように引用する。
- ②自分の考えと区別して、かぎ（「」）などでくくる。
- ③引用した本の書名、筆者名などの出典も必ず書く。

活動④ 取り出した情報を整理し、分かりやすく紹介できるよう図や表なども使ってまとめる（※国語学習シート 107 を活用）

第三次 自分のつくった「〇〇のひみつブック」を紹介し交流する

活動⑤

- ・互いに調べたことを紹介し合い、質問や感想を伝え合う
- ・学習を振り返り、本単元で身に付けたことをまとめる

並行読書

小学校算数 指導改善のポイント（第4学年）

【課題が見られる設問の例】 問題11（2）

① 《出題のねらい》

示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述できる。

② 《学習指導要領における領域・内容》

（第2学年）B 量と測定

（1）ア 長さの単位（ミリメートル（mm）、センチメートル（cm）、メートル（m））について知ること。

（第4学年）C 図形

（1）イ 平行四辺形、ひし形、台形について知ること。

② 解答類型			反応率 （％）	正答	（正答の条件） 番号を 3 と解答し、次の（a）、（c）または（b）、（c） を書いている。 （a）3枚のたこそれぞれに必要な紙テープの長さを 示す数と言葉 （b）3枚のたこに必要な紙テープの合計の長さが 760cmまたは7.6mになることを示す数 と言葉 （c）もとの紙テープの長さとして3枚のたこに必要な紙 テープの合計の長さを比較したことを示す数と 言葉 誤答としては、長方形の面積や長方形の周りの長 さのみを求めて結果を判断した解答、選択はしてい るが理由を記述していない解答が見られた。これら の解答は、判断の根拠となる情報を捉えることがで きていないと考えられる。
1	3と 解答して いるもの	（a）、（c）または（b）、（c）を 書いているもの	10.3	◎	
2		（c）を書いているもの	2.0	○	
3		（a）を書いているもの	1.5		
4		（b）を書いているもの	2.5		
5	類型1から類型4以外の解答 無解答		36.4		
6	1と 解答して いるもの		22.1		
7	2と 解答して いるもの		11.1		
9	上記以外の解答		2.8		
0	無解答		11.3		

③ 学習指導に当たって

日常の事象について見通しをもち、筋道を立てて考え、表現する力を育てる

○算数科においては、問題を解決したり、判断したり、推論したりする過程において、見通しをもち筋道を立てて考えたり表現したりする力を高めていくことを重要なねらいとしている。

○児童が具体物を用いたり、言葉、数、式、図、表、グラフなどを用いたりして、自分の考えたことを表現したり、友達に説明したりする学習活動を取り入れることが重要である。

（「小学校学習指導要領解説 算数編」P.21）



解決の見通しをもたせるためには、問題文や図から情報を取り出し、問題解決に活用できるかどうかを考えさせることが大切である。筋道を立てて説明するためには、必要となる内容をもとに判断の根拠が適切に表現できるよう、書く活動も大切である。さらに、友達との交流を通して、説明の過不足を検討し、記述内容を吟味し改善させることで表現する力を高めていきたい。

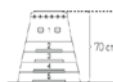
④ 【学習シート等との関連】

【全国学力・学習状況調査との関連】

平成24年度 B2（2） 「跳び箱」

（高知県正答率 22.3％ 全国正答率 26.8％）

小型のびび箱（5段）



平成26年度 B3（3） 「配膳」

（高知県正答率 31.8％ 全国正答率 30.6％）



指導のねらい 解決の見通しを立て、言葉と数を使って根拠を明らかにして説明できるようにする。

◇ 授業アイディア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

問題11 (2) を提示する。(選択肢は除く)

紙テープを切り分けることができるかどうかを考えて、その理由を説明しよう。

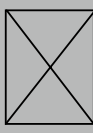


図1 長方形

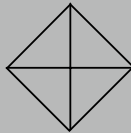


図2 正方形

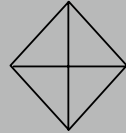


図3 ひし形

【考えるために必要なこと】

- ① 3つの図形の辺の長さの合計
- ② 3つのたこに必要な紙テープの長さと8mの紙テープの差

問題文や図から必要な情報を取り出し、見通しを立てる。

※ 3つの図形の辺の長さの合計や3つのたこに必要な紙テープの長さと8mの紙テープの差が必要なことを確認する。

必要な内容を分かりやすくノートに書く。

【Aさんの説明】

図1から図3の図形のすべての辺の長さを合わせると760cmです。紙テープの長さは8mだから、紙テープのほうが長くなるので、切り分けられてあまります。

【Bさんの説明】

長方形の周りの長さは、 $80 \times 60 = 4800$ で4800cmです。紙テープは8m=800cmなので、足りないことが分かります。

友達のノートと比較し、気付いたことをもとに書き直す。



Aさんの説明では、どのように760cmを求めたのかが分からないよ。



Bさんの 80×60 の式は、周りの長さではなくて、長方形の面積を求めたことになるよ。



図1から図3の図形それぞれの辺の長さの合計を求める式を入れると、説明が具体的に分かりやすくなるね。



長方形のたこは、たてと横の2組の辺があるね。正方形とひし形は4つの辺の長さが等しくなっていたね。

理由を説明するために何が大切かを振り返る。

図1から図3の図形のそれぞれの辺の長さ①は、

図1 $80 \times 2 + 60 \times 2 = 280$ 、

図2 $60 \times 4 = 240$ 、

図3 $60 \times 4 = 240$ となります。

紙テープの長さは8mだから、

$800 - (280 + 240 + 240) = 40$ ②となり、

紙テープのほうが長くなるので、切り分けられてあまります。

考えるために必要なこと①、②を見つけて、言葉や数を使って順序よく書くことが大切！

※問題解決の過程では、与えられた情報を解釈し、見通しをもたせ、言葉と数を用いて、筋道立てて書く必要があることを理解させる。

評価問題 平成24年度 全国学力・学習状況調査B2(2)「跳び箱」

小学校理科 指導改善のポイント（第5学年）

【課題が見られる設問の例】 問題③（3）

① 《出題のねらい》

流れる水の働きについて調べる実験を、条件を制御しながら考えることができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

第5学年 B 生命・地球（3）流水の働き

地面を流れる水や川の様子を観察し、流れる水の速さや量による働きの違いを調べ、流れる水の働きと土地の変化の関係についての考えをもつことができるようにする。

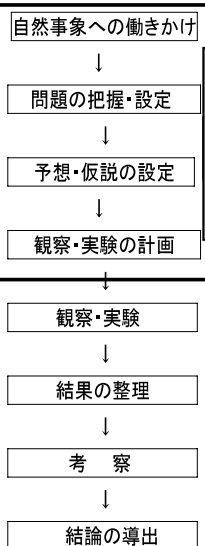
ウ 雨の降り方によって、流れる水の速さや水の量が変わり、増水により土地の様子が大きく変化する可能性があること。

② 解答類型

		反応率 (%)	正答	
1	水の量について記述しているもの	45.0	◎	・この問題は、大雨の前後の川の様子の違いを捉え、流れる水の量が増すと、土地の様子がどのように変化するか予想や仮説を立て、それを基に流れる水の働きについて、条件を制御して調べる実験方法を考えるものであり、正答率は45.0%である。 ・類型2では「水の速さ」、類型9では「みぞの幅」等の誤答がある。本設問においては、会話の内容から、どのような予想の基に、条件に着目して実験方法を考えているのかを捉える必要がある。予想や仮説を検証するために、条件を制御して実験方法を考えることに課題が見られる。
2	水の流れ方について記述しているもの	16.5		
9	上記以外の解答	30.1		
0	無解答	8.3		

③ 学習指導に当たって

【問題解決の過程】



小学校理科の学習は、児童の主体的な問題解決により展開します。学習指導においては、観察、実験等の体験活動を重視しながら、言語活動を充実させることが大切です。

ポイント①

児童の自然の事物・現象への働きかけを保障

ポイント②

児童自ら問題を見いだす場面の設定

ポイント③

問題に正対した予想や仮説を立て、児童自らの考えを顕在化

※問題に対する考えを記述したり、話し合い活動を行ったりすることが効果的

ポイント④

予想や仮説を基に、条件に着目したり視点を明確にしたりして、検証が可能な実験を計画

このように、身に付けた知識・技能を用いて、解決の方法を構想したり、問題に対する結果を予想したりすることは、児童が見通しをもって観察、実験を行い、主体的に問題解決に取り組むことになるとともに、科学的な見方や考え方をより確かなものにつな갑니다。

④ 【学習シート等との関連】



小学5年生
高知県理科思考力問題集
小5-06



指導のねらい 流れる水の働きと土地の変化の関係について、予想を確かめるための実験を、条件を制御して考えることができる。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したこと振り返りの場を設定する。

自然事象への働きかけ

★導入で提示する自然事象は、既習内容や生活との関連を図り、児童に疑問を生じさせるもの、考える必然性のあるものにしましょう。
★大雨によって増水した川の写真や動画を用いる等、児童が予想や仮説の根拠をもてるように工夫しましょう。

大雨の前後の川の様子の写真から、分かることについて話し合う。

大雨の後は川の水が濁っているわ。いろいろな物が流れているみたい。水の流れる速さが違っていったのかな。

大雨の前と後の川には、どのような違いがありますか。

川幅が広がっているね。大雨で、川の水の量が増えているようだ。

問題

流れる水の量や速さが増すと、土地の様子はどのように変化するのだろうか。

★子どもが主体となって問題を見いだしていますか。児童の発言、疑問や気付きから本時の問題を導き、児童が目的意識をもてるようにしましょう。

予想

流れる水の量が多くなると、流れる水の働きも大きくなると思うよ。重い石が流れたり、多くの石や土が流されたりするんじゃないかな。がけも削られることがあるのかな。流す水の量を変えて、運ばれる石や土の様子、川幅の変化を調べてみよう。

水の流れが速くなると、流れる水の働きも大きくなるんじゃない。普段より石や土が多く流されるのかな。水の勢いも強くなるのかな。流す水の速さを変えて、運ばれる石や土の様子、川幅の変化を調べてみるわ。

★問題に対して自分の考えをもっているか、その考えをどのように表現しているか丁寧に見取りましょう。一人一人の児童がもつ考えを顕在化することが大切です。

計画

それぞれの予想を確かめるための実験の計画を立てましょう。

- ①小石を混ぜた土で、同じ傾きの斜面を2つつくり、斜面に同じ幅、曲がった部分のあるみぞをつける。
- ②みぞの内側と外側に旗を立てて、流す水の量を変えて、内側と外側の変化を調べる。
- ③流す水の量を変えて、運ばれた小石の大きさや土の量の違いを調べる。

- ①小石を混ぜた土で、急なものと緩やかなものと傾きを変えた斜面をつくり、斜面に同じ幅、曲がった部分のあるみぞをつける。
- ②みぞの内側と外側に旗を立てて、水の流れの速さを変えて内側と外側の変化を調べる。
- ③水の流れの速さを変えて、運ばれた小石の大きさや土の量の違いを調べる。

★流す水の量や斜面の傾きによる流れの速さ等、条件に着目して、比較対照する2つの実験をそれぞれ計画させましょう。

問題解決の過程

自然事象への働きかけ

問題の設定

予想・仮説の設定

観察・実験の計画

観察・実験

結果の整理

考察

結論の導出

体験活動Ⅰ

言語活動Ⅰ

体験活動Ⅱ

言語活動Ⅱ

中学校国語 指導改善のポイント（第2学年）

【課題が見られる設問の例】 問題2ニ

① 《出題のねらい》

今までの自分の体験と結び付けて、文章に書かれている内容を説明することができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

B書くこと（第2学年）

- （1）ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。 《記述》

C読むこと（第2学年）

- （1）エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。 《自分の考えの形成》

② 解答類型

	反応率 (%)	正答	
（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。 ①筆者が述べている「上達の道筋」について、自分自身が今までに体験したことを具体的に書いている。 ②筆者が述べている「上達の道筋」について、「会得していないことに対する予感やヴィジョンを持つ」「先達を得る」「目標との差を知り、課題意識を持つ」などの意味の言葉を使い、筋道が通るように書いている。 ③八十字以上、百字以内で書いている。 ※誤字・脱字は評価の対象としない。 （正答例） ・テニスの試合で優勝者と対戦し、相手のなめらかな動きに驚いた。それ以来、練習でその姿を思い描き、そこに近づくように取り組むことで、上達した。このように、上達には目指す姿を具体的にもつことが大切である。（99字）			○本設問は、説明的な文章を読み、自分が今までに体験したことと関連付けて、「上達の道筋」について筆者が述べていることを説明するものである。正答率は、15.8%である。 ○誤答についてみると、類型3が24.1%と最も多い。字数の条件を満たして記述しようとはしているが、文章全体を通して筆者が述べていることを的確に捉えられていなかったり、筋道が通るように書くことが不十分であったりという解答が多く、昨年度に引き続き課題があると考えられる。
1	条件①、②、③を満たして解答しているもの	15.8	◎
2	条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	0.8	
3	条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	24.1	
4	条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	5.4	
9	上記以外の解答	19.3	
0	無解答	34.6	

③ 学習指導に当たって

文章を読む際には、漫然とただ読むのではなく、読み手が目的意識をもち、主体的に読もうとすることが大事である。授業では、単に印象や感想を述べるにとどまらず、文章に表れている書き手の考え方について、これまで身に付けてきた知識や様々な体験と結び付けて説明したり、賛否を明らかにしたりする課題を与え、自分の考えを具体的にもたせる工夫が必要である。また、互いの考えを交流する活動を取り入れることで、伝えたい内容や表現の仕方について吟味することができる。

言語活動に取り組ませる際には、評価規準を具体的に設定し、生徒が表現した内容が適切であるかどうかを判断し、必要に応じて指導を行うことが大切である。また、定期テスト等の際に、教科書で学習した教材とは違う文章で、身に付けた能力が定着しているかどうかを確認することも重要である。

④ 【学習シート等との関連】

国語学習シート

23	要約・要旨	45	確認テスト
43	古典への招待	66	確認テスト
		67	確認テスト

国語学習シート
活用事例集

P. 13～16
「目的や意図に応じて読む
ために短時間で要旨をとら
える場合の活用例」

左の事例集では、シート23の効果的な活用の仕方を示しているため、課題改善のためにぜひ活用してください。



指導のねらい 文章に表れているものの見方や考え方を、知識や体験と関連付けて捉える。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

【単元を貫く課題解決的な活動】『徒然草』を読んで、現代にも通じる教訓を説明しよう

学習の見通しをもつ

- ◇学習のねらいや単元全体の流れを確認する。
- ・学習のねらいと言語活動（『徒然草』を読んで、現代にも通じる教訓を説明しよう）の内容を具体的に示し、学習の見通しをもたせる。

「仁和寺にある法師」を読んで、その内容を捉える

- ◇教科書掲載「仁和寺にある法師」の内容を捉える。

- ・注釈を基に、仁和寺の法師の言動を確認させる。
- ・法師の言動について、作者がどのように捉えていたかを考えさせる。
- ・法師と似たような体験をしたことがないかを考えさせて、感想をもたせる。

「少しのことにも、先達はあらまほしきことなり。」には、作者のどのような気持ちが込められているのでしょうか。



『『できる人』はどことがちがうのか』（大問2）を通読し、筆者（斉藤孝）のものの見方や考え方を捉える

- ◇初読の感想をもち、グループで交流する。
- ・印象に残った所に線を引かせ、それを基にグループで感想を交流させる。
- ◇筆者が「どのような考えを述べているか」キーワードを探し、整理する。
- ・キーワードをグループで整理させ、一番重要なものを考えさせる。
- ◇段落の関係に注意し、内容のまとまりを考え、筆者の考えを捉える。
- ・「仁和寺の法師」の話に基に、筆者が述べている「上達の道筋」を捉えさせる。
- ◇自分の考えと比較し、文章に表れた筆者のものの見方・考え方を捉える
- ・「仁和寺の法師」について自分たちの考えたことと比較させ、筆者の古典作品の捉え方やものの見方・考え方のよさに気付かせる。
- ・筆者の文章を踏まえ、「先達」についての自分の考えを書かせる。

この話を法師の失敗した話でなく、「上達の道」と捉えた筆者の考え方は面白いよね。



私にも、筆者の言っているような「先達」がいるわ。



他の章段を読み、現代にも通じる教訓を考える

- ◇他の章段を、現代語訳等を基に読み取り、作者の伝えたいことや現代にも通じる面白さを、前時の学習を踏まえて考える。
- ・生徒の実態に応じて、学校図書館等を活用したり、読ませたいものを準備したりしておく等指導の工夫を行う。
- ・読んだ章段について、作者の考えが分かる所に線を引かせ、ワークシートに内容等を整理させる。（①話の内容 ②教訓・作者の伝えたいこと ③似たような自分の体験や現代との共通点 等）

【他の章段】例

ある人、弓射ることを習ふ（第92段）
高名の木登り（第109段）
ある者、子を法師に（第188段）等

現代にも通じる教訓をグループで説明して、古典を学ぶ意味を考える

- ◇グループで自分の考えを交流し、互いの考えを深める。
- ・ワークシートを基に自分の考えを説明させ、グループで内容について質疑応答させる。
- ・交流後は、本単元の学習を通して自分が考えたこと等を振り返らせる。
- ※単元の出口として、学校図書館等を活用し、他の古典について書かれた本を読み、様々なものの見方や考え方へと繋げることも考えたい。

◇生徒の学習活動 ・教師の働きかけ

中学校社会 指導改善のポイント（第2学年）

【課題が見られる設問の例】 問題6（4）

① 《出題のねらい》

明治政府が目指した国づくりについて、江戸時代との違いに着目して、説明することができる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

歴史的分野 （5）近代の日本と世界

イ 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化などを通して、新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。

② 解答類型

		反応率 (%)	正答
Y	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 (a) 「～を進めた」につながるように書いている。 (b) 欧米諸国の技術を取り入れ、近代的な産業の育成を図ろうとしたことについて書いている。 (正答例) 近代産業の育成、産業技術の普及、富国強兵		
	1 条件(a)、(b)を満たして解答しているもの	10.2	◎
	2 条件(a)を満たし、条件(b)を満たさないで解答しているもの	9.4	
	9 上記以外の解答	42.3	
	0 無解答	38.1	
Z	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 (a) 「欧米諸国と」に続けて、「～を築くことが一つの目的であった」につながるように書いている。 (b) 日本が築こうとした欧米諸国との関係を適切に書いている。 (正答例) 対等な関係、不平等でない関係		
	1 条件(a)、(b)を満たして解答しているもの	18.7	◎
	2 条件(a)を満たし、条件(b)を満たさないで解答しているもの	7.1	
	9 上記以外の解答	38.0	
	0 無解答	36.3	

問題6は、新聞記事をきっかけに、年表や資料を基に、「明治政府は、明治維新の諸改革によって、どのような政治を進めたのか」を調べ、まとめていく活動を設定したものである。本設問の正答率はY(10.2%)、Z(18.7%)であり、無解答率はY(38.1%)、Z(36.3%)である。

Yは、明治政府がどのような国づくりを進めたのかを問うものである。誤答についてみると、「貿易」「政治改革」「条約」などが多く、明治政府が目指した国づくりの目的を考えるまでにはいたっていない。

Zは、明治政府が欧米諸国とどのような関係を築きたかったのかを問うものである。誤答についてみると、「信頼」「貿易」「条約」などが多く、当時の日本と欧米諸国がどのような関係であったのかを理解できていないと考えられる。

③

学習指導に当たって

各時代の特徴や時代の転換にかかわる基礎的・基本的な歴史的事象を重点的に選んで指導内容を構成し、時代を大観し表現する活動などを通して、考察し、自分の言葉で表現する力を育成することが重要である。

各時代の特徴を大きく捉える

学習した内容の比較や関連付け、総合などを通して、他の時代との共通点や相違点に着目しながら、「つまりこの時代は」「この時代を代表するものは」など、各時代の特徴を大きく捉え、言葉や図などで表したり、意見交換したりする活動を充実させることが大切である。

ねらいに迫るために言語活動を充実させる

単元のゴールを意識した本時の問いを意図的・計画的に設定し、生徒に、目的（何のためにその言語活動を行うのか）や対象（何を思考・判断・表現するのか）をもたせることで、学習活動の質を高めることが大切である。

指導のねらい 明治時代初期の日本の特色を江戸時代と比較し、自分の言葉で表現できる。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

単元における課題の設定（近世から近代への転換の様子を考察し、自分の言葉でまとめ、説明する）

学習の見通しをもつ

明治時代初期はどのような時代だったのかを考え、説明しよう。

※どのようなことを調べたらいいのかを考えさせ、スモールステップで学習課題を追究させる。

- | | |
|-----------------|--|
| ① 明治時代になってからの変化 | ← 前の時代との共通点や相違点に着目させる。 |
| ② 目指していた国の姿 | ← 前の時代からの変化を基に、その時代の国づくりについて考えさせる。 |
| ③ 目指した理由 | ← 当時の国際的な背景も考慮しながら、なぜそのような国づくりを目指したのかを考えさせる。 |
| ④ どんな時代だったか | ← ①～③の内容を関連付け、その時代の特色を大きく捉えさせる。 |

明治政府の政策が何を目指したものかを考える

- 資料を適切に活用し、①江戸時代から変化したことを読み取る。
- ①を基に、②目指していた国の姿を考える。

【年表】

西暦	日本の出来事	世界の出来事
1765	ワットの改良蒸気機関が完成	アメリカ独立戦争
1810	天保の改革が始まる	ナポレオン戦争
1853	ペリーの黒船来航	アヘン戦争がおこる
1854	日米和親条約	
1857	日米修好通商条約	インドの大反乱がおこる
1861		アメリカ南北戦争がおこる
1868	大政奉還・新政府の樹立	
1871	廃藩置縣、府県制の導入	
1872	小学校令、官立学校が設立される	
1873	徴兵令、徴兵制の導入	

【資料2】19世紀後半のアジア



中2[6]の資料参照

【資料4】明治政府の政策

江戸時代	明治初期
①身分制を基に、士農工商の階級が厳格に守られていた。	①身分制を廃止し、欧米の学校制度を取り入れ、欧米以上の男子は、欧米に劣らぬ男子に育てようとした。
②武士が主で、農工商は従属的な立場に置かれていた。	②士族令を公布し、士族の特権を認め、士族を模範としようとした。
③武士が主で、農工商は従属的な立場に置かれていた。	③士族令を公布し、士族の特権を認め、士族を模範としようとした。

明治政府がどのような国を目指していたのかを意見交換し、共通している内容を探し、なぜそのような国を目指していたのかを考える

- 資料から読み取ったことなどを根拠として、自分の考えを伝える。
- 意見交換を通して、分かったことや気づいたことを基に、③目指した理由を考える。

明治時代初期はどのような時代だったと言えるのかを考える

- ②目指していた国の姿と③目指した理由を関連付けて考える。
- ① 明治時代になってからの変化
 - 身分制度が廃止され、四民平等になった。
 - 江戸時代は鎖国していたが、開国したことで、生活や文化の欧米化が進んだ。
 - 地租改正で政府に安定した収入が入るようになった。殖産興業で産業をさかんにした。
- ② 目指していた国の姿
 - 富国強兵によって経済力・軍事力が強化された国
 - 欧米諸国に対抗できる国
- ③ 目指した理由
 - 欧米諸国にアジアなど国々が植民地にされていたので、日本も早く欧米諸国のような国にするため。
- ④ どんな時代だったか
 - 開国して外国の影響を受け、欧米諸国に植民地にされたり戦争で負れたりしないで、不平等条約も改正できるように、欧米諸国に対抗できる国を目指して経済力と軍事を高め、政治のしくみの近代化を図った時代。

※記述内容のよい点や考察を深めるヒントを伝えることで、生徒の思考や表現の質的な向上を図る。

中学校数学 指導改善のポイント（第2学年）

【課題が見られる設問の例】 問題 5（5）

① 《出題のねらい》

作図が正しいことを、三角形の合同条件を基にして証明することができる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

第2学年 B図形

（2） 図形の合同について理解し図形についての見方を深めるとともに、図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現する能力を養う。

ウ 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、図形の性質の証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。

② 解答類型	反応率 (%)	正答	(正答の条件)
1 (a)、(b)、(c)とそれぞれの根拠を記述して証明しているもの	9.0	◎	次の(a)、(b)、(c)とそれぞれの根拠を記述し、証明しているもの。
2 (a)、(b)、(c)の表現が十分でなかったり、記号を書き忘れていたりするが、証明の筋道が正しいと分かるもの（根拠が抜けていたり、根拠の表現が十分でなかったりするものを含む）	5.2	○	(a) $OC=OD$ 、 $CE=DE$ 、 $OE=OE$ (b) $\triangle COE \equiv \triangle DOE$ (c) $\angle COE = \angle DOE$
3 上記1、2で根拠に誤りがあるもの	2.0		類型9の中には、言葉のみで説明しようとしているものがあつたことから、問題解決のために三角形の合同を用いて証明することの必要性が理解できていないことや、筋道立てて証明するための構想や方針を立てられないことが考えられる。
4 (a)、(b)を記述しているもの（根拠は不問）	3.5		
9 上記以外の解答	35.1		
0 無解答	45.3		

③ 学習指導に当たって

まず証明の構想や方針をたて、その要点を上述した言葉や用語、記号を適切に用いて自分の言葉で書くことから始め、よりよいものに改めることを大切にする。 【中学校学習指導要領解説数学編 P.95 より】

自ら課題を見だし、解決するための構想を立て、実践し、その結果を評価・改善する機会を設けること。 【中学校学習指導要領解説数学編 P.139 より】

これらのことを踏まえ、次の2点を単元の指導に位置付けていきましょう。

(1) 証明の方針を考えさせること

初めて出合う問題を解決するためには、単に証明の型を教えるだけでなく、どのように考えれば解決できるか、その方針を考えさせる活動を取り入れましょう。

◇H25 授業アイデア例 P.19～20
(平成25年9月国立教育政策研究所)
◇自ら学ぶ力を育てるために第2号
(平成26年6月小中学校課)

(2) 結果を評価し改善すること

証明したことを利用したり、改善したりして、新たな証明をする活動を意図的に設定していきましょう。

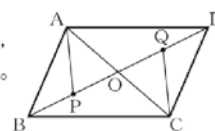
◇全国学力・学習状況調査解説資料 P.7 数学的なプロセスβ2
(平成26年4月国立教育政策研究所)

④ 【学習シート等との関連】

全国学力・学習状況調査数学B問題集
第2学年 B図形（25年度） 4（1）

高知県正答率 23.7% 全国正答率 32.4%

右の図のように、平行四辺形ABCDの対角線の交点をOとし、線分OB、OD上に、 $BP=DQ$ となる点P、Qをそれぞれとります。このとき、 $AP=CQ$ となることを証明しなさい。



指導のねらい 証明したことを振り返り、新たな証明に利用することができる。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

証明の方針を板書する

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

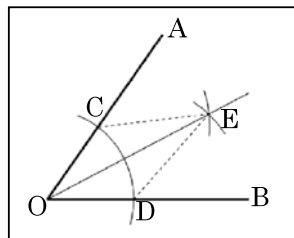
五、学習したことの振り返りの場を設定する。

■作図が正しいといえるのか疑問をもたせ、証明する必然性を感じさせる。

めあて

作図が正しいことを証明しよう

■角の二等分線の作図が正しいことを証明する。



○仮定と結論を明らかにする。

○証明の方針を考える。

証明の方針

- I 結論を示すためには何がわかればよいか。
- II 仮定からいえることは何か。
- III IとIIを結び付けるには、あと何がいえればよいか。

○証明する。

■この証明を利用して、次の垂線の作図が正しいことを証明できないか考える。

○仮定と結論を明らかにする。

○方針を考える。

作図の手順は同じだね。

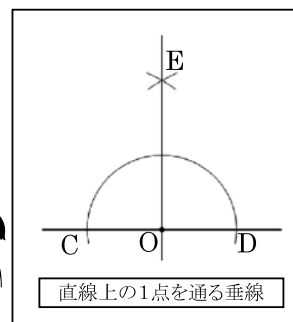


手順が同じだから、角が等しいことまでは同じ証明が使えそうね。

あとは90°であることを示さないといけないね。



$\angle COE = \angle DOE$ で和が180°なら、示そうだね。



直線上の1点を通る垂線

方針

角の二等分線の証明に加えて、合同な図形の対応する2つの角の和が180°であることから90°を示す。

○証明する。

結果を評価し改善する

$\triangle COE$ と $\triangle DOE$ において

$\triangle COE \cong \triangle DOE$

合同な図形の対応する角は等しいから

$\angle COE = \angle DOE$

また、 $\angle COE + \angle DOE = 180^\circ$

よって $2\angle COE = 180^\circ$

したがって $\angle COE = 90^\circ$

すなわち $EO \perp CD$

角の二等分線の証明と同じ部分

2つの角の和が180°であることから90°を示す部分

■証明したことを振り返る。

- ◆角の二等分線と手順が同じような作図では、証明も同じようにできる。
- ◆垂直であることは、等しい角の和が180°になることから証明できる。

■他の作図（垂線や垂直二等分線）についても、作図が正しいことを同じように証明できるかどうかを確認し、方針を立てて証明する。（評価問題）

中学校理科 指導改善のポイント（第1学年）

【課題が見られる設問の例】 問題3（5）

① 《出題のねらい》

植物の呼吸を確かめる実験の条件を見いだすことができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

第1学年 第2分野（1）植物の生活と種類

身近な植物などについての観察、実験を通して、生物の調べ方の基礎を身に付けさせるとともに、植物の体のつくりと働きを理解させ、植物の生活と種類についての認識を深める。

イ 植物の体のつくりと働き (イ) 葉・茎・根のつくりと働き

いろいろな植物の葉、茎、根のつくりの観察を行い、その観察記録に基づいて、葉、茎、根のつくりの基本的な特徴を見いだすとともに、それらを光合成、呼吸、蒸散に関する実験結果と関連付けてとらえること。

② 解答類型	反応率 (%)	正答	
1 ア と解答しているもの	14.2		ウ、エを選んだ生徒の割合が 40.7%あり、光合成と呼吸が気体の出入りに関して逆の関係にあることを確かめる方法が理解できていない。呼吸をしているかどうかを確かめるために、何に着目をすればよいかが分かっておらず、目的に応じて実験の条件等を整理したり、考えたりすることが十分ではない。
2 イ と解答しているもの	42.5	◎	
3 ウ と解答しているもの	15.3		
4 エ と解答しているもの	25.4		
9 上記以外の解答	0.8		
0 無解答	1.8		

③ 学習指導に当たって

小学校で培った「比較したり、条件に目を向けたりする」などの能力を高め、科学的に探究する能力の基礎となる力を育成する。

条件制御については、小学校において、発芽の条件を確かめる実験など、幾つかの内容で学んでいる。中学校理科における実験を行う際にも、小学校での学習を生かし、条件を意識させたり制御させたりする指導を充実する。

POINT

- 学習内容の系統性を考慮し、小学校での学習内容と関連付ける。
- 実験の目的をはっきりとさせ、条件を整理し、実験方法を検討させる。
- 変える条件と変えない条件を意識させ、観察・実験を計画させる。

④ 【学習シート等との関連】

高知県理科思考力問題集
中1-07
植物の体のつくりと働き

本設問と関連のある問題

H24 全国学力・学習状況調査1（5）

「チューリップの花が開くには、温度が関係している」という考察を導くために、実験結果を分析し解釈して、比較する実験結果の組み合わせを指摘することができるかどうかをみる問題

高知県正答率 33.5% 全国正答率 41.3%

指導のねらい 実験の目的に合わせて、これまでに学習してきた事項を基に条件を設定し、実験を計画することができる。

◇ 授業アイディア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

植物は光が当たると二酸化炭素を取り入れることを確かめる実験の方法を考えよう。

POINT

学習内容の系統性を考慮し、小学校での学習内容と関連付ける。

「植物は光が当たると二酸化炭素を取り入れて酸素を出す」（小学校での学習内容）ことを光合成という。

光合成に必要な条件からこの実験に必要な条件を整理する。

POINT

○植物の葉 ○光 ○二酸化炭素

実験の目的をはっきりとさせ、条件を整理し、実験方法を検討させる。



①二酸化炭素を入れた容器に植物の葉を入れて光を当てたとき、容器内の二酸化炭素の量が減少すること、光を当てないときは、二酸化炭素の量が減少しないことを確かめれば良いと思う。



②二酸化炭素を入れた容器に植物の葉を入れたものと入れないものを用意し、両方に光を当てたとき、植物がある方の二酸化炭素の量が減少し、植物のない方の二酸化炭素の量が変化しないことを確かめれば良いと思う。



①と②では、それぞれどの条件が二酸化炭素の量の変化に影響していると考えているのかな。

留意点

①、②どちらかの実験だけでは、二酸化炭素の量の減少に影響すると考えられる2つの条件（植物、光）のうち、一方の影響についてしか確かめていないことに気付かせる。

POINT

変える条件と変えない条件を意識させ、観察・実験を計画させる。

【実験の方法と予想される結果】

方法	条 件		予想される結果
	植物	光	
1	ある	当てる	
2	ある	当てない	
3	ない	当てる	



植物は光が当たると二酸化炭素を取り入れることを確かめるためには、植物と光の2つの条件に着目して、実験を組み立てることが必要ことが分かった。

中学校外国語（英語） 指導改善のポイント（第2学年）

【課題が見られる設問の例】 問題11（2）

① 《出題のねらい》

資料を基に、語と語のつながりに注意して正しく文を書くことができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

エ 書くこと (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

②	解答類型	反応率 (%)	正答	
1	(正答の条件) 健太を選んだ場合 ・「日本料理を作ることが好き」という内容で、文法的に正しく書いているもの (正答例) ・(Because) I like [love] to cook Japanese food. ・(Because) I like cooking Japanese food.	16.7	◎	○本設問は、将来つきたい職業について発表するために、メモを見て、発表原稿を完成させるものである。(2)の正答率は、17.2%であり、無解答率は24.8%と高い。 ○誤答についてみると、類型9が33.9%であり、既習の語彙や表現方法の定着が十分でなく、英文を途中までしか書くことができている解答が多い。また、類型6では、不定詞や動名詞の用法理解の定着に課題が見られる。
2	・上記の条件を満たしているが、下記の間違いがあるもの ○大文字（小文字）が間違っているもの ○ピリオドのないもの	0.5	○	
3	・綴りが間違っているもの	3.6		
4	・代名詞が間違っているもの	1.4		
5	・冠詞が間違っているもの	1.5		
6	・不定詞または動名詞の用法が間違っているもの	17.2		
7	・動詞の活用が間違っているもの	0.3		
8	・be 動詞と一般動詞を両方使用しているもの	0.1		
9	・上記以外の解答	33.9		
0	・無解答	24.8		

③ 学習指導に当たって

自分の考えや気持ちなどが相手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書く力を高めるためには、新出・既習表現を使用したくなる必然性のある単元のゴール（活動）を設定し、「話したことを書く」「書いたことをもとに話す」「書いた文章を読み合って、その内容について話し合う」などの取り組みを継続して行うことが大切です。

また、帯活動や教科書本文の内容理解を図る時間などにおける活動を通して、伝える内容と使う言語材料を考えながら具体的な場面や状況に合った適切な表現ができるよう指導の充実を図ることが大切です。

④ 【学習シート等との関連】

英語ライティングシート Ⅲ テーマ作文編

2年生「自分の夢を書いてALTや友だちに伝えよう」



指導のねらい テーマ（自分の夢を伝える）に沿って、文と文のつながりなどに注意して文章を書く。
エ 書くこと（オ）

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

単元の目標

ALTに、自分の夢を伝えるために原稿を書く。
【言語材料：to 不定詞、動名詞、because 主語+動詞】

「英語を使って何ができるようになるのか」、見通しをもつ。

- ☆単元のゴールイメージをもたせる。
to 不定詞など既習の語句や表現を使って、自分の夢を書くことができる。
- ☆ALTが、中学時代に抱いた夢やその理由など、夢をもつことの大切さを伝える。
- ☆小学校外国語活動で使用した絵カードやビデオなどの教材を導入で活用する。
また、前年度の生徒の原稿（作品）を最終ゴールのモデルとして示す。

伝えたい内容を整理する。

指導編 Hi, friends! 2 より→

- ☆生徒が、「小学校時代に抱いた夢」や「今、つきたい職業やしたいこと」、「その理由」などの項目で、伝えたい内容のイメージをふくらませた後、ワークシートなどに整理させる。
- ※英語ライティングシート参照

自分の夢について相手に伝わるように原稿を書く。

- ☆分かりやすく伝えるためには、どのような組み立てで文章を構成したらよいか、どんな既習表現を使えばうまく伝えられるかを考えさせる。
- ☆相手に伝わる文章を書くためのポイントを示す。

【ポイント】

- ① 不定詞などの既習表現を適切に使う。
(want to~, like to~, like...ing など)
- ② 文と文のつながりに注意する。
because、and などの接続詞及び代名詞などを使い、文の順序にも注意をはらう。
- ③ 呼びかけなど相手を意識した表現を使う。



根拠や理由を書く前に、Do you know why? などの疑問文を入れることで、相手を意識した文章になるね。

ペアやグループで、原稿内容を推敲する。

- ☆文と文のつながりなどに注意して、正しい文を書くことができるかペアやグループで、意見交流させる。

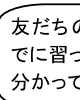
<方法>

- ① 取り入れたい表現があるところにアンダーラインを引く。
- ② 文法の誤りがあるところは、下に適切な語句を書く。
- ③ 友だちの原稿内容について、アドバイスをする。

- ☆気づいたことなどについて生徒から意見を聞き、大切な情報などを全体で共有する。



同じ主語を繰り返さず、and でつないだり、代名詞を使ったりしたらいね。



友だちの原稿を読んで、今までに習った表現を使えることが分かって、良かったよ。

自分で原稿を推敲する。

- ☆友だちの意見を参考に、文と文のつながりのある正しい文章となるよう原稿を推敲させる。

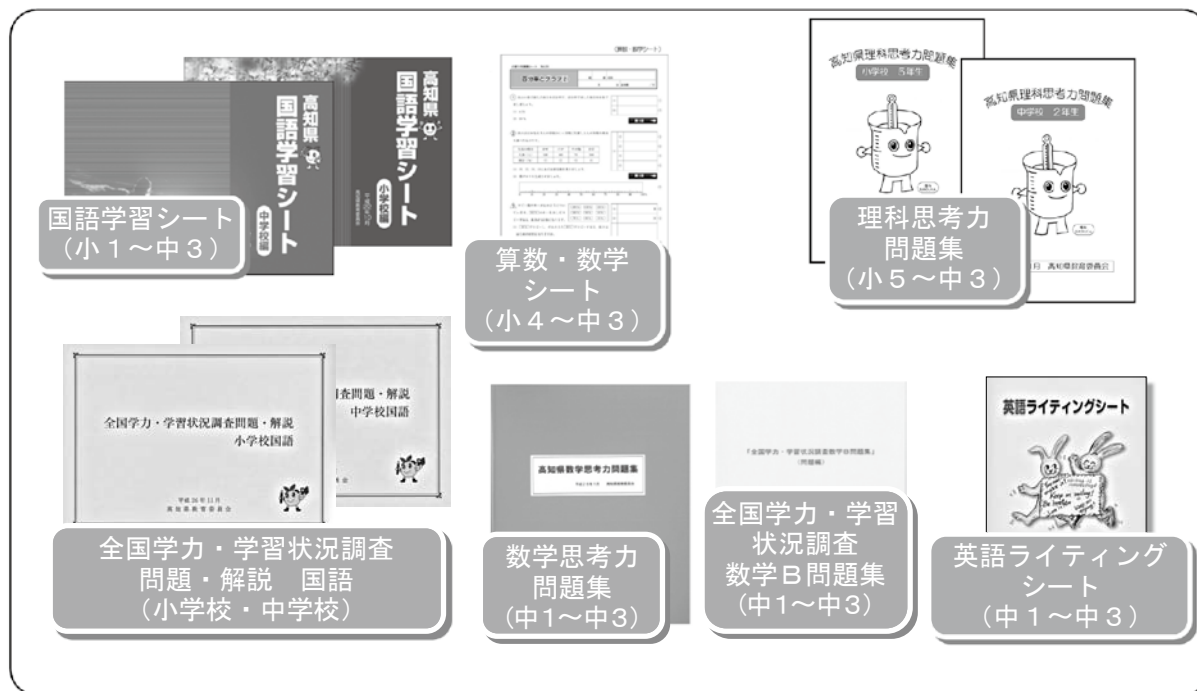
留意点 ALTにも、生徒が伝えた内容や表現の仕方などについて、評価してもらいましょう。



単元の最終「ゴール」につながる「書くこと」の活動を「単位時間ごと」に仕組みましょ。

高知県教育委員会が作成した学習シート及び資料等

【授業や家庭学習に活用できる学習シート等】



【授業づくりに活用できる資料等】

- | | |
|-------------------------|------------|
| ・高知県国語指導改善資料集 | (平成23年2月) |
| ・高知県国語学習シート活用事例集 | (平成24年1月) |
| ・算数・数学学力定着事業单元テスト活用事例集 | (平成22年3月) |
| ・高知県算数・数学授業ガイドブック | (平成23年3月) |
| ・高知県小学校外国語活動モデルプラン | (平成22年10月) |
| ・高知県中学校外国語モデルプラン | (平成23年11月) |
| ・平成24年度全国学力・学習状況調査結果の概要 | (平成24年12月) |
| ・平成24年度高知県学力定着状況調査結果の概要 | (平成25年3月) |
| ・高い『知』を目指した授業づくり | (平成25年3月) |
| ・平成25年度全国学力・学習状況調査結果の概要 | (平成26年2月) |
| ・平成25年度高知県学力定着状況調査結果の概要 | (平成26年3月) |
| ・平成26年度全国学力・学習状況調査結果の概要 | (平成26年12月) |